

門真市第5次総合計画中間見直しにかかる 市民意識調査

報告書

平成27年3月

門真市

《 目 次 》

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法と回収結果.....	1
3. 調査項目.....	1
II. 回答者の属性	2
1. 性別.....	2
2. 年齢.....	2
3. 居住地域.....	3
4. 就業者・通学者の通勤・通学先.....	4
5. 家族構成.....	4
6. 居住する所有形態及び住宅形式.....	5
III. 回答結果	6
1. 定住意向.....	6
2. 行政の分野別施策の評価.....	22
3. 行政運営上の主要テーマ.....	45
4. これからの門真市.....	70
資料編	
1. アンケート調査票.....	87
2. 単純集計結果.....	102
3. アンケートに寄せられた主な意見.....	110

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市の施策満足度やまちづくりへの意識を調査し、平成 26 (2014) 年度に実施する、門真市第 5 次総合計画の中間見直しに、市民の意見を反映させることを目的に実施した。

2. 調査の方法と回収結果

調査対象者：市内に在住する 20 歳以上の市民から 2,500 人を無作為に抽出

調査期間：平成 26 年 9 月 16 日～平成 26 年 10 月 7 日

調査方法：郵送による配布、郵送による回収により実施した。

回収結果

調査対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
20 歳以上市民	2,500 件	972 通	38.9%

(参考) 平成 21 (2009) 年に実施した、第 5 次総合計画策定に際しての調査の有効回収率は 46.2%であった。

3. 調査項目

今回の市民意識調査では、大きく分けて 7 つの項目に分けて設問を設定した。

I. 回答者の属性

(性別、年齢、居住地域、通勤・通学先、家族構成、所有形態・住宅形式)

II. 居住実態

(居住歴、全体的な定住意向、居住理由、住みつづけたい理由、よそに移りたい理由)

III. 行政の各分野別施策の満足度や重要度について

(市民協働、子育て・教育、防犯・防災・都市基盤整備、人権・文化・生涯学習、福祉・医療、環境・産業振興)

IV. 魅力ある門真市づくりについて

(市街地整備、子育て等)

V. 市民と市役所との協働

(地域活動への参加意向等、市民と市役所の役割分担)

VI. 門真市のイメージについて

(他地域から見た本市のイメージ、本市のシンボルや誇り、本市の将来のイメージ、まちづくりに活用すべきこと、本市にふさわしいキーワード)

VII. まちづくりに関する自由意見

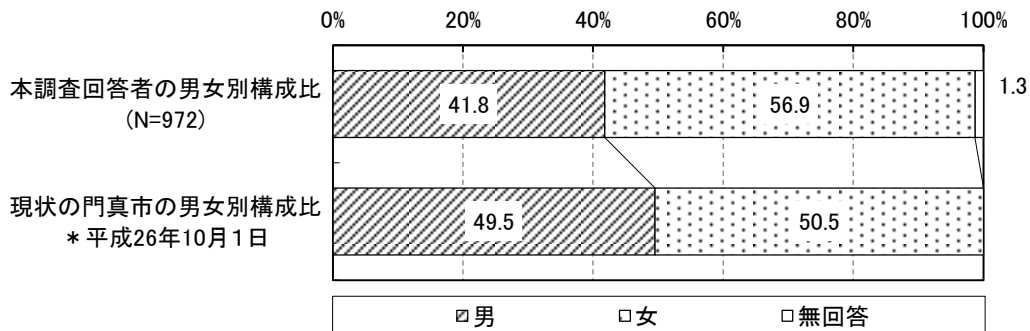
II. 回答者の属性

1. 性別

回答者の性別は男性が41.8%、女性が56.9%であり、女性の比率が高い。

現状（調査時点）における門真市の実際の男女別構成比と比較すると、本調査の回答者における女性比率が、実際の人口比率よりも6.4ポイント高くなっている。

図表I-1 回答者及び現状の門真市の男女別構成比

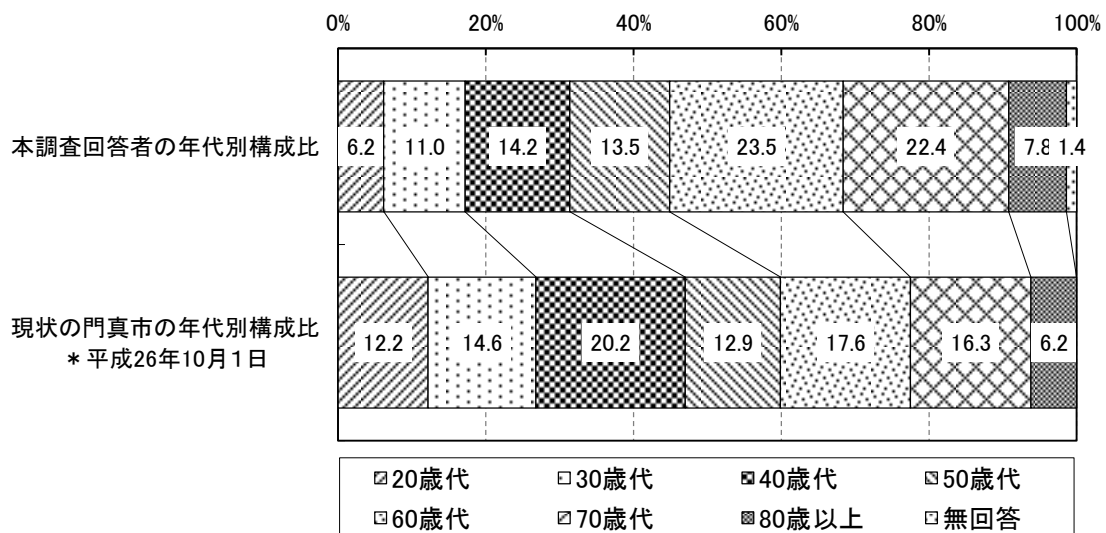


2. 年齢

年齢については、60歳代が23.5%と最も多く、60歳代以上で回答者全体の半数以上を占める。

現状（調査時点）における門真市の実際の年代別構成比と比較すると、40歳代以下の回答者の比率が、実際の人口比率よりも低く、それ以上の年代で実際の人口比率よりも高くなっている。特に60歳代は5.9ポイント、70歳代は6.1ポイント高く、高齢者の回答比率が実際の人口比率よりも高くなっており、回答の傾向を解釈する際にはその点を留意する必要がある。

図表I-2 回答者及び現状の門真市の年代別構成比



3. 居住地域

回答者の居住地は、南部のG地区が最も多く、以下A地区、D地区、F地区の順となっている。

居住地の区分は下表のとおりである。

図表I-3 回答者の居住地別人口割合

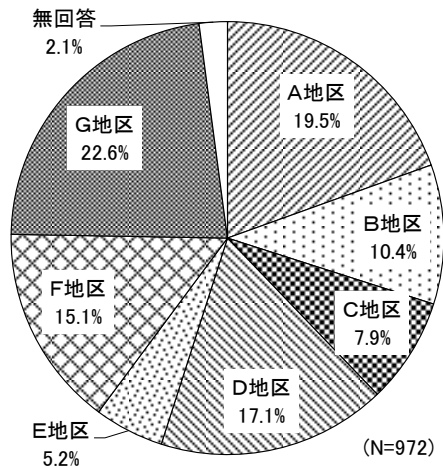


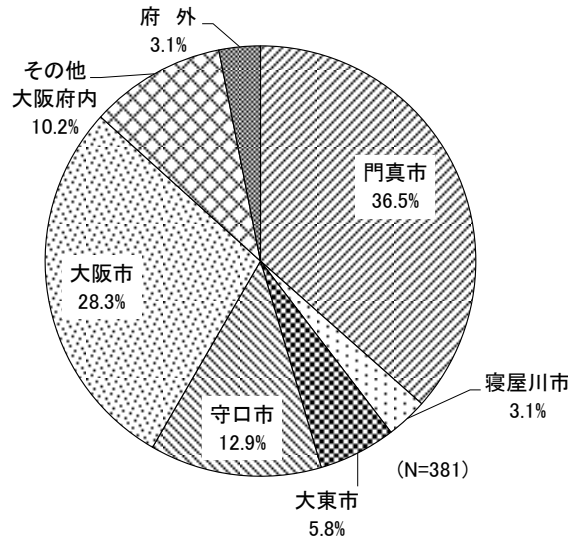
表 各地区該当町・大字一覧表

地区	該当町・大字	
北部地域	A地区	朝日町、泉町、石原町、大倉町、垣内町、幸福町、常称寺町、月出町、中町、浜町、松葉町、御堂町、宮野町、向島町
	B地区	門真、栄町、三番、小路町、堂山町、殿島町、本町、元町
	C地区	寿町、新橋町、未広町、速見町、古川町、柳町
	D地区	大池町、大橋町、上野口町、上島町、北巢本町、下島町、城垣町、常盤町、野里町、宮前町
南部地域	E地区	一番町、桑才、桑才新町、東田町、蕨島、深田町、松生町、柳田町
	F地区	打越、打越町、沖町、北島、北島町、五月田町、野口、舟田町、三ツ島1～3丁目、南野口町、横地
	G地区	江端町、岸和田1～4丁目、北岸和田1～3丁目、四宮1～6丁目、下馬伏町、島頭1～4丁目、巢本町、千石東町、千石西町、東江端町、脇田町

4. 就業者・通学者の通勤・通学先

就業者・通学者の通勤・通学先は、門真市内が最も多く、次いで大阪市、守口市の順となっている。

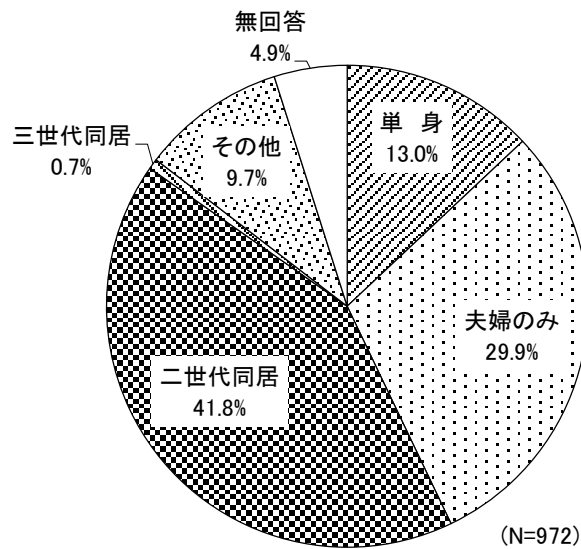
図表I-4 就業者、通学者の通勤・通学先



5. 家族構成

家族構成は、二世帯同居が最も多く、次いで夫婦のみ、単身の順となっており、三世帯同居という世帯は0.7%とごくわずかである。

図表I-5 回答者の家族構成タイプの割合

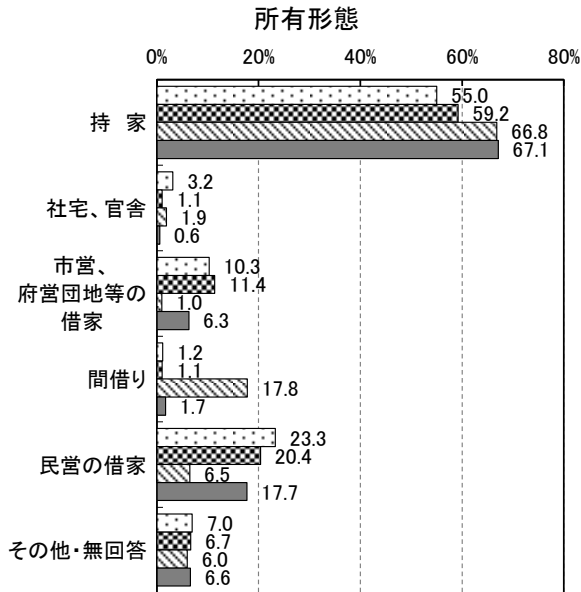


6. 居住する所有形態及び住宅形式

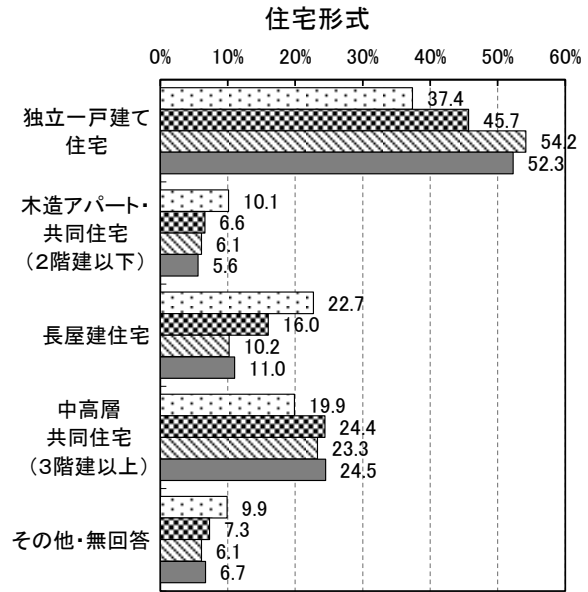
居住する住宅の所有形態については、前回調査において特異的に高かった「間借り」の比率が下がり、「民営の借家」の比率が高まっている。

住宅形式については、前回調査と大きな傾向の変化はなく、「独立一戸建て住宅」が最も多く、次いで中高層共同住宅（3階建以上）が多い。

図表I-6 回答者が居住する住宅の所有形態別の割合
(含過年度調査結果)



図表I-7 回答者が居住する住宅形式別の割合
(含過年度調査結果)



□昭和63年度調査(N=1,325)
 ■平成10年度調査(N=1,131)
 ▨平成20年度調査(N=1,156)
 ■平成26年度調査(N=972)

III. 回答結果

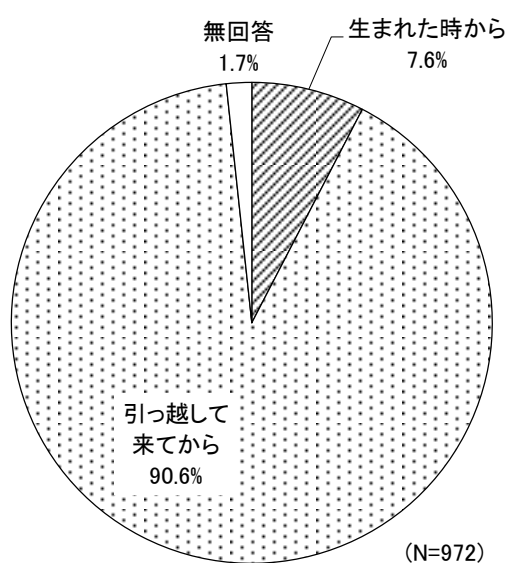
1. 定住意向

(1) 居住歴

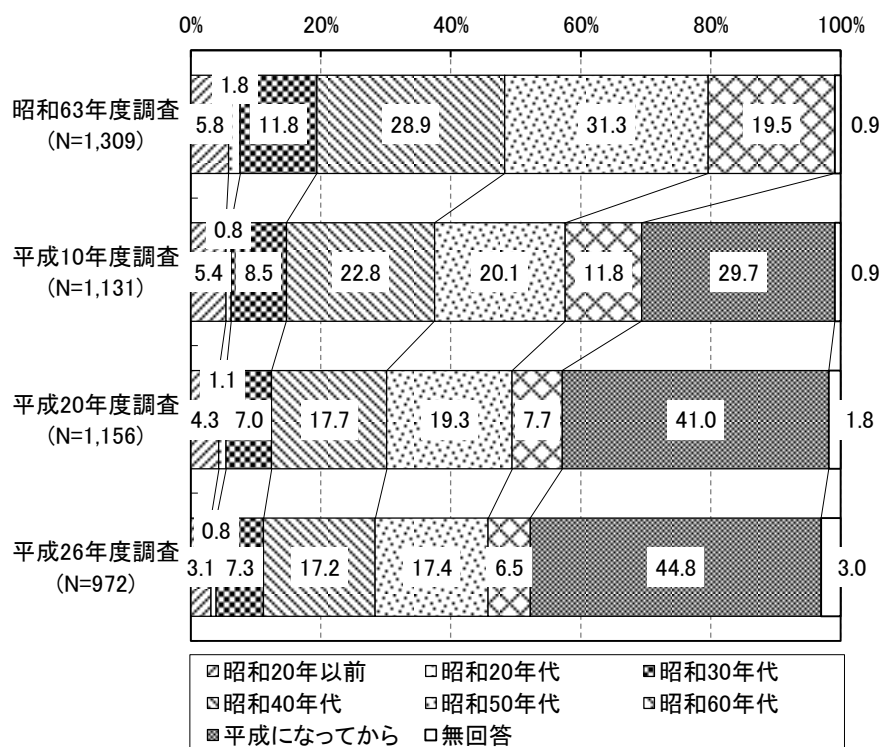
居住歴については、現居住地への居住起因は、90.6%が「引っ越して来てから」、7.6%が「生まれた時から」となっている。

回答者あるいは本人の家族などが現居住地に住むことになった年代について、今回の調査結果から多い順にみると、「平成になってから」が44.8%と最も多く、次いで昭和50年代の17.4%、昭和40年代の17.2%、昭和30年代の7.3%と続いている。

図表Ⅲ-1 回答者の現居住地への居住起因

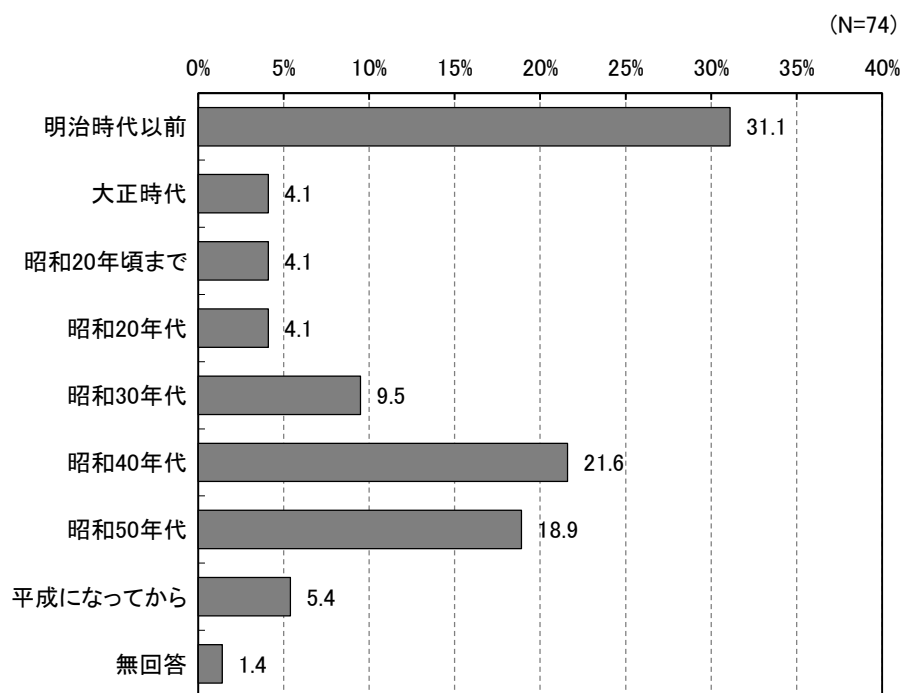


図表Ⅲ-9 回答者あるいは回答者の家族の現居住地への転入時期(含過年度調査結果)



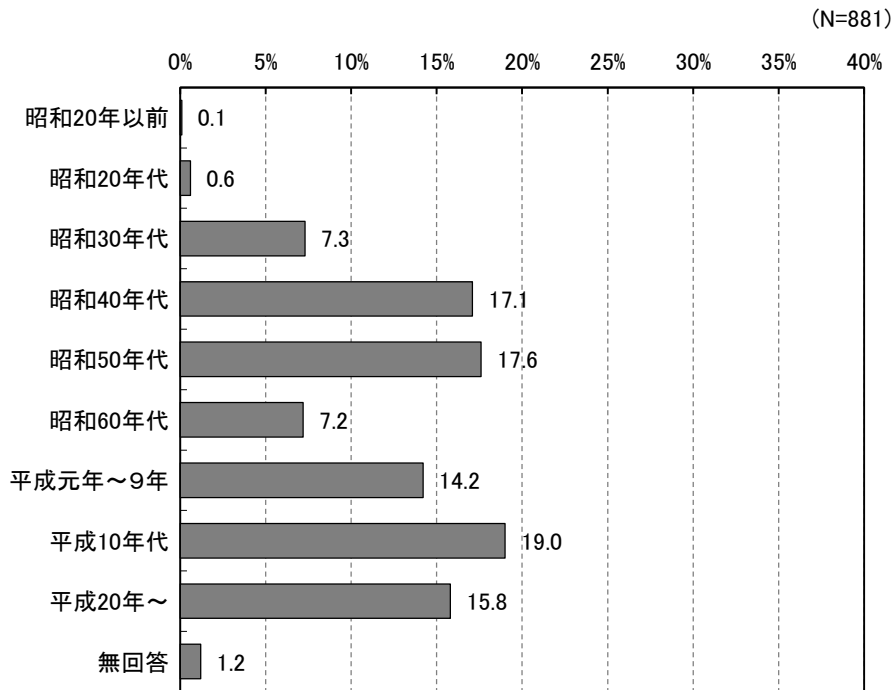
また、「生まれた時から」と回答した者のうち、「明治時代以前」が 31.1%と最も多く、次いで、「昭和40年代」の 21.6%、「昭和50年代」の 18.9%、「昭和30年代」の 9.5%となっており、明治以前と昭和40・50年代にまとまった層が形成されている。

図表Ⅲ-2 「生まれた時から」と回答した者の家族の現居住地への転入時期



一方、「引っ越して来てから」と回答した者のうち、「平成10年代」が19.0%と最も多く、次いで、「昭和50年代」の17.6%、「昭和40年代」の17.1%、「平成20年～」の15.8%と続いている。先ほどの「生まれた時から」と合わせて考えると、昭和40・50年代からの居住者大きな層を占め、平成10年以降に移ってきた人がもう一つ大きな層を形成しつつあることがうかがえる。

図表Ⅲ-3 「引っ越してきてから」と回答した者の転入時期

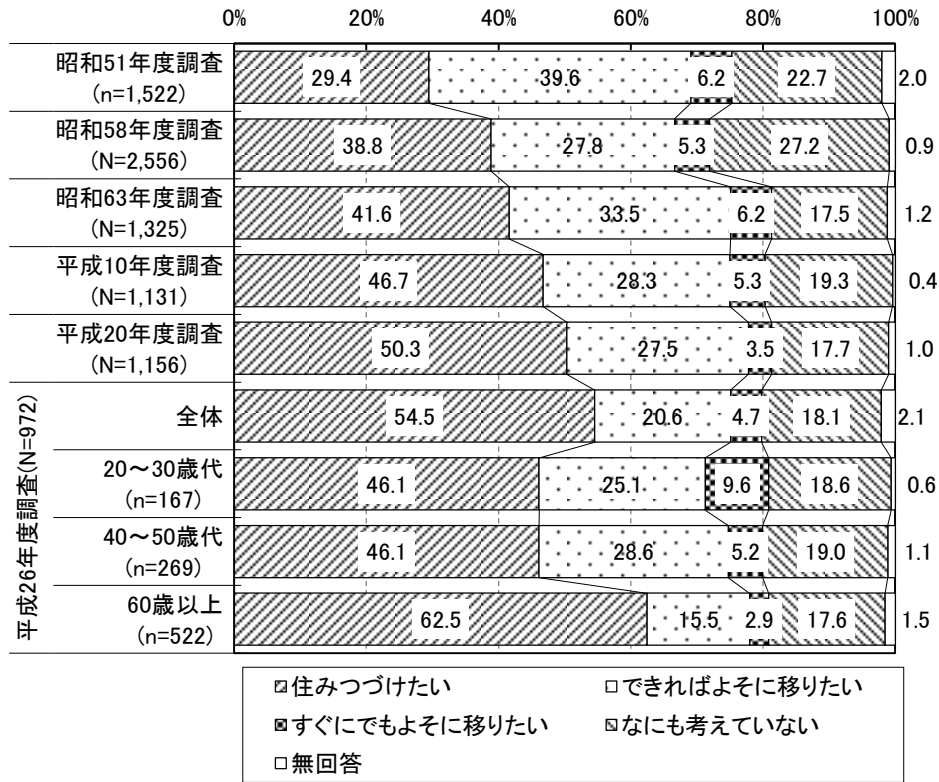


(2) 全体的な定住意向

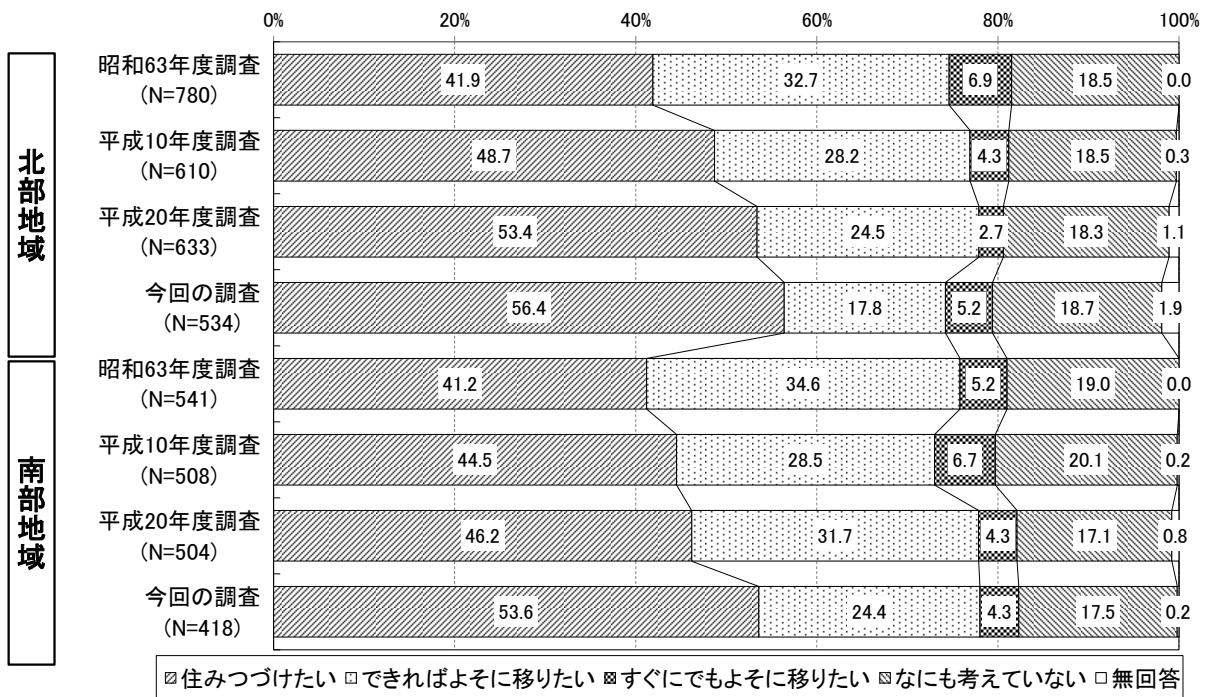
定住意向については、「住みつづけたい」という回答の比率が昭和51(1976)年度の調査以降、回を重ねるごとに高まっている。「できればよそに移りたい」という比率は20.6%と、前回(平成20(2008)年度調査)から大きく低下しており、全体的に定住意向が高まっている様子が見られる。

年齢別に見ると、住みつづけたいという意向は60歳以上において顕著に高く、50歳代以下の年齢層においては「住みつづけたい」という回答の比率が50%を下回っている。

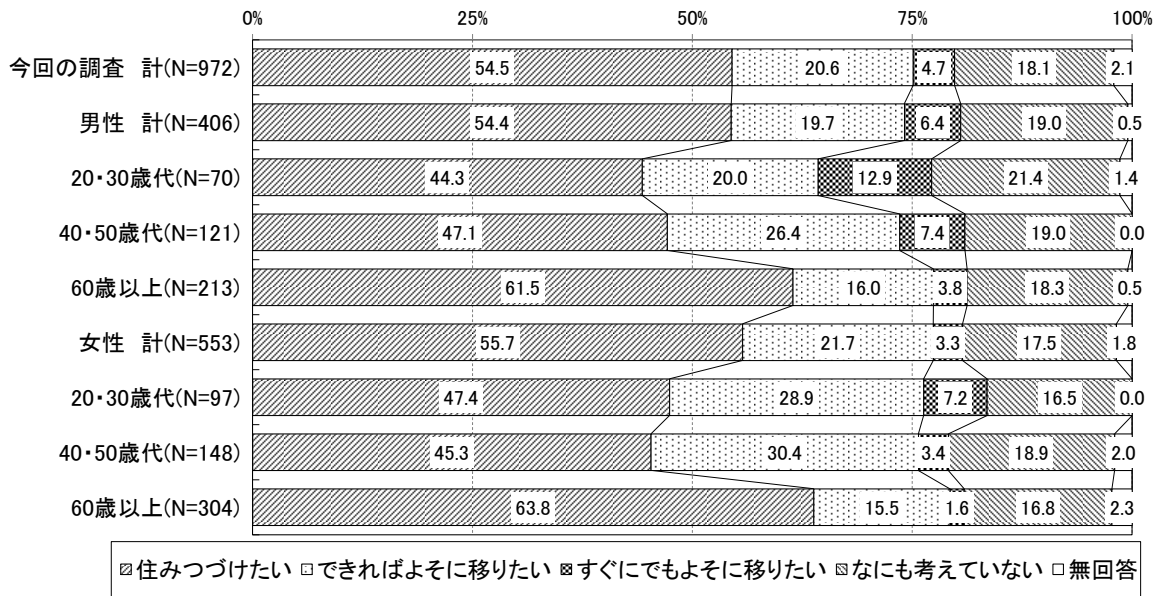
図表Ⅲ-4 定住・移住意向の推移と年代別の定住・移住意向の推移(過年度調査結果と比較)



図表Ⅲ-5 地域別の定住・移住意向の推移(過年度調査結果と比較)



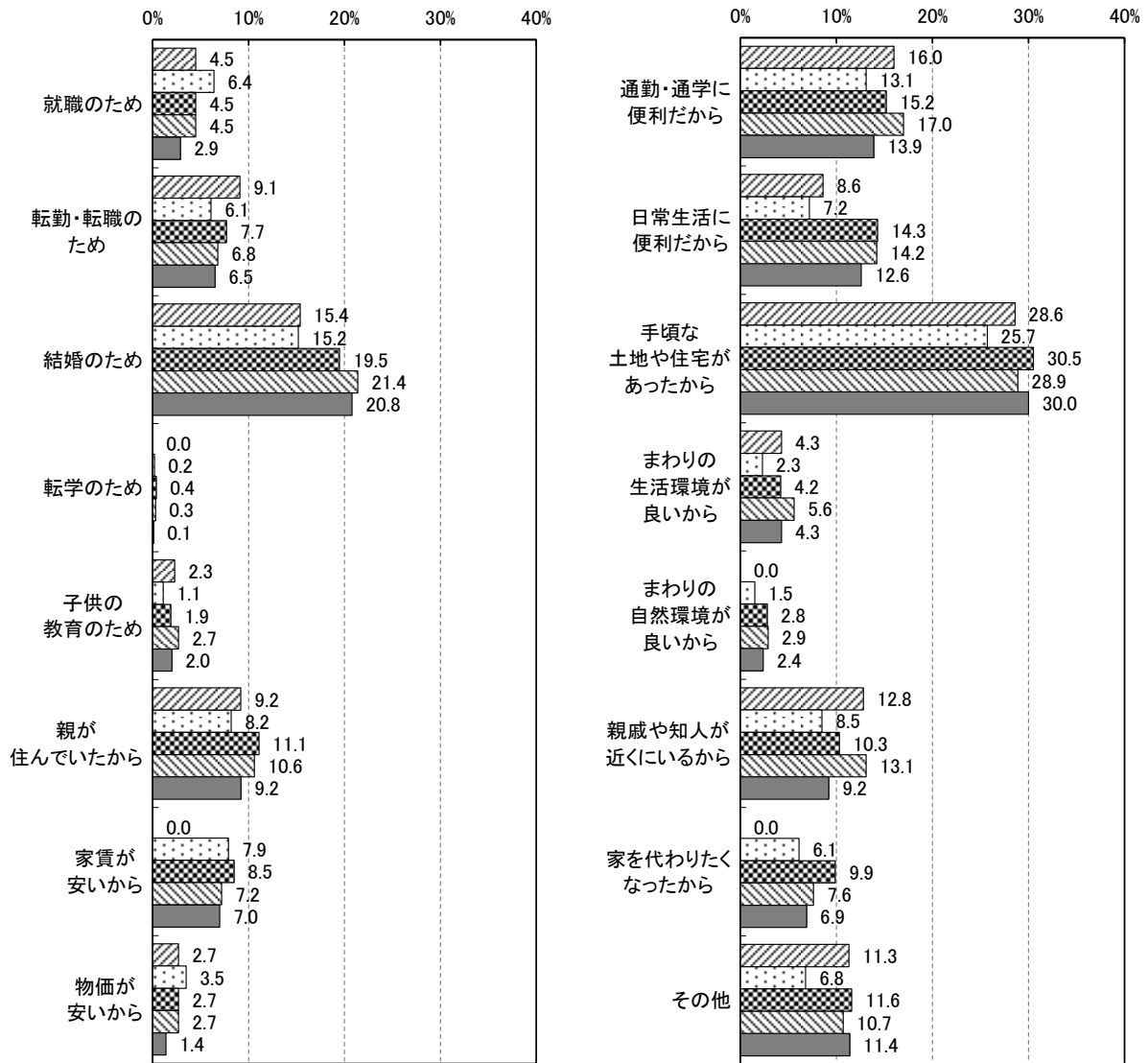
図表Ⅲ-6 年代別の定住・移住意向の推移



(3) 居住理由

現在の場所に居住するようになった理由については、「手頃な土地や住宅があったから」という回答が最も多く、次いで「結婚のため」「通勤・通学に便利だから」の順となっている。「結婚のため」という回答は、平成10年以降の調査で上昇している。

図表Ⅲ-7 居住者の居住理由(過年度調査結果との比較)



□ 昭和58年度調査(N=2,556)
 □ 昭和63年度調査(N=1,325)
 ■ 平成10年度調査(N=1,131)
 ▨ 平成20年度調査(N=1,156)
 ■ 平成26年度調査(N=972)

また、男女別・年代別に居住理由をみると、男性20・30歳代では、「手頃な土地や住宅があったから」が17.1%、「結婚のため」が18.6%、「通勤・通学に便利だから」が17.1%、「親が住んでいたから」が20.0%と、これらの理由がほぼ20%前後の割合を占めている。

女性20・30歳代では、「結婚のため」が33.0%と圧倒的な居住理由になっており、次いで「手頃な土地や住宅があったから」が20.6%、「通勤・通学に便利だから」が18.6%、「親が住んでいたから」が15.5%と続いている。

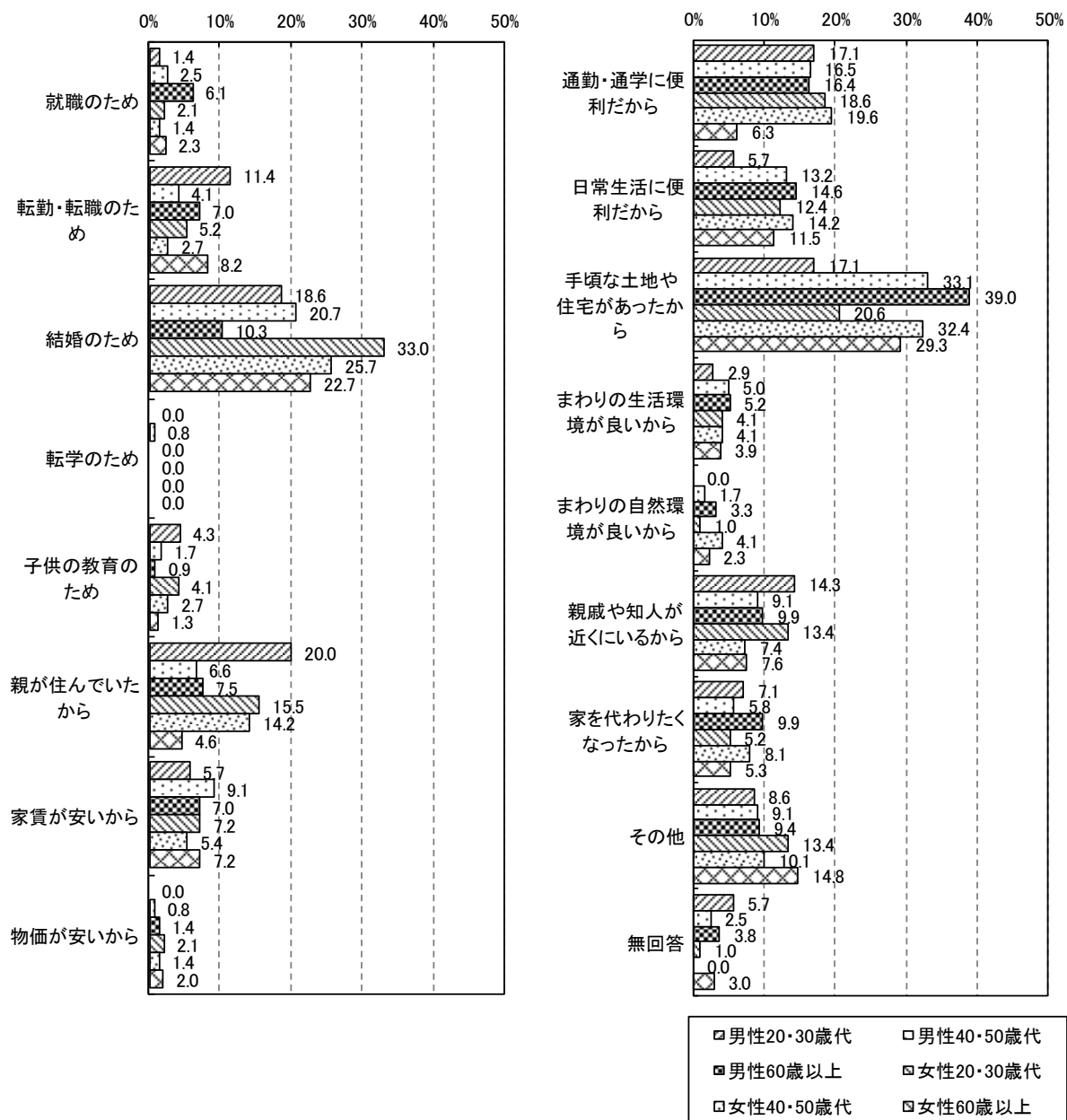
男性40・50歳代では、「手頃な土地や住宅があったから」が33.1%、「結婚のため」が20.7%、「通勤・通学に便利だから」が16.5%となっている。

女性40・50歳代では、「手頃な土地や住宅があったから」が32.4%、「結婚のため」が25.7%、「通勤・通学に便利だから」が19.6%となっている。

男性60歳以上では、「手頃な土地や住宅があったから」が39.0%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利だから」が16.4%、「日常生活に便利だから」が14.6%となっている。

女性60歳以上では、「手頃な土地や住宅があったから」が29.3%と最も多く、次いで「結婚のため」が22.7%、「その他」が14.8%となっている。

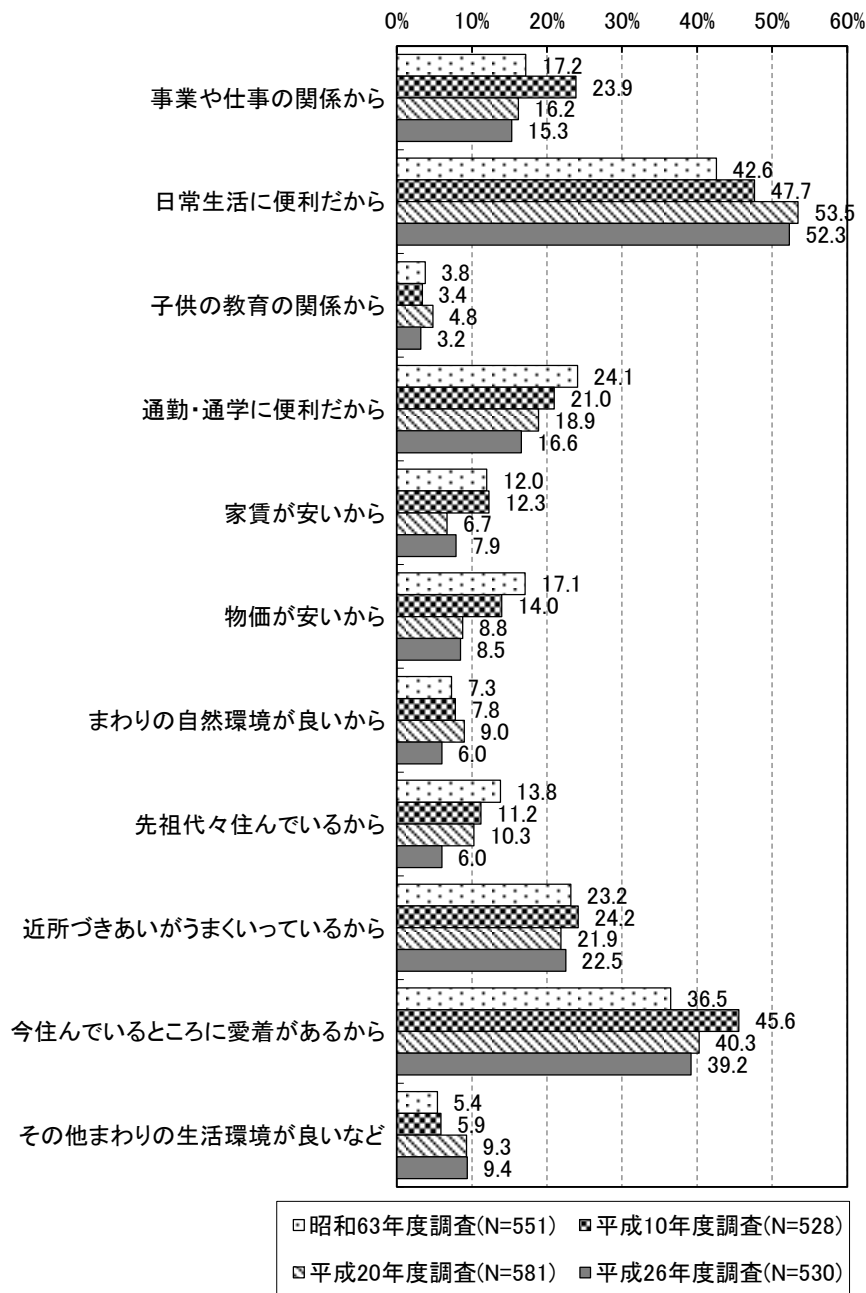
図表Ⅱ-8 男女年代別にみた居住理由



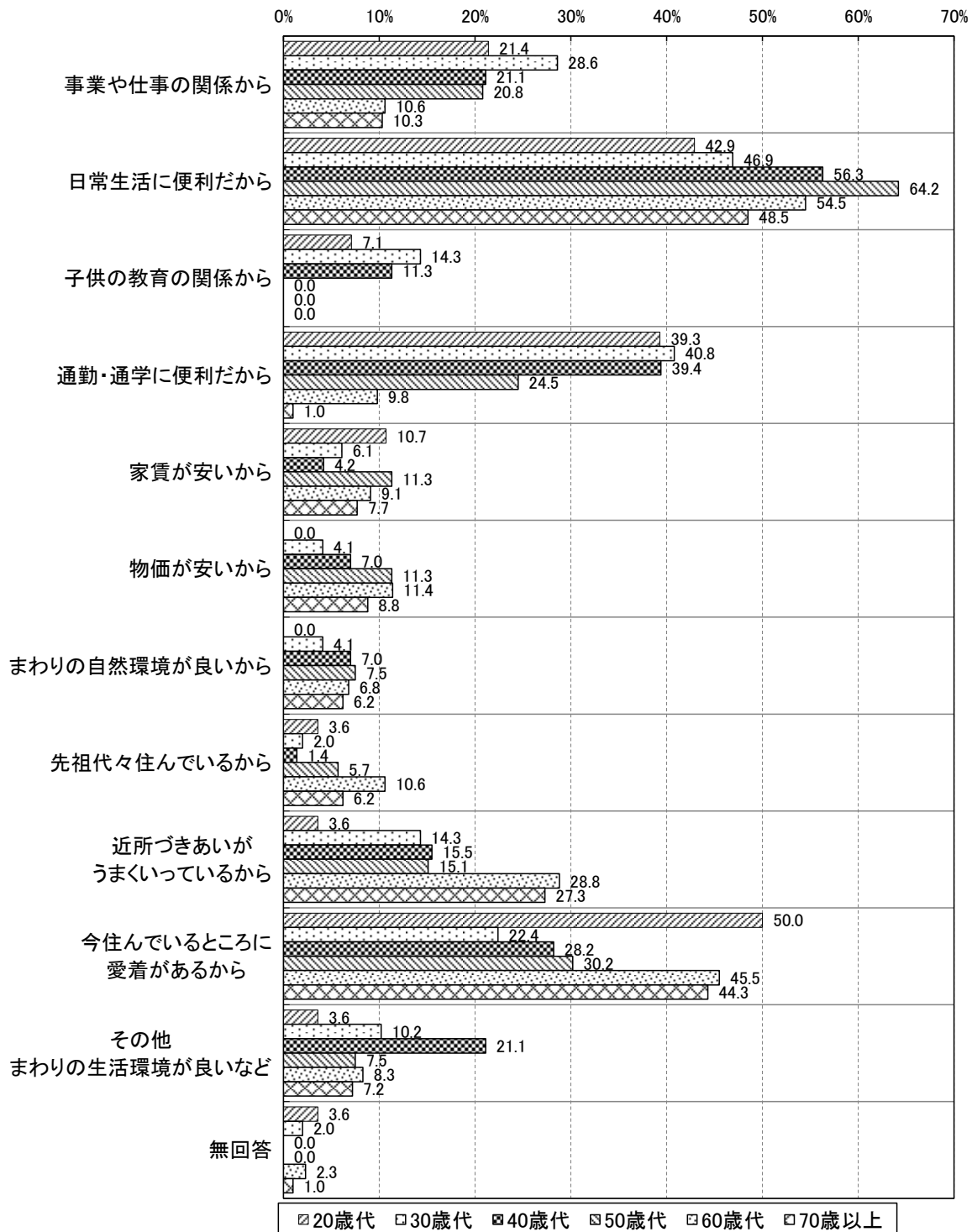
(4) 住みつけたい理由

住みつけたい理由としては、「日常生活に便利だから」が最も高く、「今住んでいるところに愛着があるから」「近所づきあいがうまくいっているから」の順に多い。この傾向は前回、前々回から変わっていないが、「今住んでいるところに愛着があるから」という回答の比率は低下傾向にある。その他、「事業や仕事の関係から」「通勤・通学に便利だから」という回答の比率も下がり続けている。この背景としては、回答者の高齢化が進行し、仕事を退職して通勤しない人が増えたことが考えられる。

図表Ⅲ-9 定住意向者の定住理由の推移(過年度調査結果との比較)



図表Ⅲ-10 年代別にみた定住意向者の定住理由



年代別にみると、20歳代では「今住んでいるところに愛着があるから」が50.0%と最も高く、次いで「日常生活に便利だから」が42.9%、「通勤・通学に便利だから」が39.3%となっている。

30歳代では、「日常生活に便利だから」が46.9%と最も高く、次いで「通勤・通学に便利だから」が40.8%、「事業や仕事の関係から」が28.6%となっている。

40歳代では、「日常生活に便利だから」が56.3%、次いで「通勤・通学に便利だから」が39.4%、「今住んでいるところに愛着があるから」が28.2%となっている。

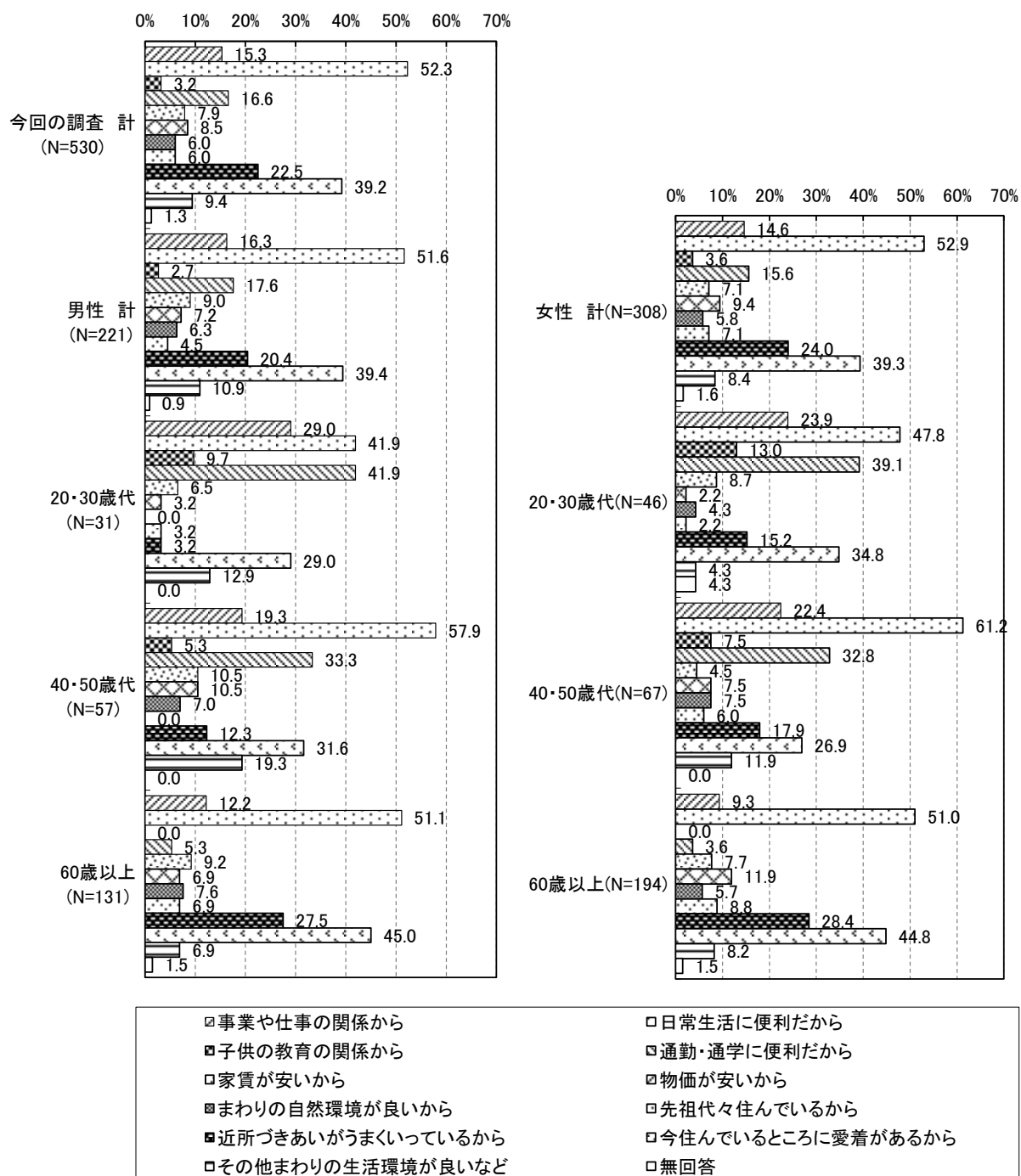
50歳代では、「日常生活に便利だから」が64.2%、「今住んでいるところに愛着があるから」が30.2%、「通勤・通学に便利だから」が24.5%と続いている。

60歳代では、「日常生活に便利だから」が54.5%、「今住んでいるところに愛着があるから」が45.5%、「近所づきあいがうまくいっているから」が28.8%となっている。

70歳代以上では、「日常生活に便利だから」が48.5%、「今住んでいるところに愛着があるから」が44.3%、「近所づきあいがうまくいっているから」が27.3%となっている。

男女年代別でみた定住意向者の定住理由については、男女とも同様の傾向を示しているが、20・30歳代の男性では「日常生活に便利だから」と「通勤・通学に便利だから」と回答した割合がそれぞれ41.9%となっている一方、20・30歳代の女性では「日常生活に便利だから」が47.8%で、「通勤・通学に便利だから」の39.1%を8.7ポイント上回っている。

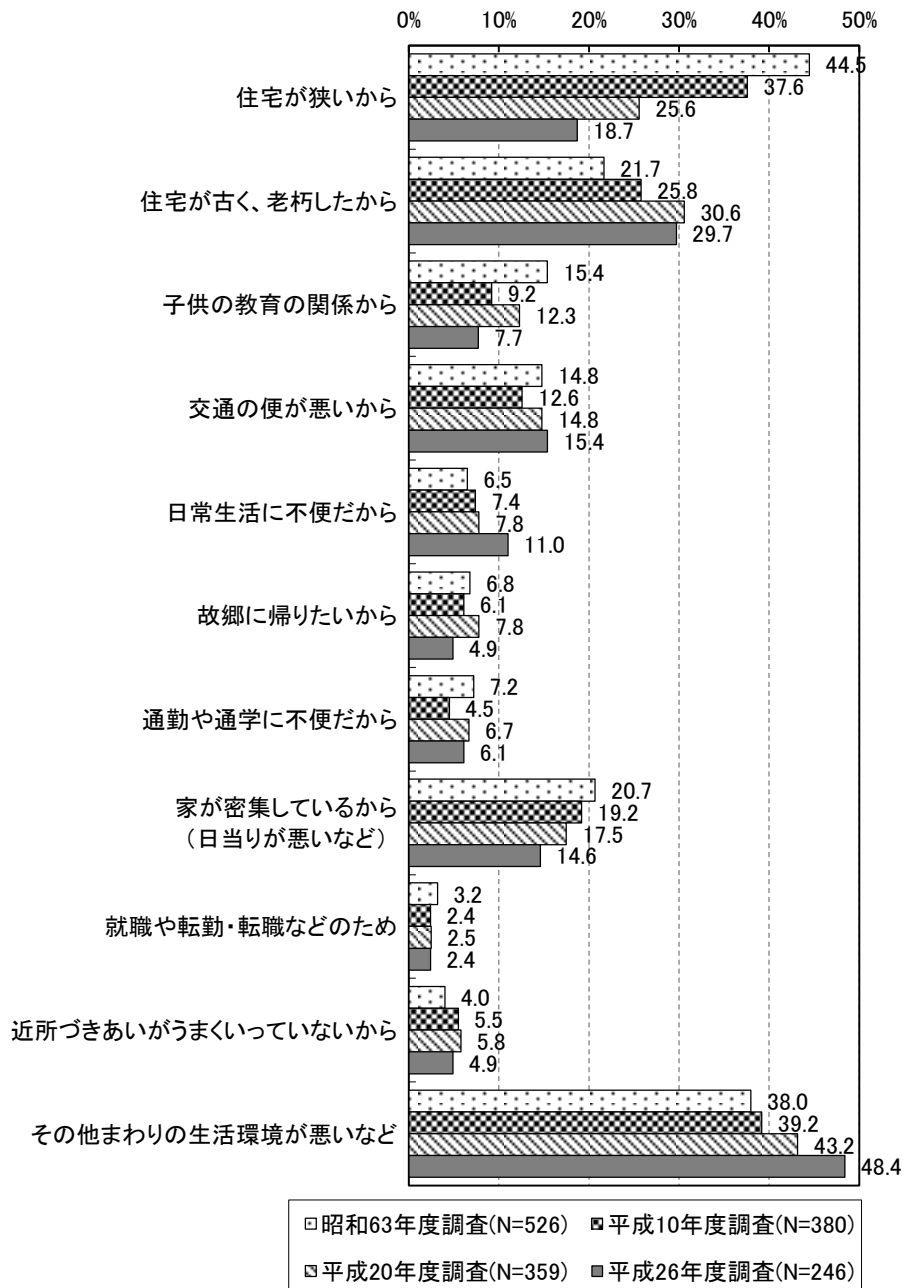
図表Ⅲ-11 男女年代別にみた定住意向者の定住理由



(5) よそに移りたい理由

よそに移りたい理由としては、「その他まわりの生活環境が悪いなど」という回答が最も多く、前回、前々回と比べてその比率は高まっている。次いで多いのは「住宅が古く、老朽したから」となっている。「住宅が狭いから」「家が密集しているから（日当たりが悪いなど）」という回答の比率は減少傾向である。

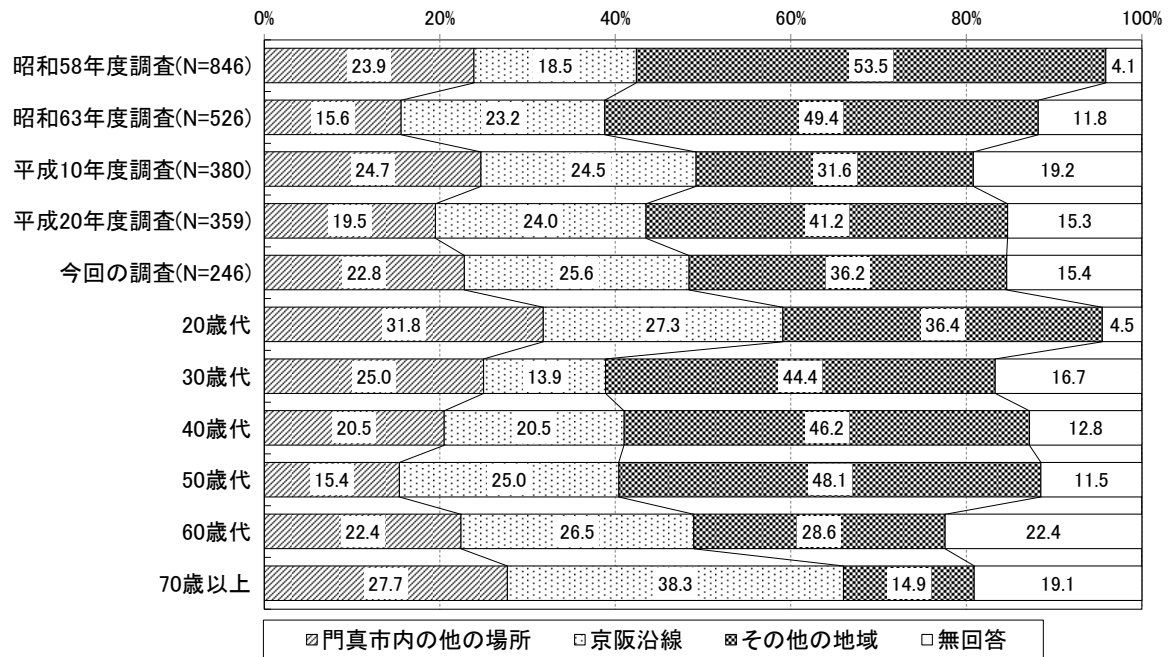
図表Ⅲ-12 移住意向者の移住理由の推移(過年度調査結果との比較)



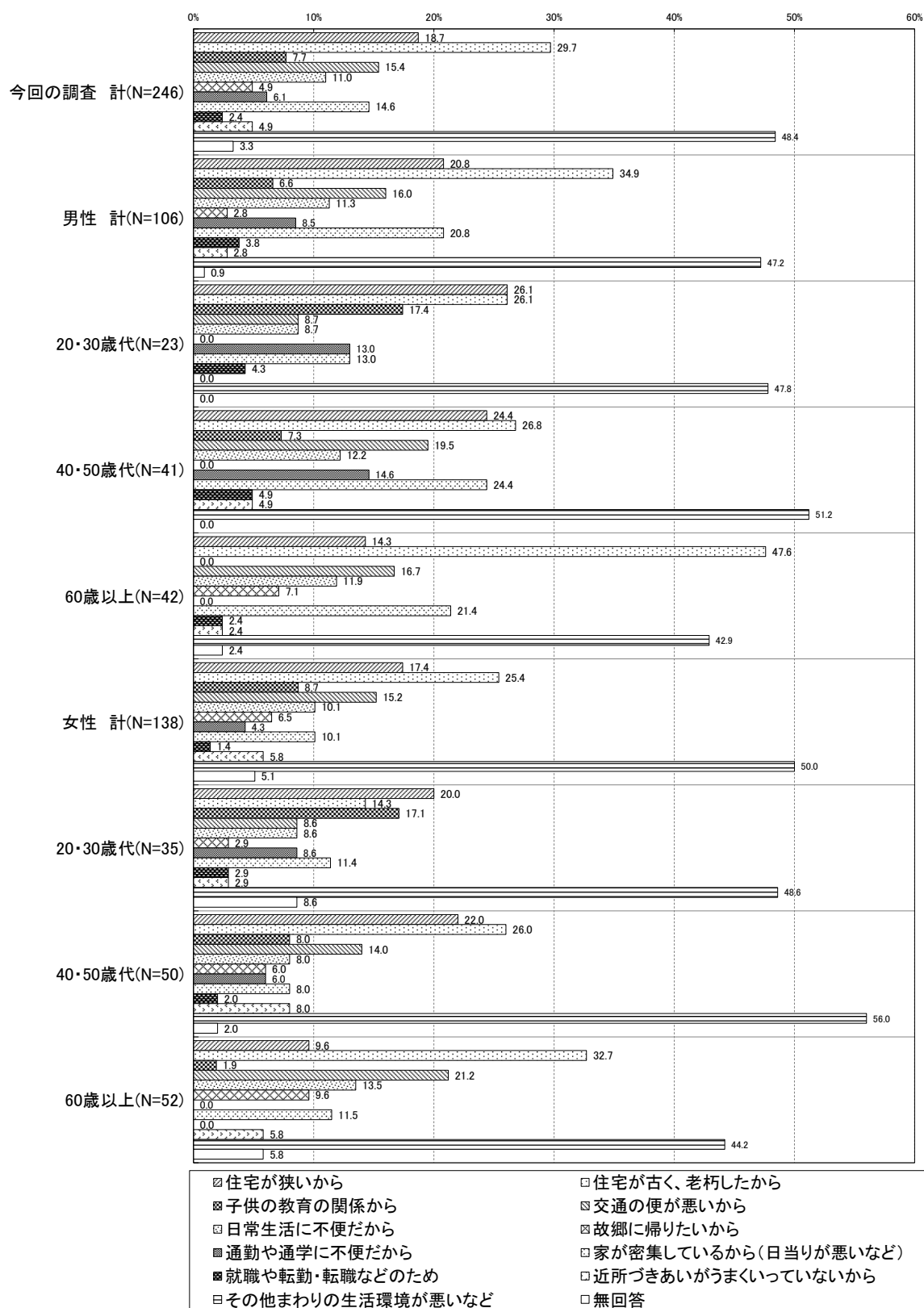
移住意向者の移住希望先で最も多いのは、「京阪沿線」で38.3%となっている。次いで、「門真市内の他の場所」や「京阪沿線」以外の地域で34.0%、「門真市内の他の場所」が27.7%となっている。

回答者の年代別に移住希望先をみると、具体的な移住先を考えていないと想定される「無回答」は概ね年齢層が低くなるにしたがい割合が低下し、具体的な移住希望先を考えている傾向がうかがえる。

図表Ⅲ-13 移住希望先の推移と年代別の移住希望先(過年度調査結果との比較)



図表Ⅲ-14 男女年代別にみた移住意向者の移住理由

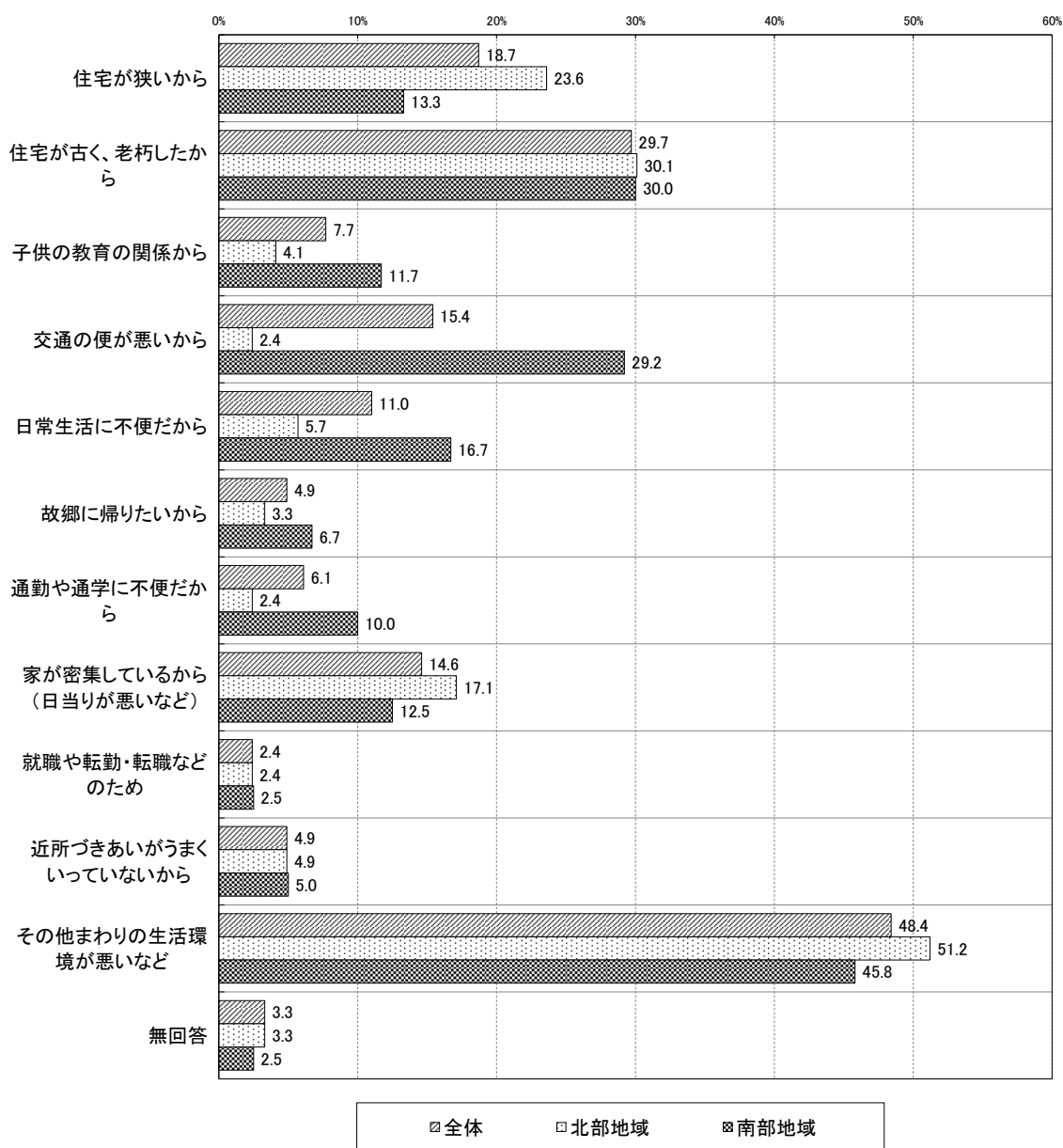


なお、地域別にみると、北部地域、南部地域とも「その他まわりの生活環境が悪いなど」がそれぞれ51.2%、45.8%と最も多い理由となっている。

次いで、北部地域では「住宅が古く、老朽したから」が30.1%、「住宅が狭いから」が23.6%、「家が密集しているから（日当たりが悪いなど）」が17.1%と続き、移住意向の理由として、住宅や住環境が大きな理由となっている。

一方、南部地域では、「住宅が古く、老朽したから」が30.0%、「交通の便が悪いから」が29.2%、「日常生活に不便だから」が16.7%となっており、交通の便が悪いこと、住宅の老朽化や生活環境が移住意向の理由となっている。

図表Ⅲ-15 地域別にみた移住意向者の移住理由



2. 行政の分野別施策の評価

(1) 全分野の施策の評価

全分野の各施策の満足度及び重要度について回答者の平均点を算出し、右図に示したように、各施策のクロス領域における位置から重点的に強化の対応を検討すべき課題（重点強化対応検討課題領域）、強化の対応を検討すべき課題（強化対応検討課題領域）、対応を検討すべき課題（検討課題領域）に分類すると次表のような結果となる。

注) 同一領域内については、評価指数 = [(5 - 満足度点) × 重要度点] の大きい順に列挙

◇ 重点強化対応検討課題領域 満足度2.5以下かつ重要度4.0以上
◇ 強化対応検討課題領域 満足度2.5以下かつ重要度3.5以上、 満足度3.0以下かつ重要度4.0以上
◇ 検討課題領域 満足度3.0以下かつ重要度3.5

次表によると、重点強化対応検討課題としては、「安全に外出できる道路などの環境ができていないこと」が挙げられ、生活道路の整備などが求められていることがうかがえる。

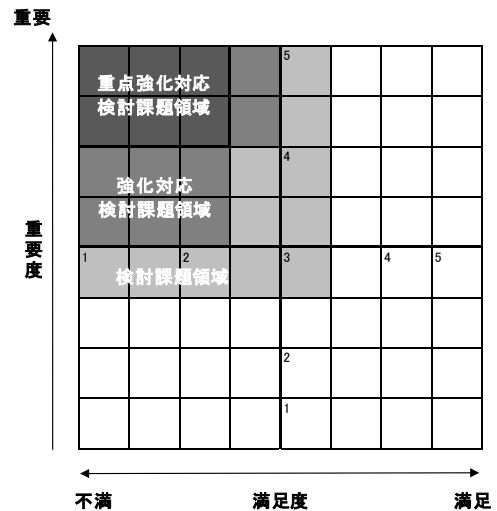
強化対応検討課題としては、「犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていないこと」（治安）、「無駄を省いた健全で効率的な財政運営がなされていること」（行財政改革）、「美しいまちなみであること」（景観・まちの美化）、「商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること」（まちの活性化）が位置付けられる。

前回の調査において、重点強化対応検討課題に挙げられたのは①防犯対策②行財政の運営③交通安全④子どもを産み・育てやすいまちづくり、であり、強化対応検討課題は⑤災害の対策や防災体制の整備⑥街並み・景観への配慮⑦市政への市民意見の反映⑧休日、夜間などの救急医療体制⑨公園・緑地の整備、であった。

前回と今回との比較としては、生活道路の案税制や治安、景観などの問題は引き続き重要課題に位置付けられているが、今回新たに上がってきている課題としては、まちの活性化に関わる「商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること」が挙げられる。

図表Ⅲ-16 施策の強化等と検討する領域図

評価の領域設定



* 配点表

満足度	重要度	配点
満足	非常に重要	5点
やや満足	重要	4点
普通	普通	3点
やや不満	重要でない	2点
不満	全く重要でない	1点

図表Ⅲ-17 全分野各施策の満足度及び重要度と課題検討領域

施策体系		満足度	重要度	評価指数	該当領域
基3-2	安全に外出できる道路などの環境ができていないこと	2.49	4.00	10.04	重点強化対応
基3-1	犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていないこと	2.55	4.15	10.17	強化対応
基1-8	無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること	2.50	3.88	9.70	
基6-3	美しいまちなみであること	2.44	3.67	9.40	
基6-6	商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること	2.49	3.65	9.16	
基3-3	地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること	2.56	3.98	9.71	
基2-2	家庭や地域で子どもを育む環境となっていること	2.57	3.82	9.28	
基2-1	保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていないこと	2.65	3.85	9.05	
基5-4	障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていないこと	2.61	3.76	8.99	
基3-7	安全で便利な道路の整備がなされていること	2.65	3.81	8.95	
基6-5	企業誘致などにより雇用が確保されていること	2.57	3.68	8.94	
基5-3	高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていないこと	2.63	3.77	8.93	検討課題
基5-8	救急医療体制ができていないこと	2.76	3.98	8.92	
基6-4	身近に公園や緑地が整備されていること	2.60	3.71	8.90	
基2-3	幼稚園、保育園や学校において個性を尊重した教育が進められていること	2.66	3.80	8.89	
基1-1	市政に市民意見が十分に反映されていること	2.63	3.63	8.60	
基3-4	市街地が整備され、にぎわいがあること	2.59	3.51	8.46	
基2-4	保護者、地域、学校が連携して子どもの教育に取り組んでいること	2.74	3.74	8.45	
基5-1	互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていないこと	2.73	3.67	8.33	
基3-10	住宅地が整備され、生活しやすい環境ができていないこと	2.70	3.60	8.28	
基5-2	各種福祉施設が使いやすく整備されていること	2.74	3.62	8.18	
基5-7	医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていないこと	2.88	3.85	8.16	
基3-9	公共施設などが誰もが使いやすく整備されていること	2.75	3.61	8.12	
基5-5	市民が健康づくりに取り組める環境ができていないこと	2.75	3.59	8.08	
基1-2	行政の情報が適切に市民へ提供されていること	2.82	3.63	7.91	
基6-2	自然環境の保全や、環境教育などが行われていること	2.80	3.58	7.88	
基2-5	学校施設の耐震補強や地域に開かれた施設の活用がなされていること	2.93	3.72	7.70	
基1-6	組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていること	2.59	3.48	8.39	
基4-5	公民館、図書館、体育館などが使いやすいこと	2.89	3.47	7.32	
基6-7	活発な工業活動が行われるような環境になっていること	2.69	3.43	7.92	
基6-8	生産者と消費者にとって魅力的な農業が行われていること	2.65	3.41	8.01	
基4-4	学びたい時に学べる環境が整っていること	2.74	3.39	7.66	
基4-6	身近にスポーツ等に取り組める環境ができていないこと	2.75	3.36	7.56	
基1-5	自治会活動や市民活動が活性化するような環境ができていないこと	2.84	3.35	7.24	
基4-1	男女がともに様々な活動に平等に関わることができる社会となっていること	2.88	3.35	7.10	
基1-4	インターネットやCATVなどを活用した行政情報を提供できるしくみができていないこと	2.76	3.33	7.46	
基4-7	身近に芸術や文化にふれることができる環境ができていないこと	2.76	3.29	7.37	
基4-2	在住外国人と活発に交流できていること	2.65	3.11	7.31	
基4-3	国外の都市との交流が行われていること	2.73	3.10	7.04	
基3-6	まちの骨格を形成する幹線道路が整備され、他地域への行くのが便利であること	3.06	3.64	7.06	
基3-5	下水道が整備されていること	3.07	3.85	7.43	
基5-6	健康診査・各種検診などが充実し、利用しやすいこと	3.07	3.75	7.24	
基1-7	迅速で明るく、わかりやすい窓口サービスがなされていること	3.08	3.75	7.20	
基3-8	バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと	3.09	3.74	7.14	
基1-3	広報紙などで広報・広聴活動が十分なされていること	3.10	3.64	6.92	
基6-1	ごみの減量や省エネルギー対策、リサイクルの取組みが行われていること	3.12	3.68	6.92	

満足度

「満足」という回答を5点、「やや満足」を4点、以下1点ずつ減点して「不満」を1点として、その点数の平均を前回の調査と評価を比較すると、次ページの表のとおりとなる。46項目中、評価が下がったものは8項目であり、大半の項目において評価が上がり、満足度が高まっている。

特に改善幅が大きいのは「自然環境の保全や環境教育などが行われていること」(0.19ポイント)「市政に市民意見が十分に反映されていること」(0.18ポイント)「行政の情報が適切に市民へ反映されていること」(0.18ポイント)「犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていないこと」(0.18ポイント)となっている。

ただ、平均点において「普通」の配点3点を上回っているのは、「広報紙などで広報・広聴活動が十分なされていること」「下水道が整備されていること」など6項目にとどまっている。

図表Ⅲ-18 全分野各施策の満足度(前回調査結果との比較)

満足度		平成26年度調査 (N=972)	平成21年度調査 (N=1,156)	26年度と 21年度の 差
基本目標1	市政に市民意見が十分に反映されていること	2.63	2.45	0.18
	行政の情報が適切に市民へ提供されていること	2.82	2.64	0.18
	広報紙などで広報・広聴活動が十分なされていること	3.10	2.97	0.13
	インターネットやCATVなどを活用した行政情報を提供できるしくみができていること	2.76	2.77	-0.01
	自治会活動や市民活動が活性化するような環境ができていること	2.84	2.87	-0.03
	組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていること	2.59	2.59	0.00
	迅速で明るく、わかりやすい窓口サービスがなされていること	3.08	2.77	0.31
基本目標2	無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること	2.50	2.40	0.10
	保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていること	2.65	2.50	0.15
	家庭や地域で子どもを育む環境となっていること	2.57	2.53	0.04
	幼稚園、保育園や学校において個性を尊重した教育が進められていること	2.66	2.64	0.02
	保護者、地域、学校が連携して子どもの教育に取り組んでいること	2.74	2.74	0.00
	学校施設の耐震補強や地域に開かれた施設の活用がなされていること	2.93	2.68	0.25
	基本目標3	犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていること	2.55	2.37
安全に外出できる道路などの環境ができていること		2.49	2.43	0.06
地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること		2.56	2.55	0.01
市街地が整備され、にぎわいがあること		2.59	2.72	-0.13
下水道が整備されていること		3.07	3.12	-0.05
まちの骨格を形成する幹線道路が整備され、他地域への行くのが便利であること		3.06	3.02	0.04
安全で便利な道路の整備がなされていること		2.65	2.55	0.10
基本目標4	バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと	3.09	3.10	-0.01
	公共施設などが誰もが使いやすく整備されていること	2.75	2.59	0.16
	住宅地が整備され、生活しやすい環境ができていること	2.70	2.62	0.08
	男女がともに様々な活動に平等に関わることができる社会となっていること	2.88	2.81	0.07
	在住外国人と活発に交流できていること	2.65	2.58	0.07
	国外の都市との交流が行われていること	2.73	2.63	0.10
	学びたい時に学べる環境が整っていること	2.74	2.64	0.10
基本目標5	公民館、図書館、体育館などが使いやすいこと	2.89	2.78	0.11
	身近にスポーツ等に取り組める環境ができていること	2.75	2.63	0.12
	身近に芸術や文化にふれることができる環境ができていること	2.76	2.64	0.12
	互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていること	2.73	2.69	0.04
	各種福祉施設が使いやすく整備されていること	2.74	2.67	0.07
	高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていること	2.63	2.56	0.07
	障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていること	2.61	2.54	0.07
基本目標6	市民が健康づくりに取り組める環境ができていること	2.75	2.68	0.07
	健康診査・各種検診などが充実し、利用しやすいこと	3.07	2.92	0.15
	医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていること	2.88	2.74	0.14
	救急医療体制ができていること	2.76	2.69	0.07
	ごみの減量や省エネルギー対策、リサイクルの取組みが行われていること	3.12	3.01	0.11
	自然環境の保全や、環境教育などが行われていること	2.80	2.61	0.19
	美しいまちなみであること	2.44	2.37	0.07
基本目標6	身近に公園や緑地が整備されていること	2.60	2.49	0.11
	企業誘致などにより雇用が確保されていること	2.57	2.53	0.04
	商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること	2.49	2.57	-0.08
	活発な工業活動が行われるような環境になっていること	2.69	2.70	-0.01
	生産者と消費者にとって魅力的な農業が行われていること	2.65	2.58	0.07
	全体平均	2.75	2.67	0.08

重要度

「非常に重要」という回答を5点、「重要」を4点、以下1点ずつ減点して「全く重要でない」を1点として、その点数の平均を前回の調査と評価を比較すると、下記の表のとおりとなる。46項目中、重要度の評価が高まったのは13項目であり、大半の項目において重要度の評価が下がっている。

その中で、重要度の評価の上昇幅が大きいのは「在住外国人と活発に交流できていること」(0.14ポイント)「商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること」(0.11ポイント)となっている。

図表Ⅲ-19 全分野各施策の重要度(前回調査結果との比較)

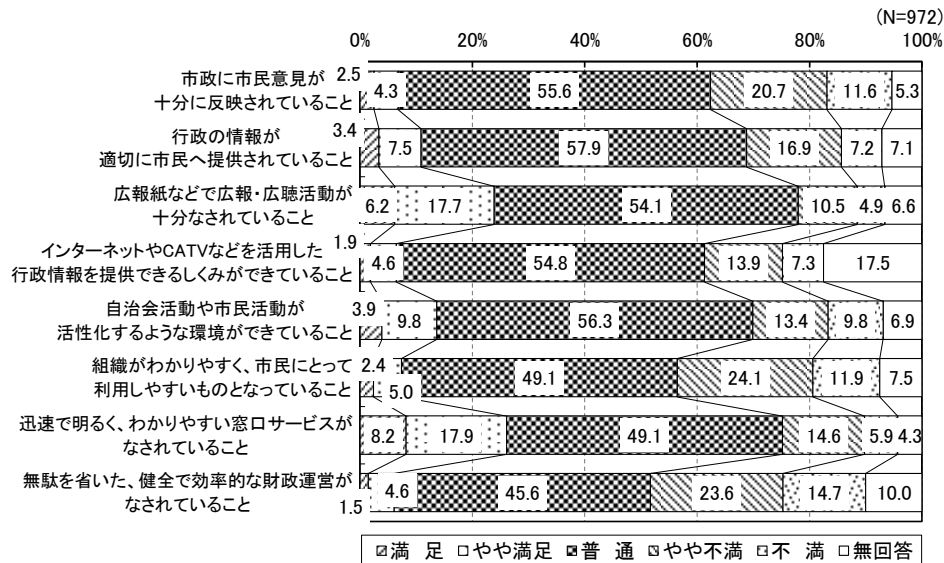
重要度		平成26年 度調査 (N=972)	平成21年 度調査 (N=1,156)	26年度と 21年度の 差	
基本 目標 1	市政に市民意見が十分に反映されていること	3.63	3.79	-0.16	
	行政の情報が適切に市民へ提供されていること	3.63	3.69	-0.06	
	広報紙などで広報・広聴活動が十分なされていること	3.64	3.60	0.04	
	インターネットやCATVなどを活用した行政情報を提供できるしくみができていること	3.33	3.36	-0.03	
	自治会活動や市民活動が活性化するような環境ができていること	3.35	3.33	0.02	
	組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていること	3.48	3.59	-0.11	
	迅速で明るく、わかりやすい窓口サービスがなされていること	3.75	3.83	-0.08	
	無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること	3.88	4.02	-0.14	
	保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていること	3.85	4.01	-0.16	
	家庭や地域で子どもを育む環境となっていること	3.82	3.80	0.02	
	幼稚園、保育園や学校において個性を尊重した教育が進められていること	3.80	3.74	0.06	
	保護者、地域、学校が連携して子どもの教育に取り組んでいること	3.74	3.76	-0.02	
	2 学校施設の耐震補強や地域に開かれた施設の活用がなされていること	3.72	3.78	-0.06	
	基本 目標 3	犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていること	4.15	4.16	-0.01
安全に外出できる道路などの環境ができていること		4.00	4.01	-0.01	
地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること		3.98	4.04	-0.06	
市街地が整備され、にぎわいがあること		3.51	3.48	0.03	
下水道が整備されていること		3.85	3.95	-0.10	
まちの骨格を形成する幹線道路が整備され、他地域への行くのが便利であること		3.64	3.65	-0.01	
安全で便利な道路の整備がなされていること		3.81	3.86	-0.05	
バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと		3.74	3.82	-0.08	
公共施設などが誰もが使いやすい整備されていること		3.61	3.79	-0.18	
住宅地が整備され、生活しやすい環境ができていること		3.60	3.74	-0.14	
男女がともに様々な活動に平等に関わる事ができる社会となっていること		3.35	3.30	0.05	
4 在住外国人と活発に交流できていること		3.11	2.97	0.14	
基本 目標 4		国外の都市との交流が行われていること	3.10	2.98	0.12
学びたい時に学べる環境が整っていること		3.39	3.42	-0.03	
公民館、図書館、体育館などが使いやすいこと	3.47	3.50	-0.03		
身近にスポーツ等に取り組める環境ができていること	3.36	3.36	0.00		
身近に芸術や文化にふれることができる環境ができていること	3.29	3.22	0.07		
基本 目標 5	互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていること	3.67	3.71	-0.04	
	各種福祉施設が使いやすい整備されていること	3.62	3.67	-0.05	
	高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていること	3.77	3.90	-0.13	
	障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていること	3.76	3.85	-0.09	
	市民が健康づくりに取り組める環境ができていること	3.59	3.69	-0.10	
	健康診査・各種検診などが充実し、利用しやすいこと	3.75	3.84	-0.09	
	医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていること	3.85	3.98	-0.13	
	救急医療体制ができていること	3.98	4.12	-0.14	
	基本 目標 6	ごみの減量や省エネルギー対策、リサイクルの取組みが行われていること	3.68	3.79	-0.11
		自然環境の保全や、環境教育などが行われていること	3.58	3.60	-0.02
		美しいまちなみであること	3.67	3.68	-0.01
		身近に公園や緑地が整備されていること	3.71	3.77	-0.06
		企業誘致などにより雇用が確保されていること	3.68	3.60	0.08
		商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること	3.65	3.54	0.11
活発な工業活動が行われるような環境になっていること		3.43	3.35	0.08	
生産者と消費者にとって魅力的ある農業が行われていること		3.41	3.37	0.04	
全体平均		3.64	3.67	-0.03	

(2) 基本目標1(みんなの協働でつくる地域力のあるまち)

満足度

満足度が比較的高いのは「迅速で明るく、わかりやすい窓口サービスがなされていること」「広報紙などで広報・広聴活動が十分なされていること」となっている。逆に満足度が低いのは「無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること」「組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていること」などとなっている。

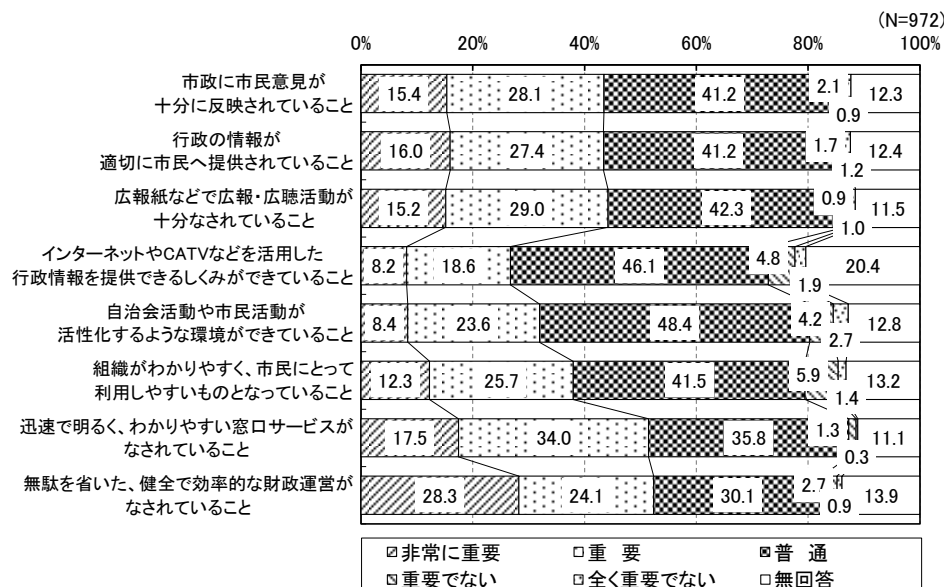
図表Ⅱ-20 基本目標1(みんなの協働でつくる地域力のあるまち)に関する各種施策の満足度



重要度

重要度が比較的高いのは「無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること」「組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていること」となっている。逆に重要度の評価が低いのは「インターネットやCATVなどを活用した行政情報を提供できるしくみができていること」「自治会活動や市民活動が活性化するような環境ができていること」などとなっている。

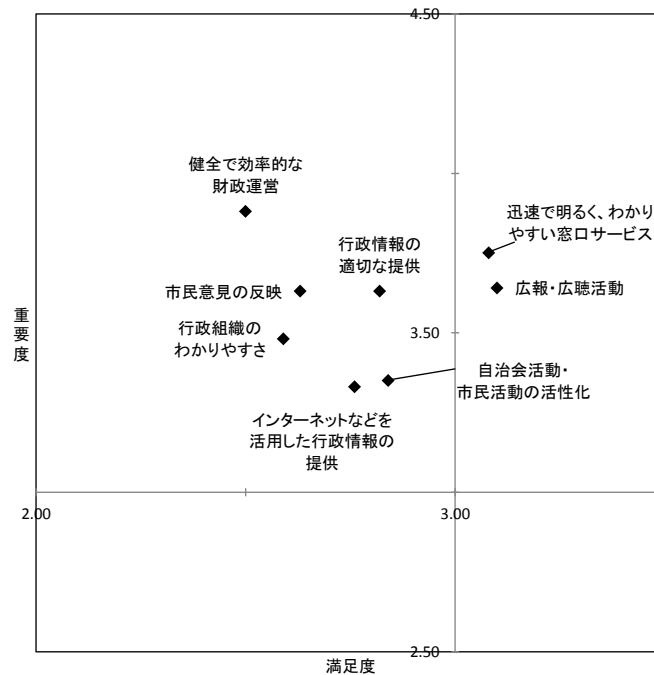
図表Ⅱ-21 基本目標1(みんなの協働でつくる地域力あるまち)に関する各種施策の重要度



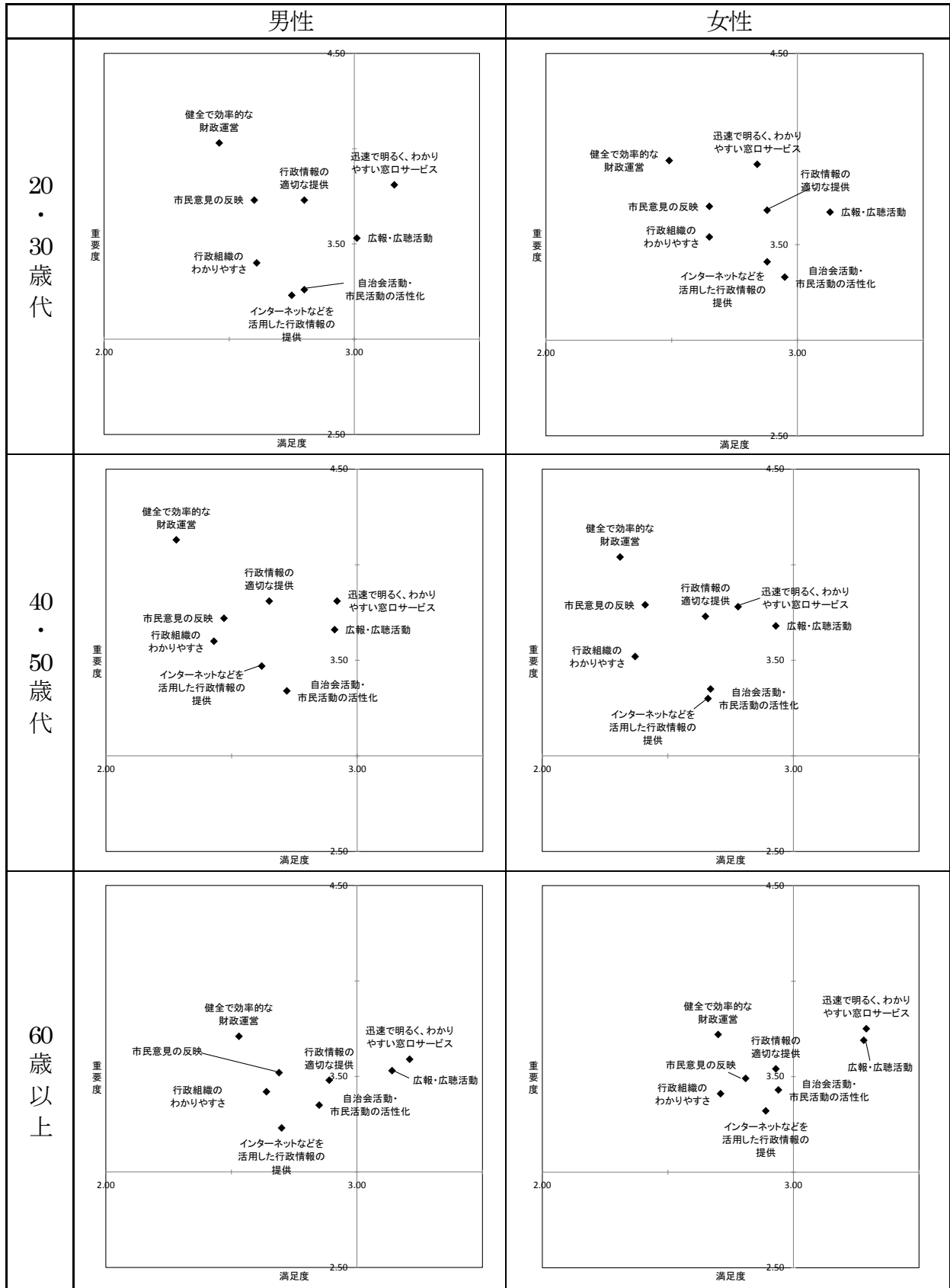
満足度と重要度から今後の対応を強化すべき項目としては、「無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること」「市政に市民意見が十分に反映されていること」などが挙げられる。

「無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること」については、20・30歳代の男性、40・50歳代の男性・女性において特に左上に位置付けられ、重要課題として捉えている人が多いことがうかがえる。

図表Ⅲ-22 基本目標1(みんなの協働でつくる地域力のあるまち)
に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図



図表Ⅲ-23 男女世代別にみた基本目標1(みんなの協働でつくる地域力のあるまち)に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図

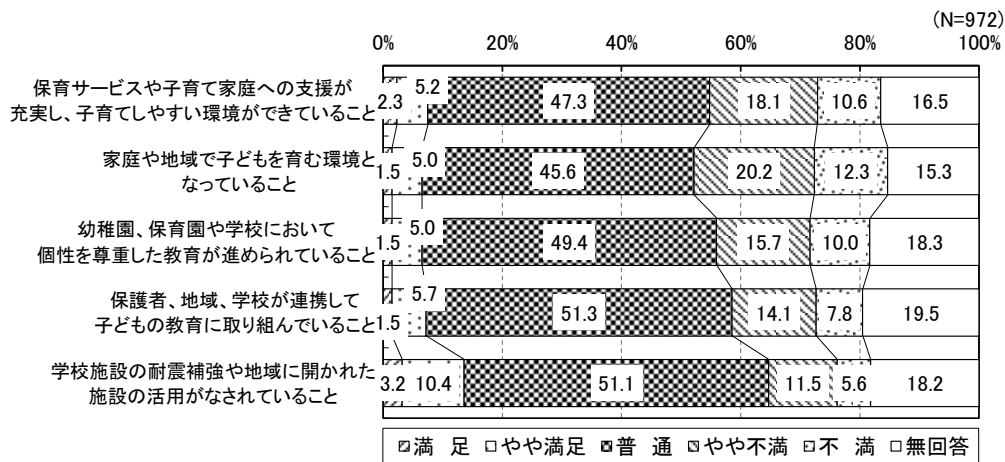


(3) 基本目標2(将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち)

満足度

満足度が比較的高いのは「学校施設の耐震補強や地域に開かれた施設の活用がなされていること」となっている。他の項目は軒並み満足という回答の比率が低い。「不満」や「やや不満」といった回答の比率が高いのは「家庭や地域で子どもを育む環境となっていること」「保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていないこと」となっている。

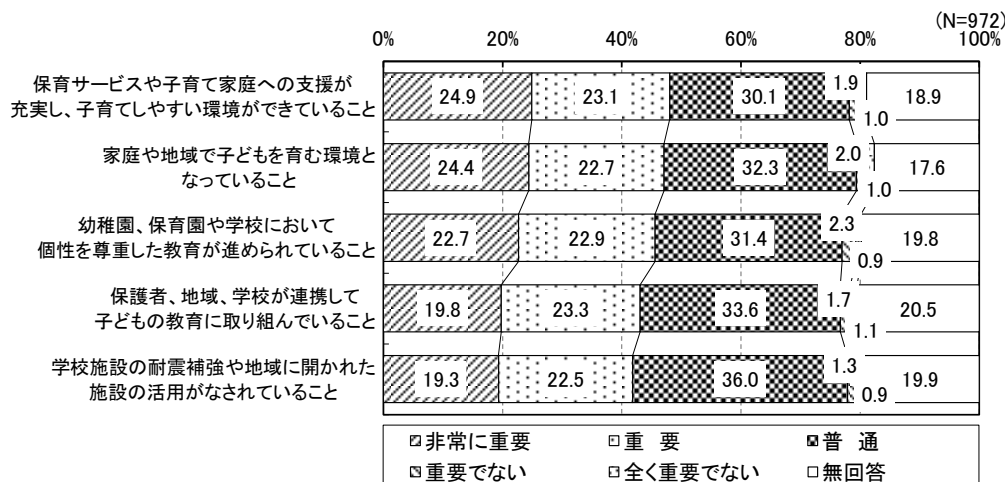
図表Ⅱ-24 基本目標2(将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち)に関する各種施策の満足度



重要度

非常に重要という回答の比率が最も高いのは、「保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていないこと」次いで「家庭や地域で子どもを育む環境となっていること」となっている。

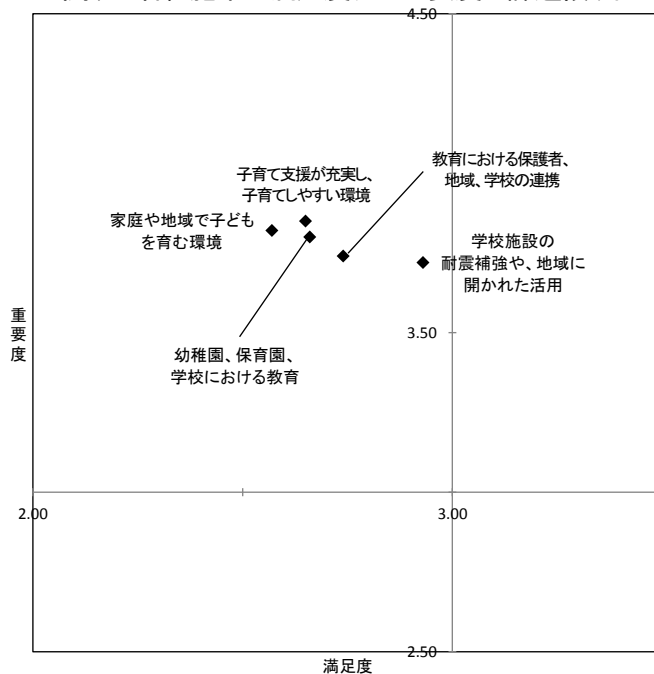
図表Ⅱ-25 基本目標2(将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち)に関する各種施策の重要度



満足度と重要度から今後の対応を強化すべき項目としては、「保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていること」「家庭や地域で子どもを育む環境となっていること」「幼稚園、保育園や学校において個性を尊重した教育が進められていること」などが挙げられる。

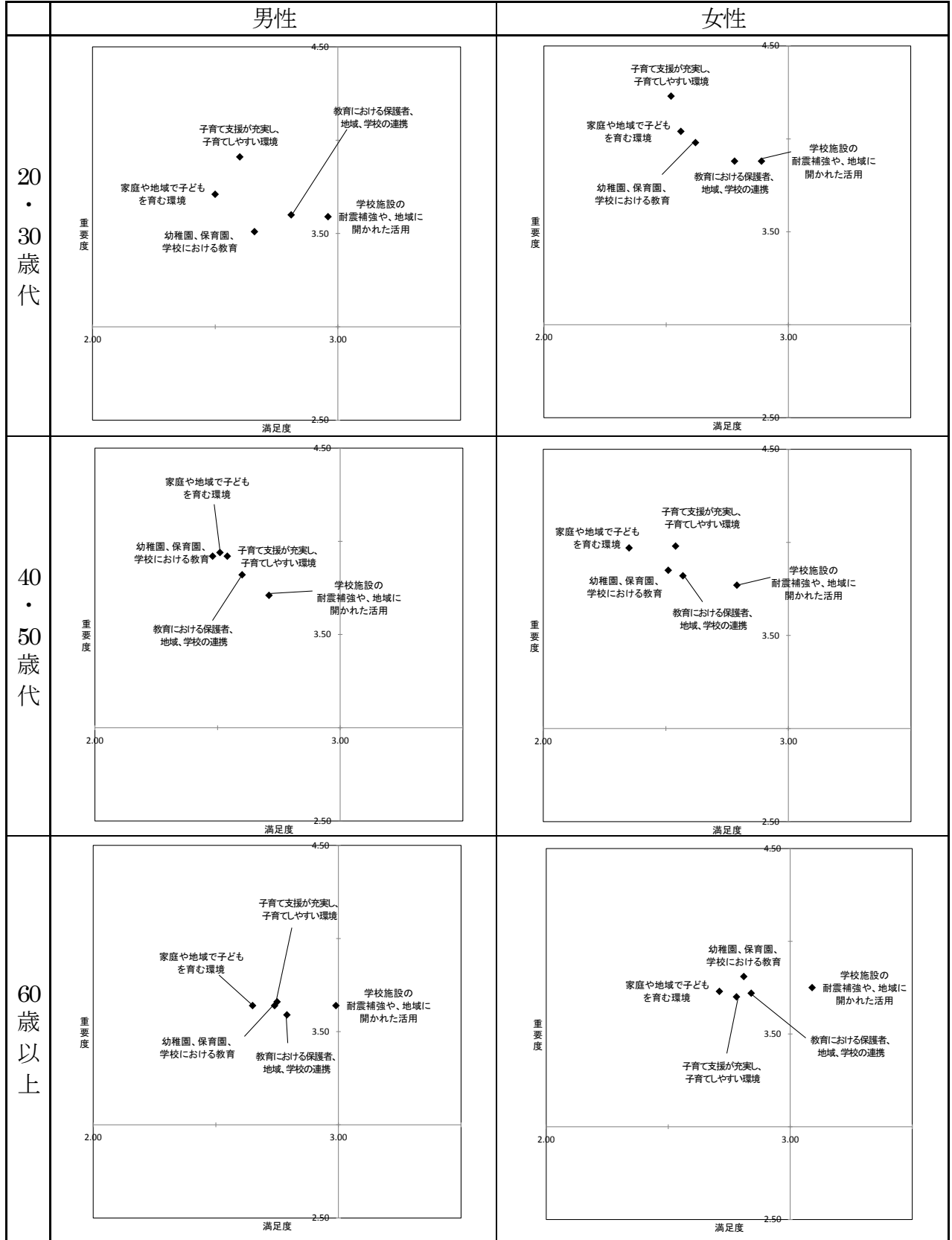
20・30歳代の女性においては、「保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていること」がより左上に位置付けられ、重要課題として捉えている人が多いのに対し、40・50歳代の女性や60歳以上の男性においては、「家庭や地域で子どもを育む環境となっていること」をより重要課題として捉えている人が多い。

図表Ⅱ-26 基本目標2(将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち)に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図



図表Ⅲ-27 男女世代別にみた基本目標2(将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち)

に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図

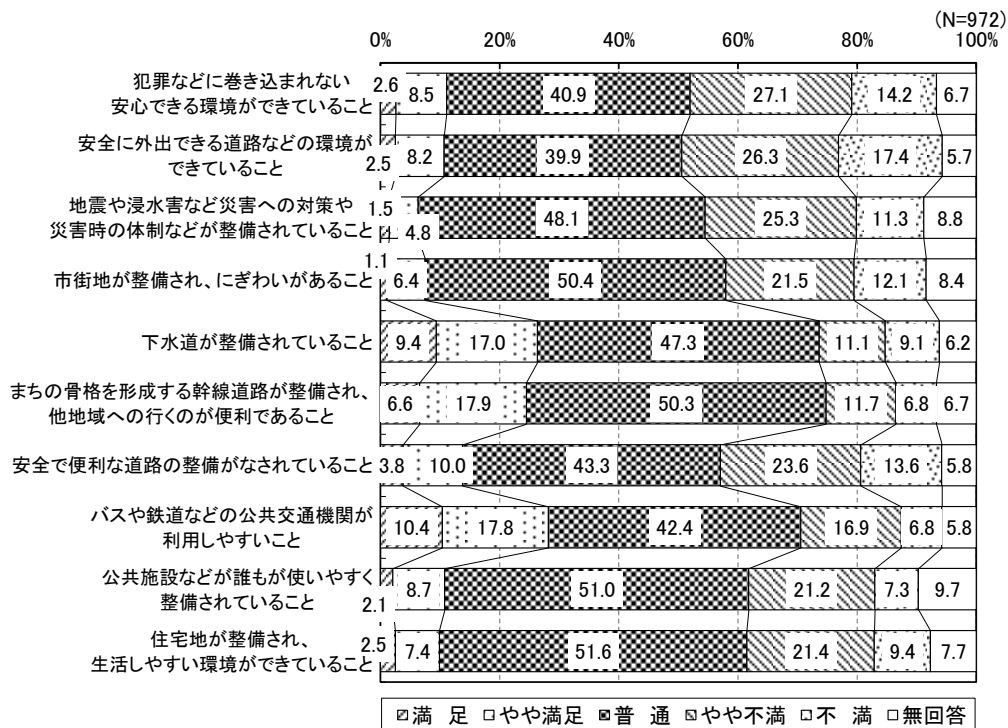


(4) 基本目標3(安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)

満足度

満足度が比較的高いのは「バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと」「下水道が整備されていること」「まちの骨格を形成する幹線道路が整備され、他地域へ行くのが便利であること」となっている。「不満」や「やや不満」といった回答の比率が高いのは「安全に外出できる道路などの環境ができていないこと」「犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていないこと」「地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること」「安全で便利な道路の整備がなされていること」となっている。

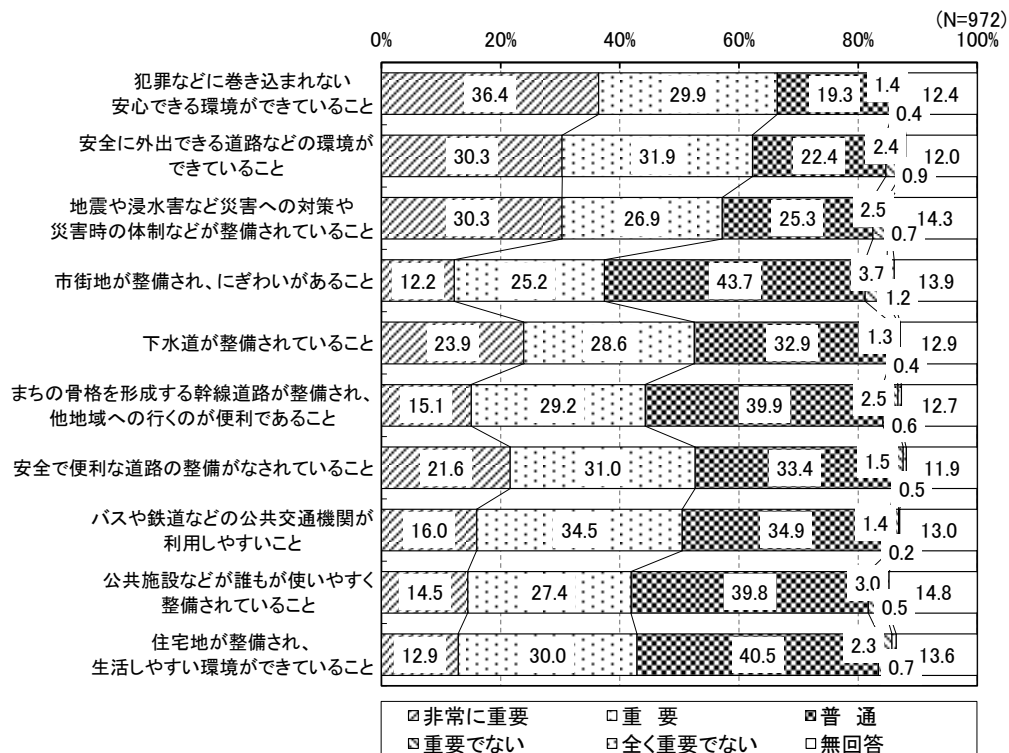
図表Ⅱ-28 基本目標3(安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)に関する各種施策の満足度



重要度

重要度が最も高いのは「犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていること」となっており、次いで「安全に外出できる道路などの環境ができていること」「地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること」などが高い。重要度の評価が比較的低いのは「市街地が整備され、にぎわいがあること」「公共施設などが誰もが使いやすく整備されていること」「住宅地が整備され、にぎわいがあること」などとなっている。

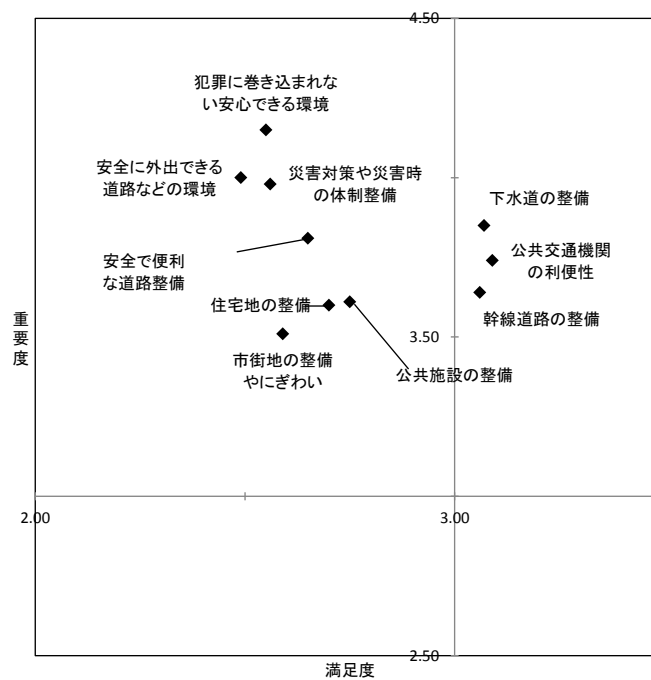
図表Ⅲ-29 基本目標3(安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)に関する各種施策の重要度



満足度と重要度から今後の対応を強化すべき項目としては、「犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていないこと」「安全に外出できる道路などの環境ができていないこと」「地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること」などが挙げられる。

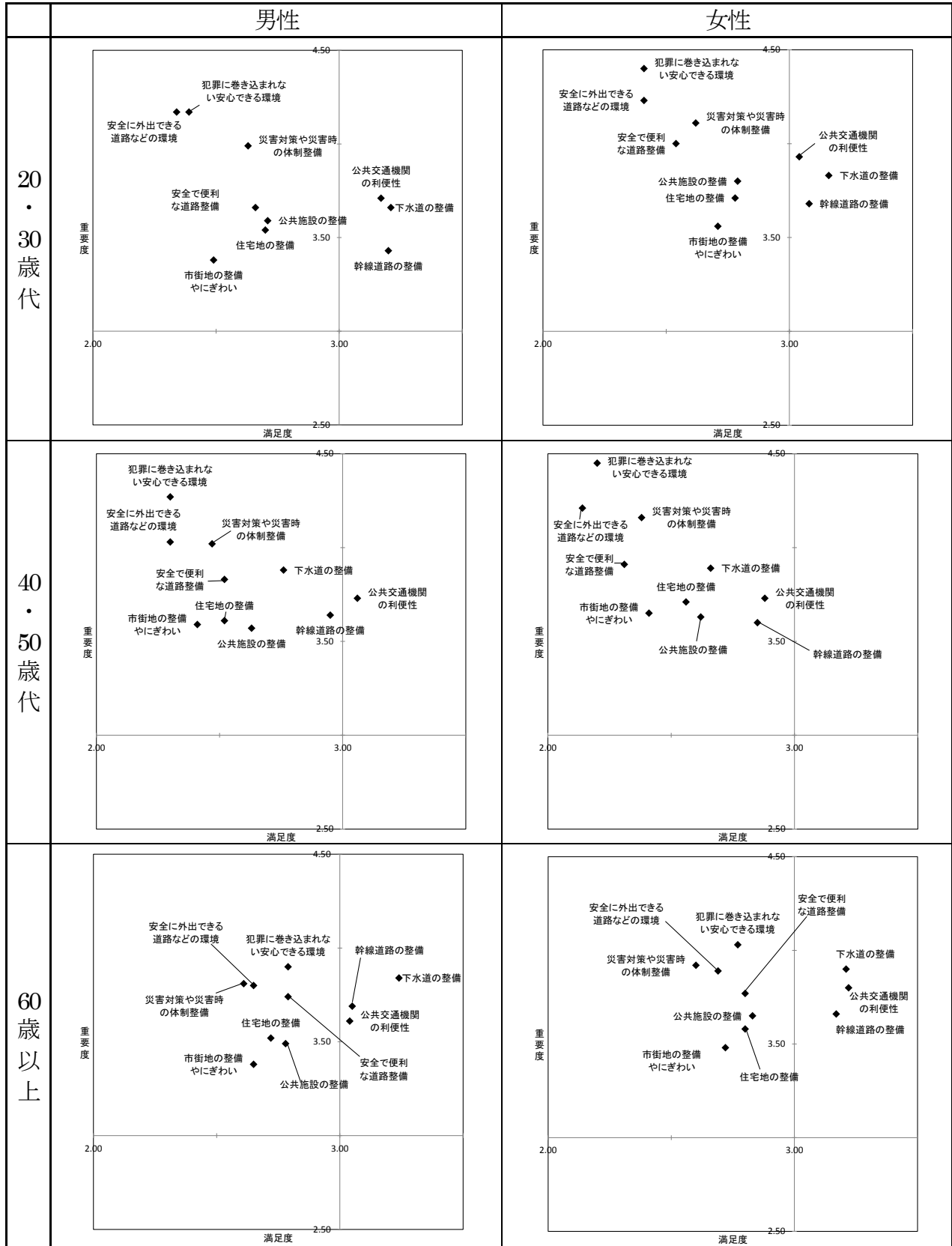
「犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていないこと」については、20・30歳代および40・50歳代の女性において特に重要課題として捉えている人が多く、「地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること」については、60歳以上の男女において特に重要課題として捉えている人が多い。

図表Ⅱ-30 基本目標3(安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)
に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図



図表Ⅲ-31 男女世代別にみた基本目標3(安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)

に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図

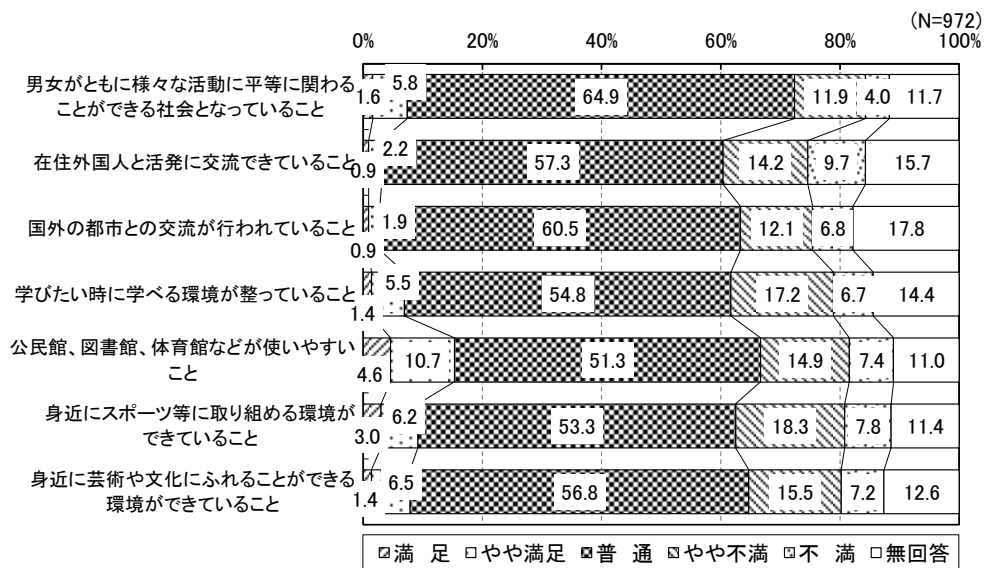


(5) 基本目標4(いきいきと人が輝く文化薫るまち)

満足度

満足度が最も高いのは「公民館、図書館、体育館などが使いやすいこと」となっている。全体的に「普通」という項目の比率が高く、すべての項目で50%を超えている。「不満」という回答の比率が最も高いのは「在住外国人と活発に交流できていること」であり、「やや不満」を合わせると回答の比率が高いのは「身近にスポーツ等に取り組める環境ができていること」となっている。

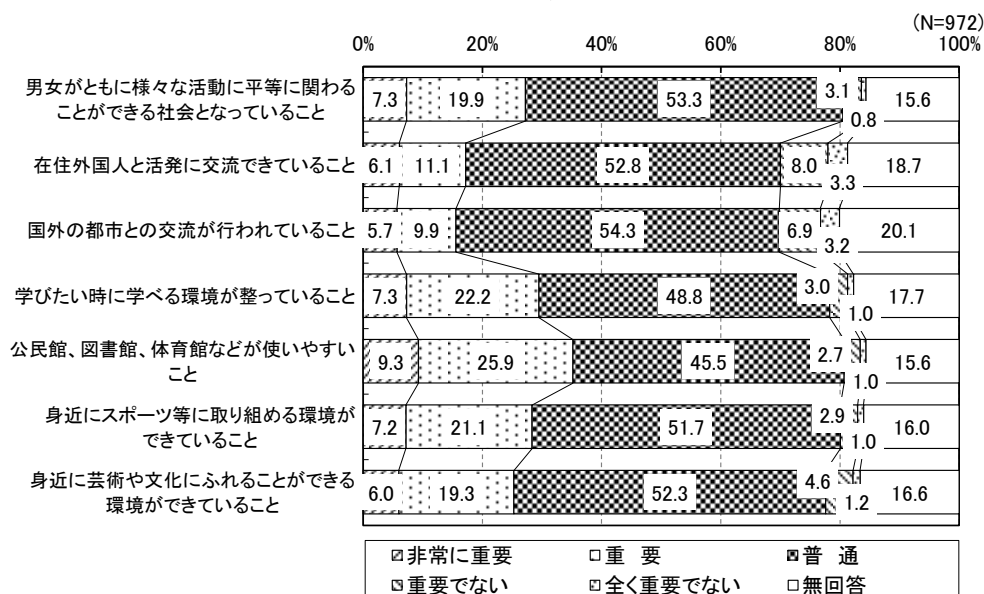
図表Ⅲ-32 基本目標4(いきいきと人が輝く文化薫るまち)に関する各種施策の満足度



重要度

重要度が最も高いのは「公民館、図書館、体育館などが使いやすいこと」となっており、次いで「学びたい時に学べる環境が整っていること」「身近にスポーツ等に取り組める環境ができていること」「男女がともに様々な活動に平等に関わることができる社会となっていること」などが高い。

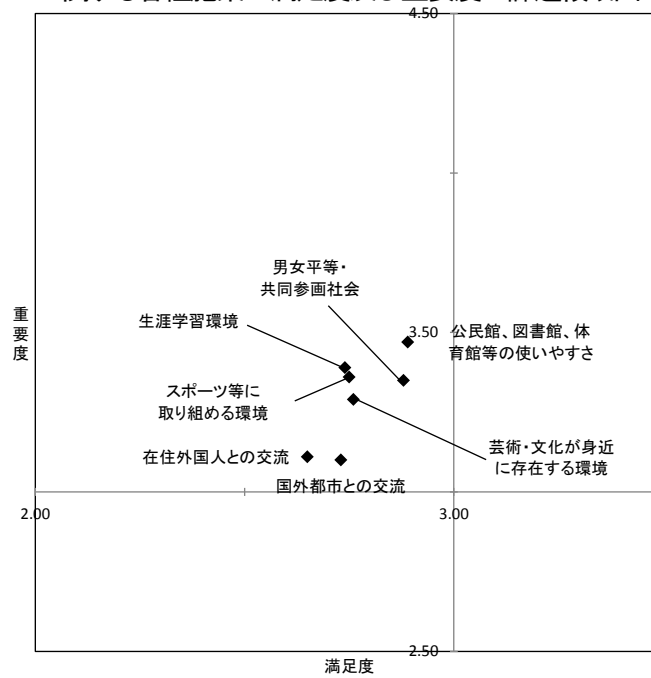
図表Ⅲ-33 基本目標4(いきいきと人が輝く文化薫るまち)に関する各種施策の重要度



満足度と重要度から今後の対応を強化すべき項目としては、「学びたい特に学べる環境が整っていること（生涯学習環境）」「身近にスポーツ等に取り組める環境ができていること」などが挙げられる。

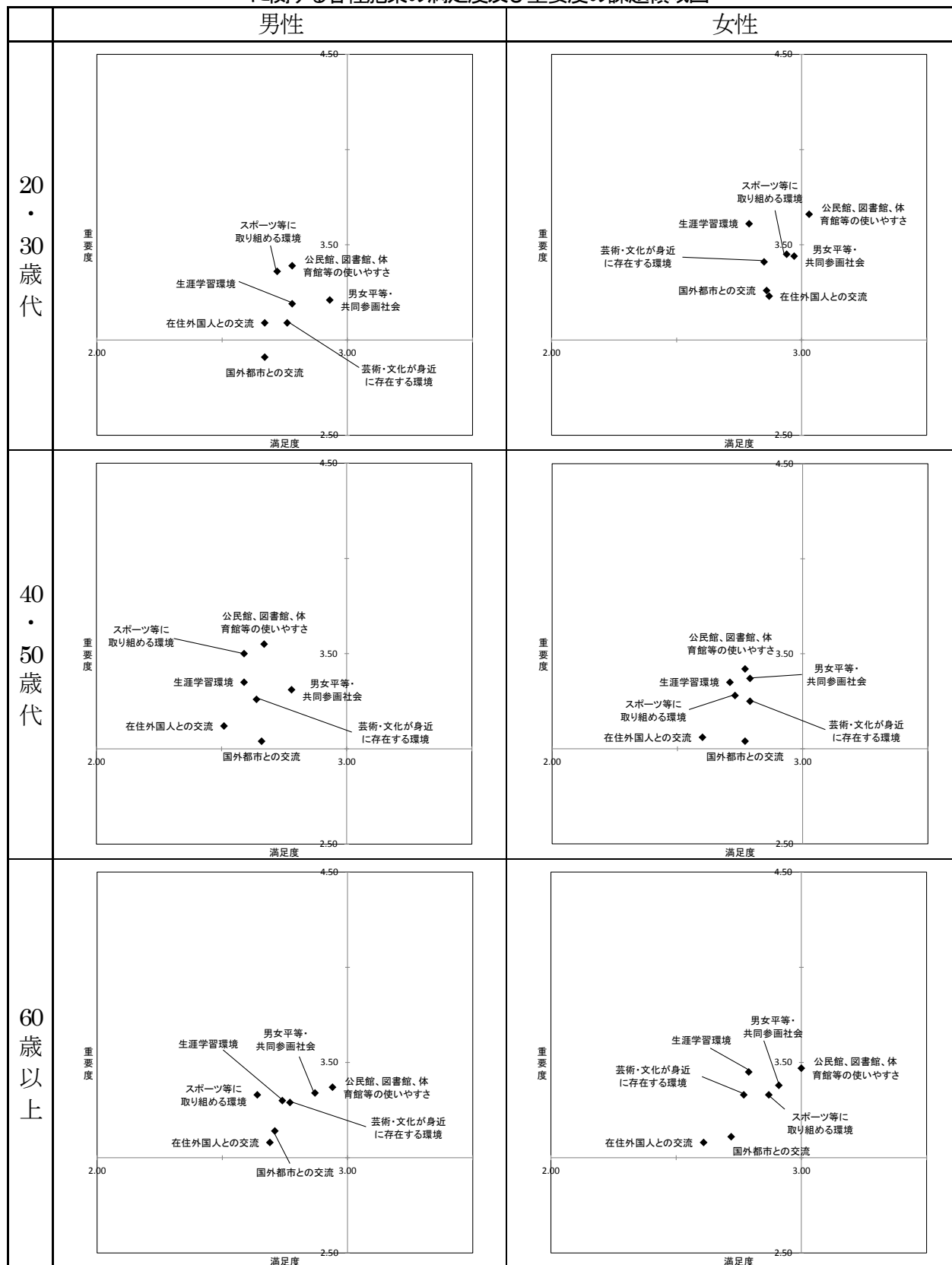
全体的に「学びたい特に学べる環境が整っていること（生涯学習環境）」は女性のほうが重要課題として捉えている人が多く、「身近にスポーツ等に取り組める環境ができていること」は男性の方が重要課題として捉えている人が多い。

図表Ⅲ-34 基本目標4(いきいきと人が輝く文化薫るまち)に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図



図表Ⅲ-35 男女世代別にみた基本目標4(いきいきと人が輝く文化薫るまち)

に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図

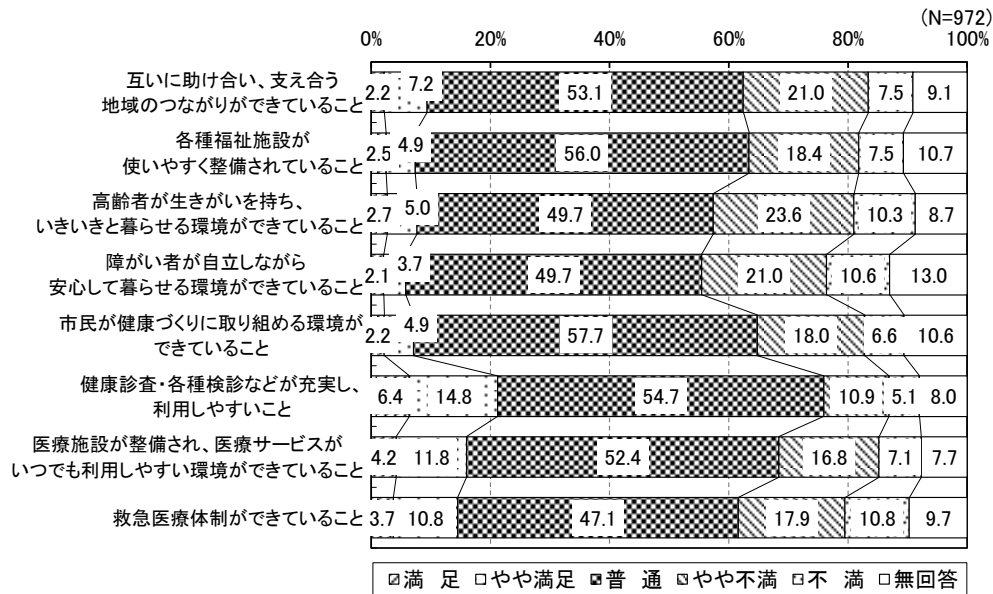


(6) 基本目標5(健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)

満足度

満足度が最も高いのは「健康診査・各種検診などが充実し、利用しやすいこと」次いで「医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていないこと」となっている。「不満」や、「やや不満」といった回答の比率が高いのは「高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていないこと」「障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていないこと」「互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていないこと」などとなっている。

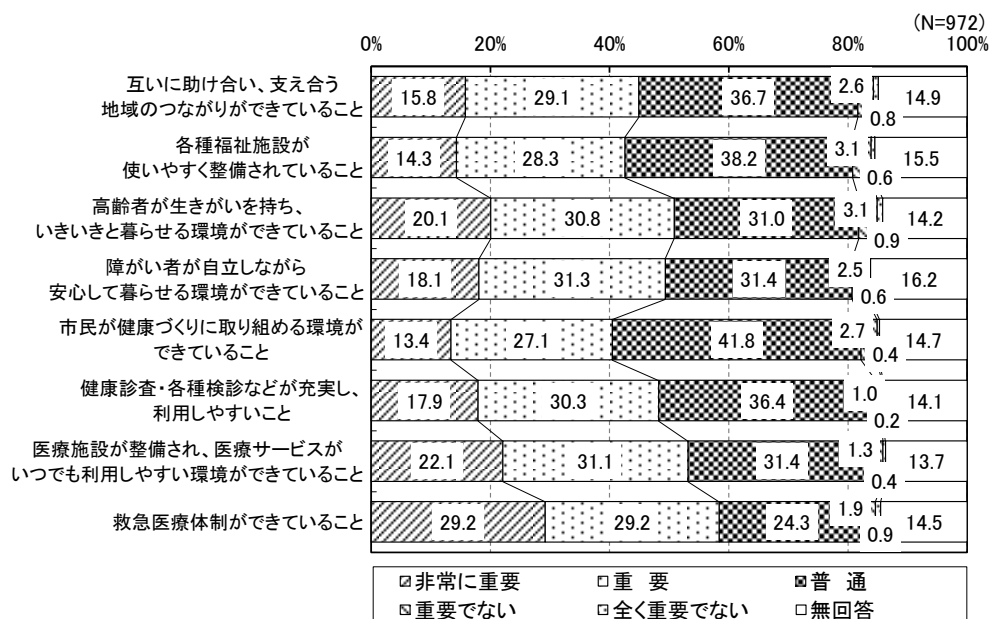
図表Ⅲ-36 基本目標5(健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)に関する各種施策の満足度



重要度

重要度が最も高いのは「救急医療体制ができていないこと」となっており、「非常に重要」と「重要」を合わせると6割近い比率になっている。

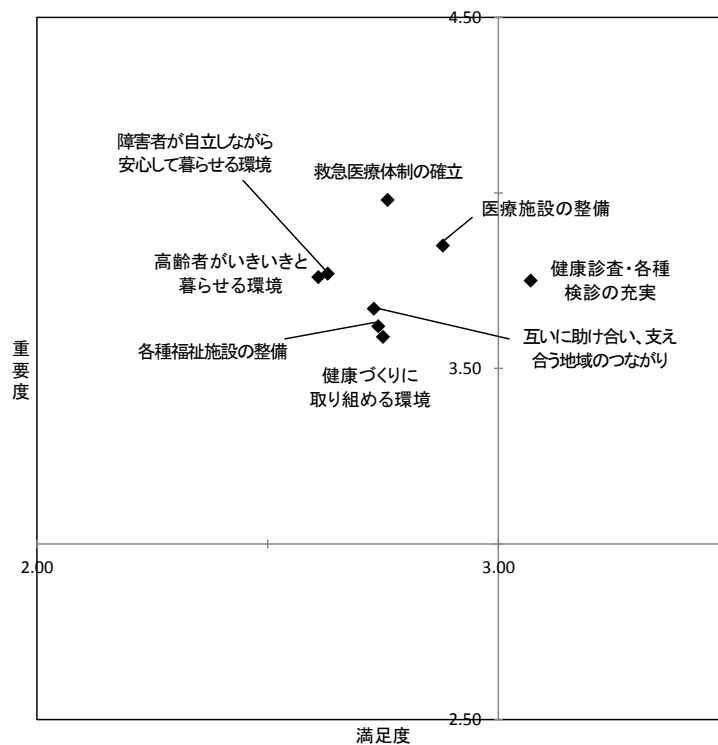
図表Ⅲ-37 基本目標5(健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)に関する各種施策の重要度



満足度と重要度から今後の対応を強化すべき項目としては、「救急医療体制ができていないこと」「高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていないこと」「障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていないこと」「医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていないこと」などが挙げられる。

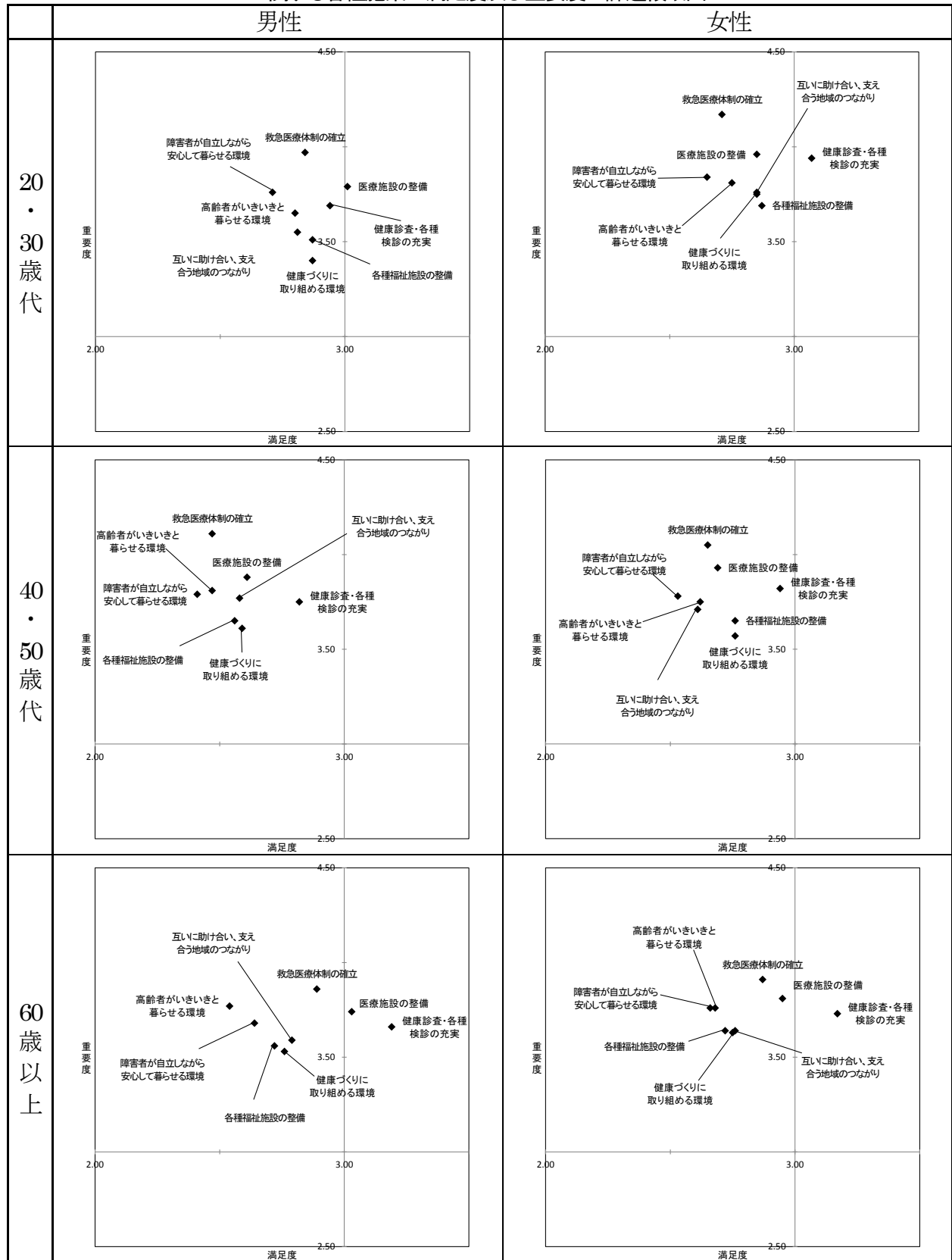
「救急医療体制ができていないこと」は20・30歳代の女性において特に重要課題として捉えている人が多い。「高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていないこと」は60歳以上の男性において特に重要課題として捉えている人が多い。

図表Ⅲ-38 基本目標5(健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)
に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図



図表Ⅲ-39 男女世代別にみた基本目標5(健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)

に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図

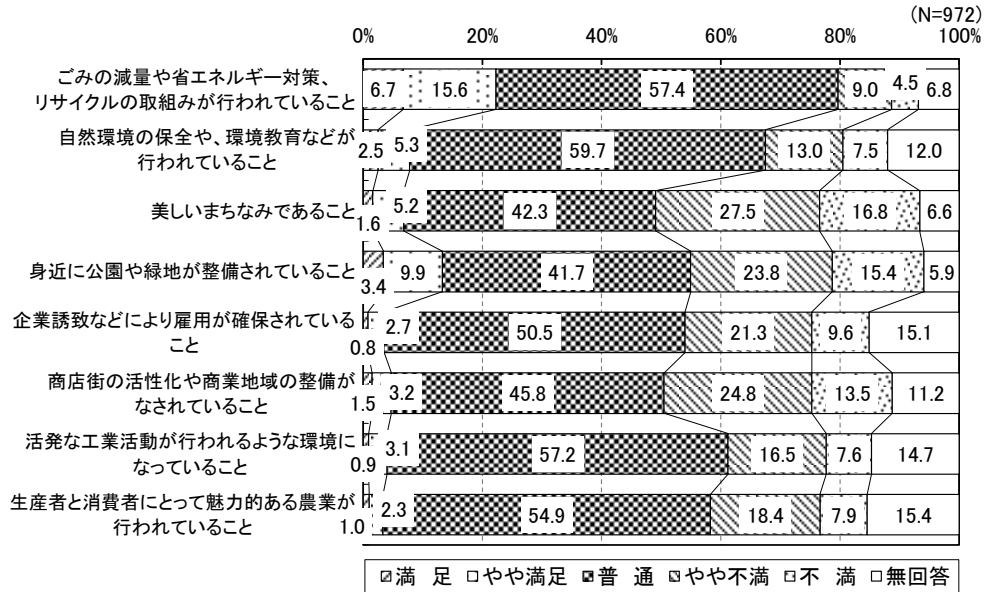


(7) 基本目標6(環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち)

満足度

満足度が最も高いのは「ごみの減量や省エネルギー対策、リサイクルの取組みが行われていること」次いで「身近に公園や緑地が整備されていること」となっている。「不満」や、「やや不満」といった回答の比率が高いのは「美しいまちなみであること」「商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること」などとなっている。

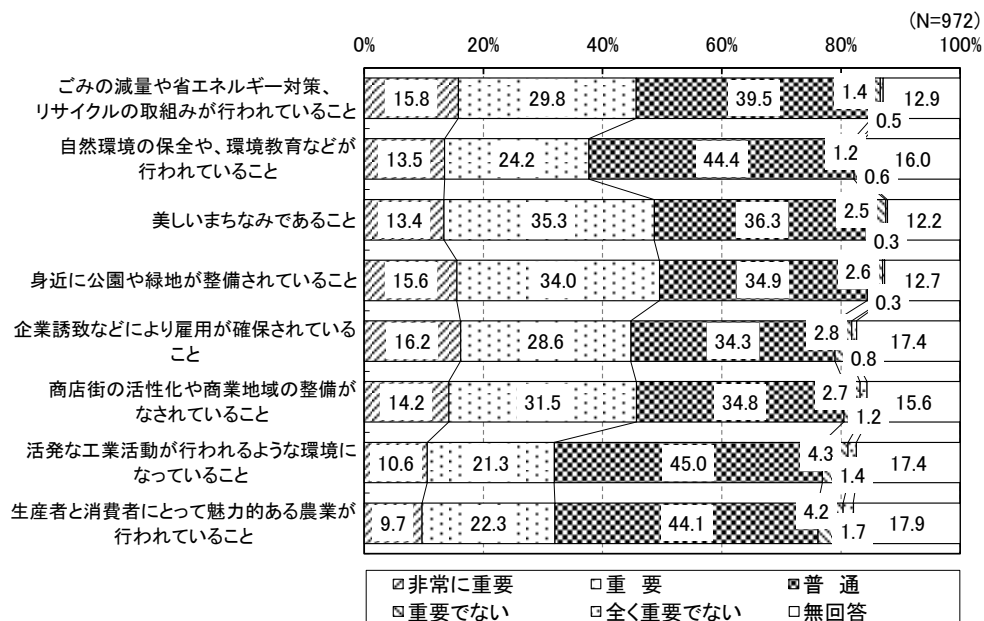
図表Ⅲ-40 基本目標6(環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち)に関する各種施策の満足度



重要度

重要度が高いのは「美しいまちなみであること」「身近に公園や緑地が整備されていること」などとなっているが、「非常に重要」が最も高いのは「企業誘致などにより雇用が確保されていること」となっている。

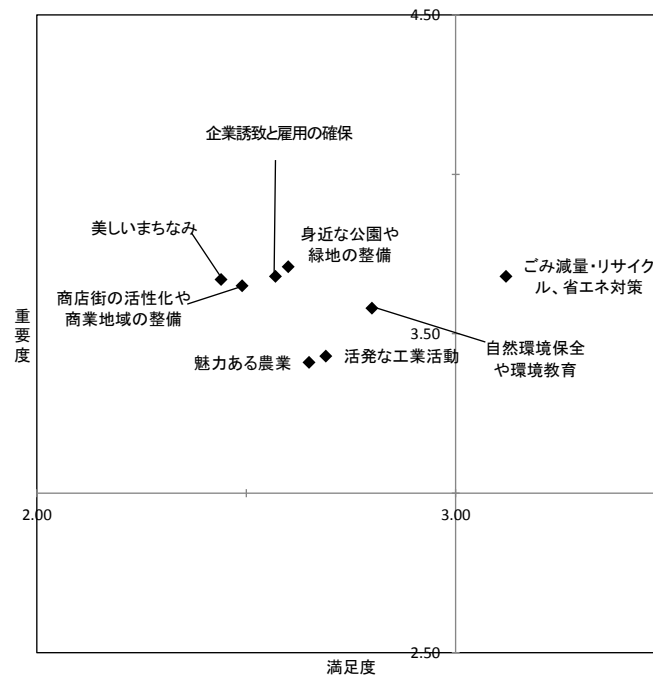
図表Ⅲ-41 基本目標6(環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち)に関する各種施策の重要度



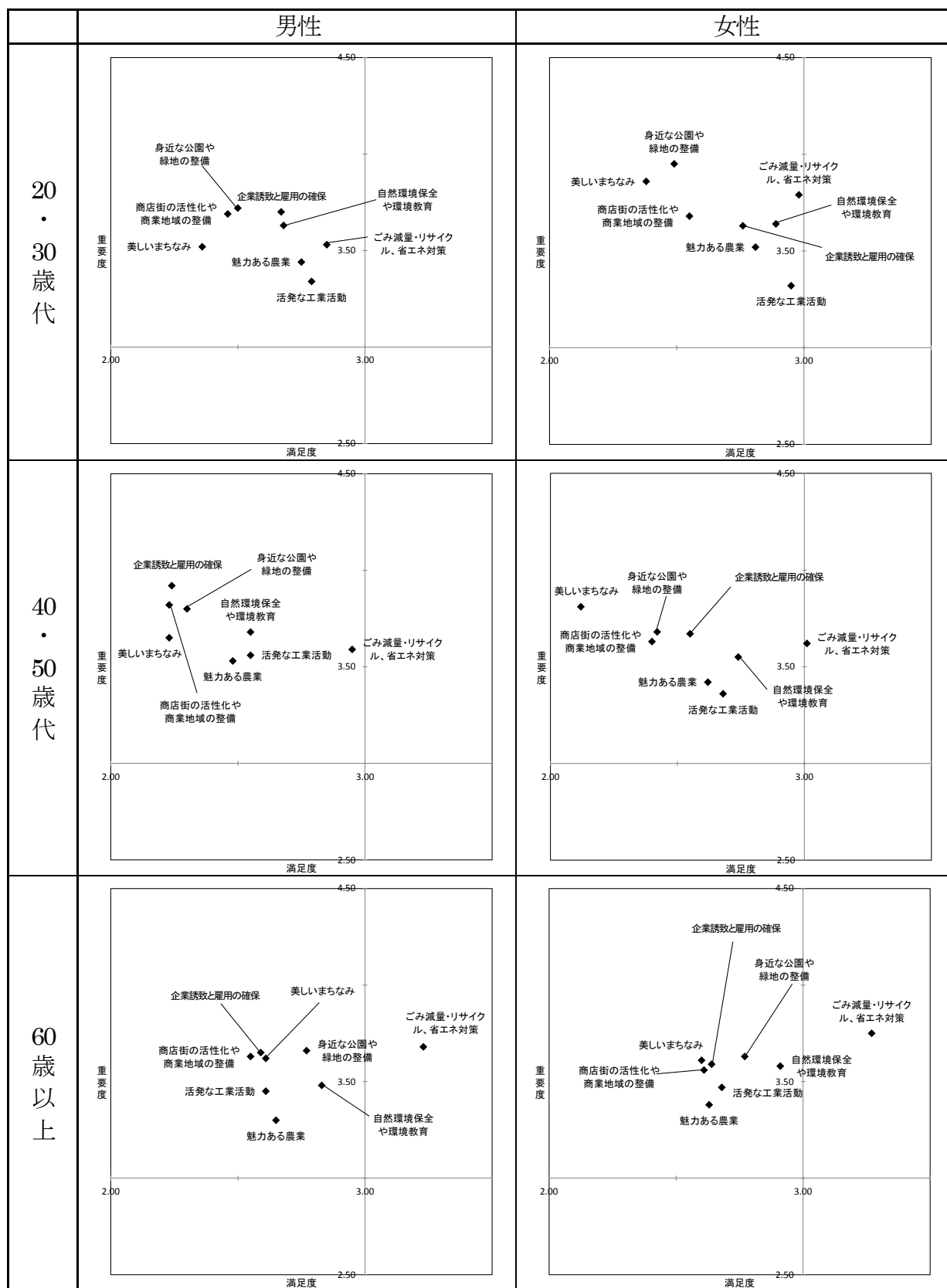
満足度と重要度から今後の対応を強化すべき項目としては、「美しいまちなみであること」「商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること」「企業誘致などにより雇用が確保されていること」「身近に公園や緑地が整備されていること」などが挙げられる。

「美しいまちなみであること」は20・30歳代および40・50歳代の女性において特に重要課題として捉えている人が多い。また、「身近な公園や緑地が整備されていること」については、20・30歳代の女性において特に重要課題として捉えている人が多い。

図表Ⅱ-42 基本目標6(環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち)に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図



図表Ⅲ-43 男女別にみた基本目標6(環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち)に関する各種施策の満足度及び重要度の課題領域図

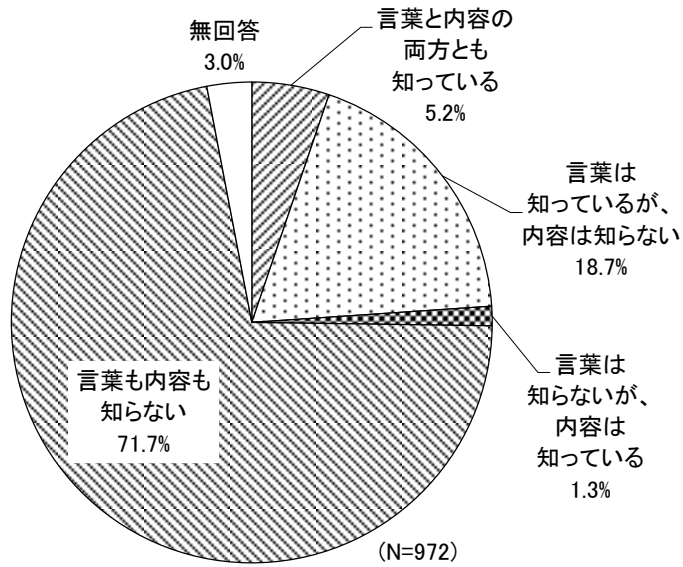


3. 行政運営上の主要テーマ

(1) パブリックコメント(意見公募手続)

パブリックコメントについては、「言葉も内容も知らない」という回答が7割を超えており、「言葉と内容の両方とも知っている」のは5.2%にとどまっている。

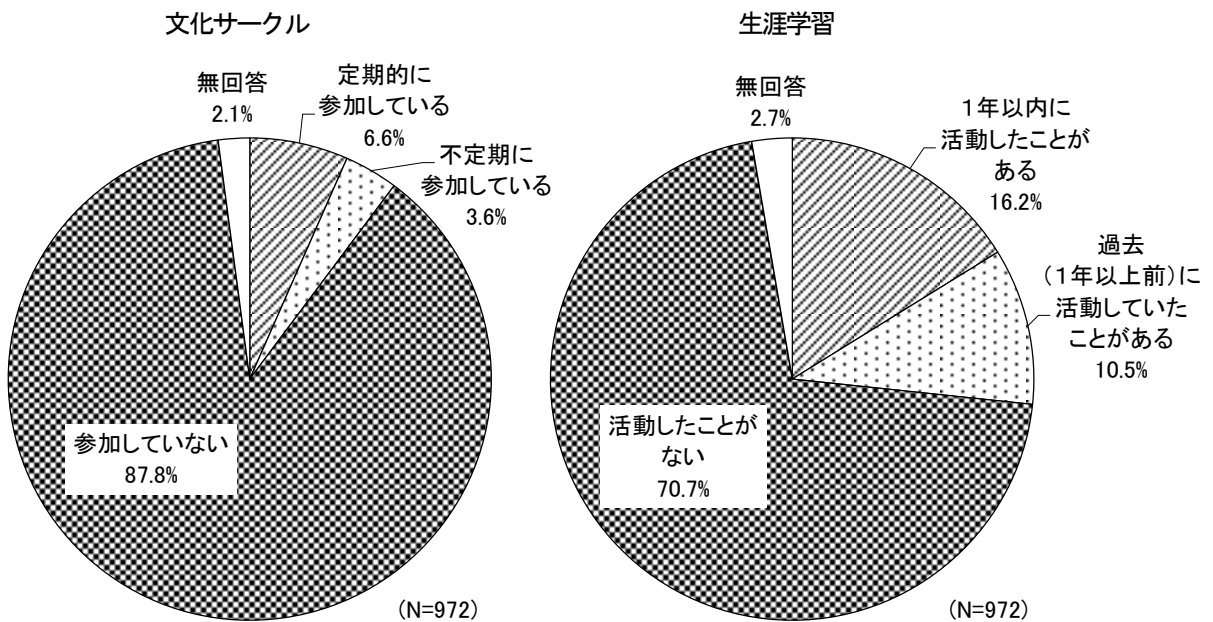
図表Ⅱ-44 パブリックコメントに関する認知度



(2) 生涯学習・文化サークル活動

文化サークル活動に参加しているのは1割に満たないが、生涯学習は4人に1人は活動経験がある。

図表Ⅱ-45 生涯学習・文化サークル活動の参加状況

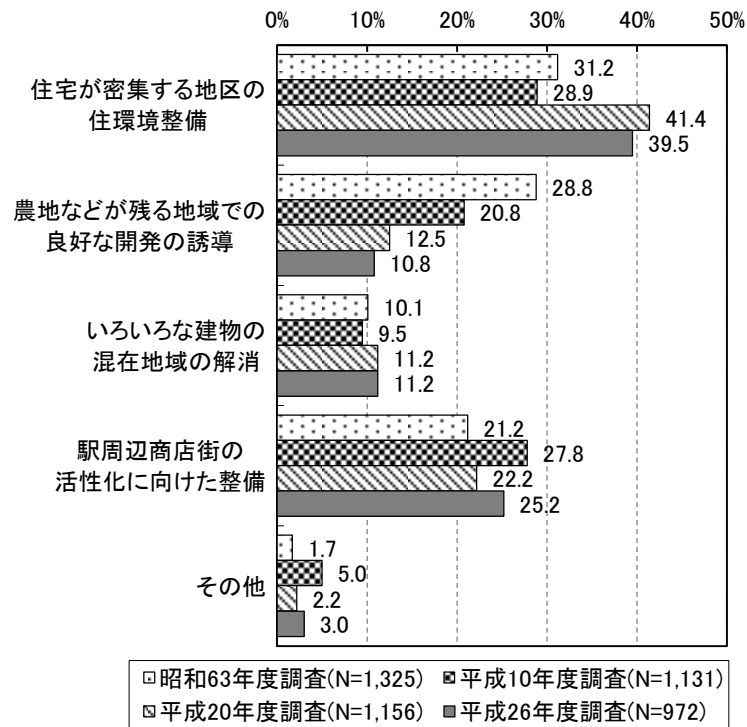


(3) 魅力ある門真市づくり

市街地の整備

市街地の整備に関連して重視する項目として挙げられているのは「住宅が密集する地区の住環境整備」「駅周辺商店街の活性化に向けた整備」の順となっており、この傾向は前回（平成20（2008）年度調査）と共通している。「農地などが残る地域での良好な開発の誘導」という回答は回を重ねるごとに低下している。

図表Ⅲ-46 市街地整備に関する意向（過年度調査結果との比較）

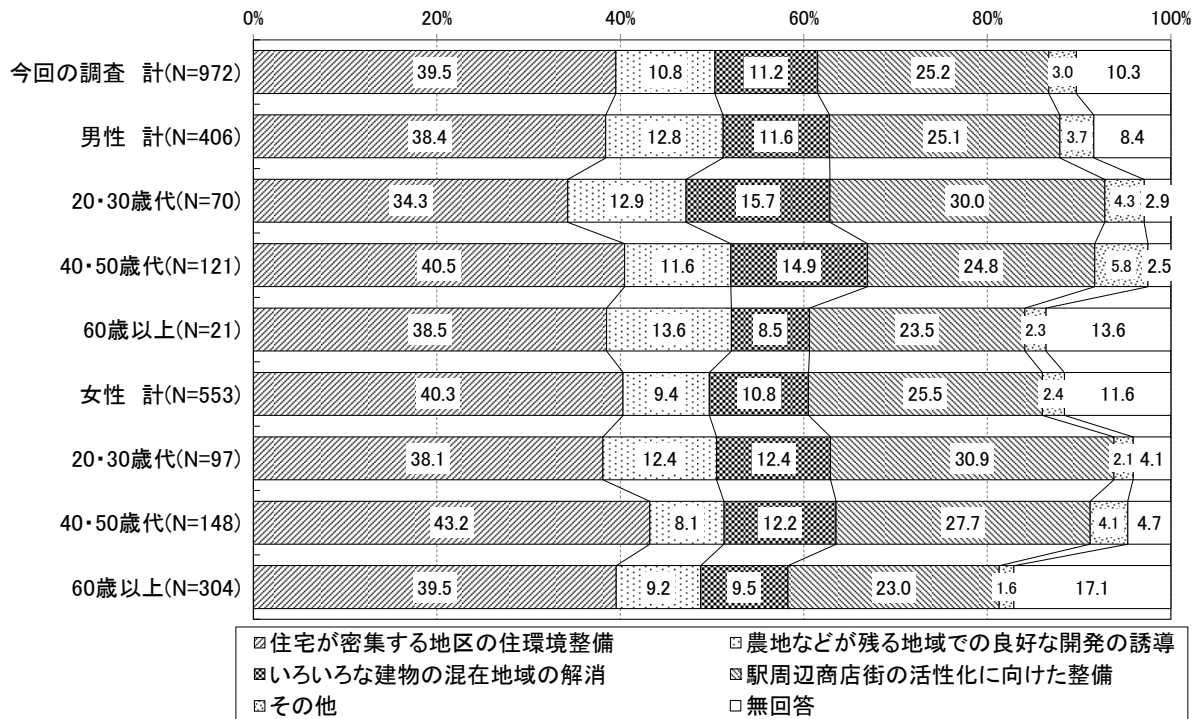


男女年代別に市街地整備に関する意向をみると、全体で最も割合が高い「住宅が密集する地区の住環境整備」については、男女ともに40・50歳代の年代で割合が最も高くなっており、男性では40.5%、女性では43.2%となっている。

今回の調査で全体の2番目に割合が高い「駅周辺商店街の活性化に向けた整備」については、男女ともに20・30歳代の年代で割合が最も高くなっており、男性では30.0%、女性では30.9%となっている。これら男女とも20・30歳代では、「住宅が密集する地区の住環境整備」については、他の性別・年代層と比較して少し割合が低くなっている。

今回の調査で全体では3番目に割合が高い「いろいろな建物の混在地域の解消」については、男性の20・30歳代が15.7%と最も割合が高く、次いで男性の40・50歳代が14.9%となっている。男女ともに60歳以上ではそれぞれが8.5%、9.5%と10%以下となっており、他の性別・年代層と比較して少し低くなっている。

図表Ⅲ-47 男女年代別にみた市街地整備に関する意向



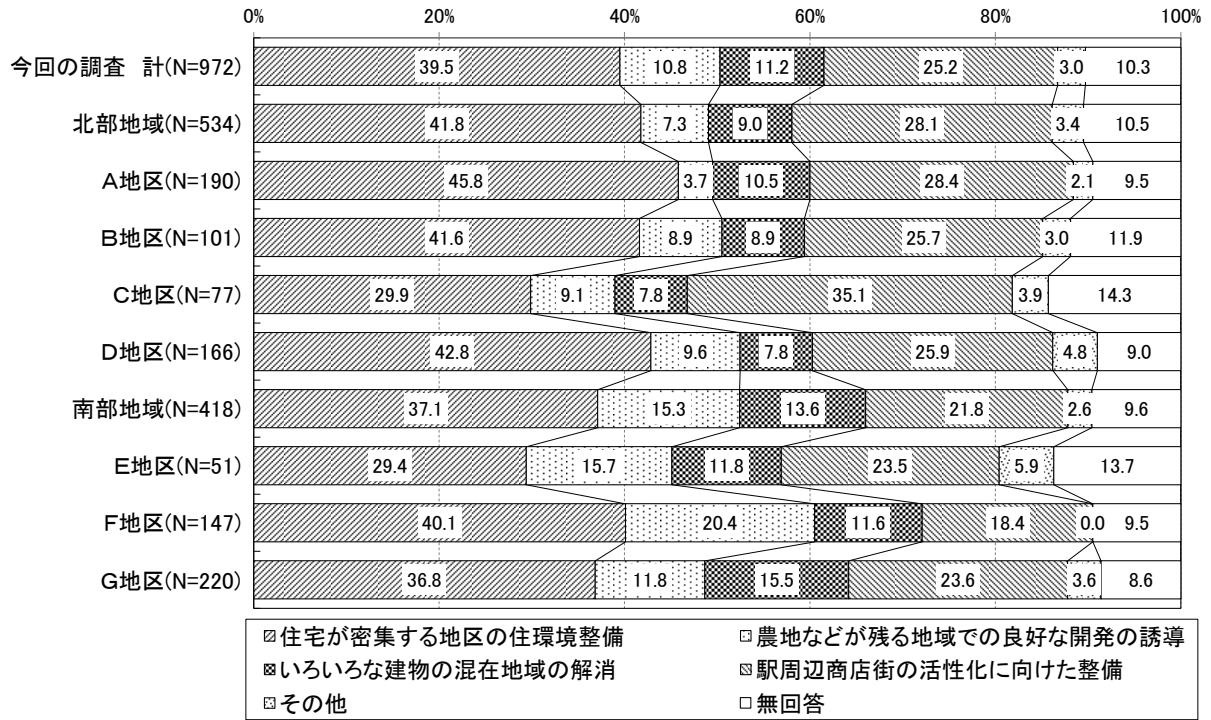
地域別に市街地整備に関する意向をみると、北部・南部地域ともに「住宅が密集する地区の住環境整備」が最も割合が高く、41.8%、37.1%、次いで「駅周辺商店街の活性化に向けた整備」がそれぞれ28.1%、21.8%と2番目に割合が高くなっている。

さらに、地区別に市街地整備に関する意向をみると、C地区を除いた地区で「住宅が密集する地区の住環境整備」の割合が最も高くA地区、B地区、D地区、F地区で40%を超えている。

北部地域に位置するA地区、B地区、D地区では、「駅周辺商店街の活性化に向けた整備」が2番目に割合が高くなっている。一方、C地区では「駅周辺商店街の活性化に向けた整備」は35.1%と最も割合が高くなっている。次いで「住宅が密集する地区の住環境整備」が29.9%と2番目に高く、最も割合の高いA地区の45.8%と比較すると15.9%ポイント低くなっている。

南部地域に位置するE地区、G地区では「駅周辺商店街の活性化に向けた整備」がそれぞれ23.5%、23.6%、F地区では「農地などが残り地域での良好な開発の誘導」が20.4%と2番目に割合が高くなっている。

図表Ⅲ-48 地域や地区別にみた市街地整備に関する意向

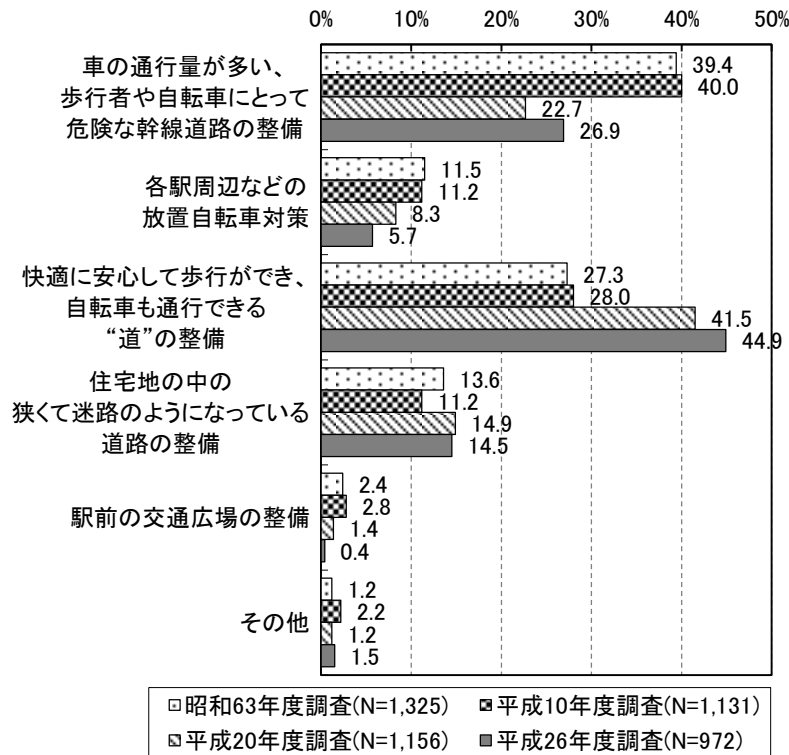


道路などの整備

道路などの整備については、「快適に安心して歩行でき、自動車も通行できる“道”の整備」という回答が最も多く、この比率は回を重ねるごとに高まっている。

「各駅周辺などの放置自転車対策」は比率が下がっており、昭和63（1988）年度調査と比べると、5ポイント以上比率が下がっている。

図表Ⅲ-49 道路などの整備に関する意向(過年度調査結果との比較)



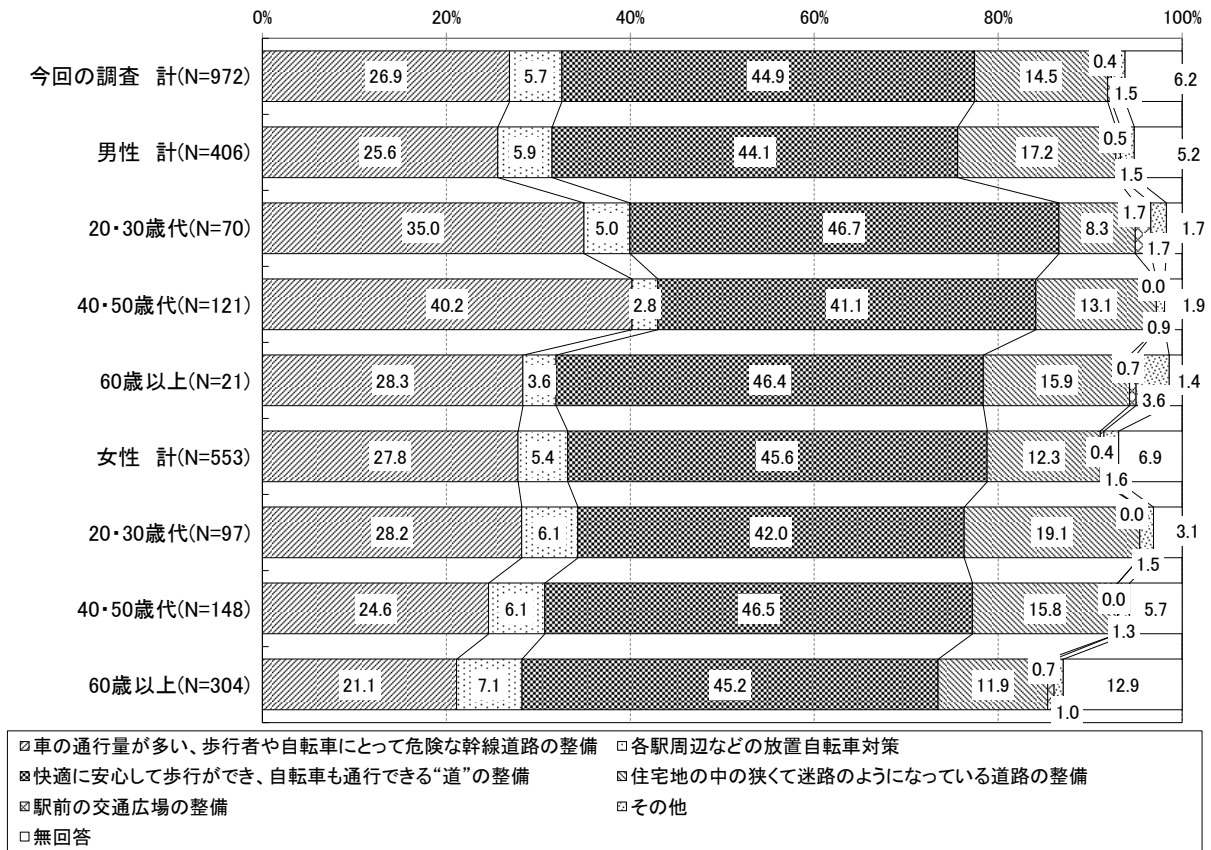
男女年代別に道路整備に関する意向をみると、全体で最も割合が高い「快適に安心して歩行ができ、自転車も通行できる“道”の整備」については、いずれの性別・年代層でも40%を超えている。

今回の調査で全体では2番目に割合が高い「車の通行量が多い、歩行者や自転車にとって危険な幹線道路の整備」については、男女とも60歳以上でそれぞれ28.3%、21.1%と他の性別・年代層から比較して少し低くなっている。

今回の調査では3番目に割合が高い「住宅地の中の狭くて迷路のようになっている道路の整備」については、男性全体で17.2%と女性全体の12.3%を4.9ポイント上回っており、男性の意向が強いことがうかがえる。

また、「各駅周辺などの放置自転車対策」では、女性の60歳以上において、他の性別・年代層と比較して少し割合が高くなっている。

図表Ⅲ-50 男女年代別にみた道路などの整備に関する意向



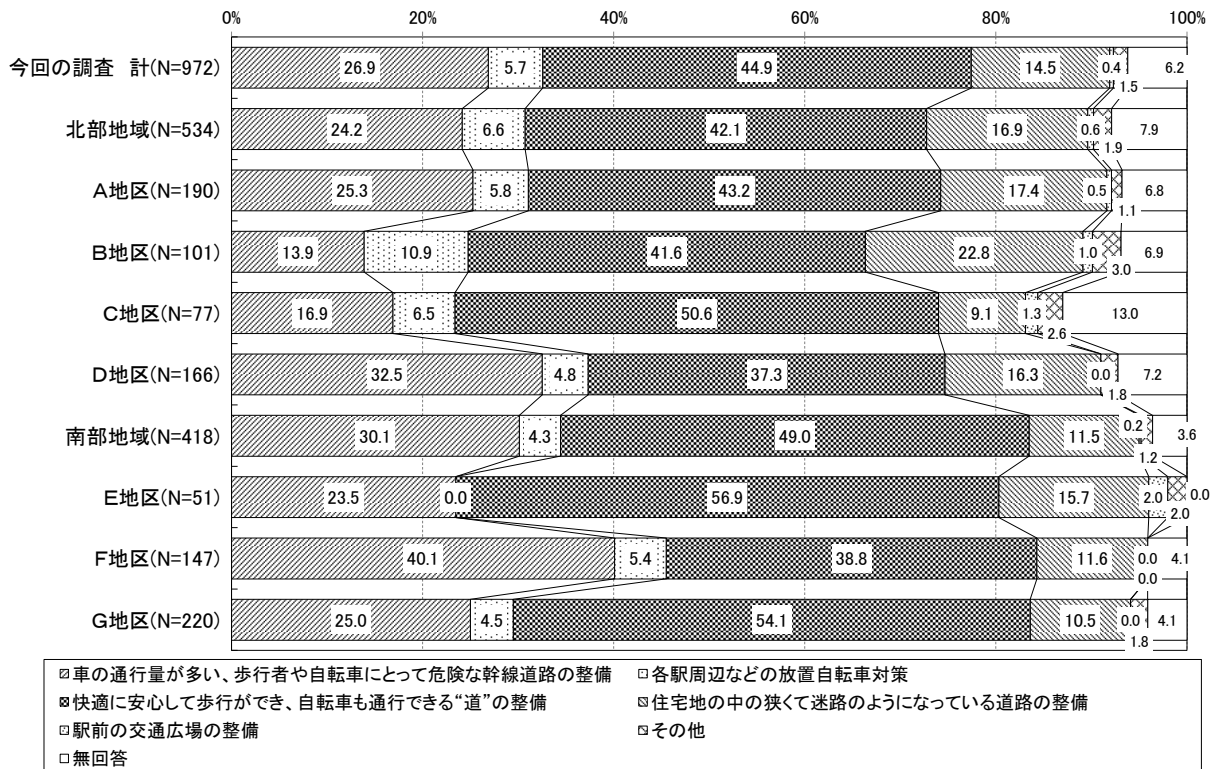
地域別に道路整備に関する意向をみると、南部地域では、「快適に安心して歩行ができ、自転車も通行できる“道”の整備」や「車の通行量が多い、歩行者や自転車にとって危険な幹線道路の整備」がそれぞれ49.0%、30.1%と北部地域の42.1%、24.2%を6.9ポイント、5.9ポイント上回っている一方、「住宅地の中の狭くて迷路のようになっている道路の整備」や「各駅周辺の放置自転車対策」がそれぞれ11.5%、4.3%と北部地域の16.9%、6.6%より、5.4ポイント、2.3ポイント下回っている。北部地域では、駅周辺などの放置自転車対策や駅前広場整備など、駅周辺における交通対策が南部地域に比較し意向が強いことがうかがえる。南部地域では歩行者や自転車の安全で快適な通行が、北部地域に比較し意向が強いことがうかがえる。

さらに、地区別に道路整備に関する意向をみると、F地区を除いた各地区で「快適に安心して歩行ができ、自転車も通行できる“道”の整備」が最も高くなっている。F地区では「車の通行量が多い、歩行者や自転車にとって危険な幹線道路の整備」が最も高い割合となっている。

次いで、B地区、F地区を除いた地区では「車の通行量が多い、歩行者や自転車にとって危険な幹線道路の整備」が2番目に高い割合となっている。

B地区では、「住宅地の中の狭くて迷路のようになっている道路の整備」、F地区では他地区で最も割合の高い「快適に安心して歩行ができ、自転車も通行できる“道”の整備」が2番目に高い割合となっている。

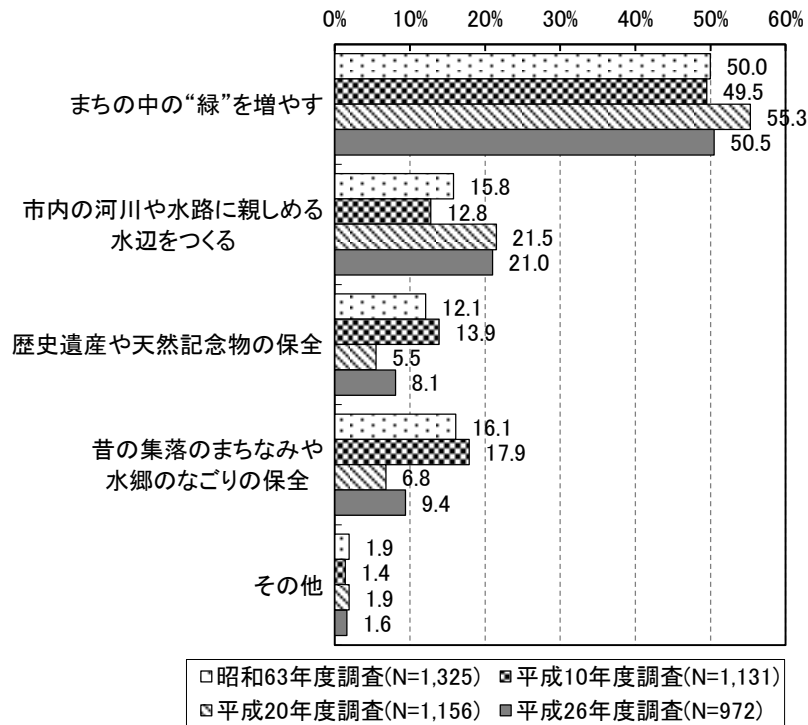
図表Ⅲ-51 地域や地区別にみた道路などの整備に関する意向



水・緑・歴史遺産

水・緑・歴史遺産については、「まちの中の“緑”を増やす」「市内の河川や水路に親しめる水辺をつくる」の順で多く、この傾向は前回と同様である。前回と比べると「昔の集落のまちなみや水郷のなごりの保全」の比率がやや高まっている。

図表Ⅲ-52 水・緑・歴史遺産に関する意向(過年度調査結果との比較)

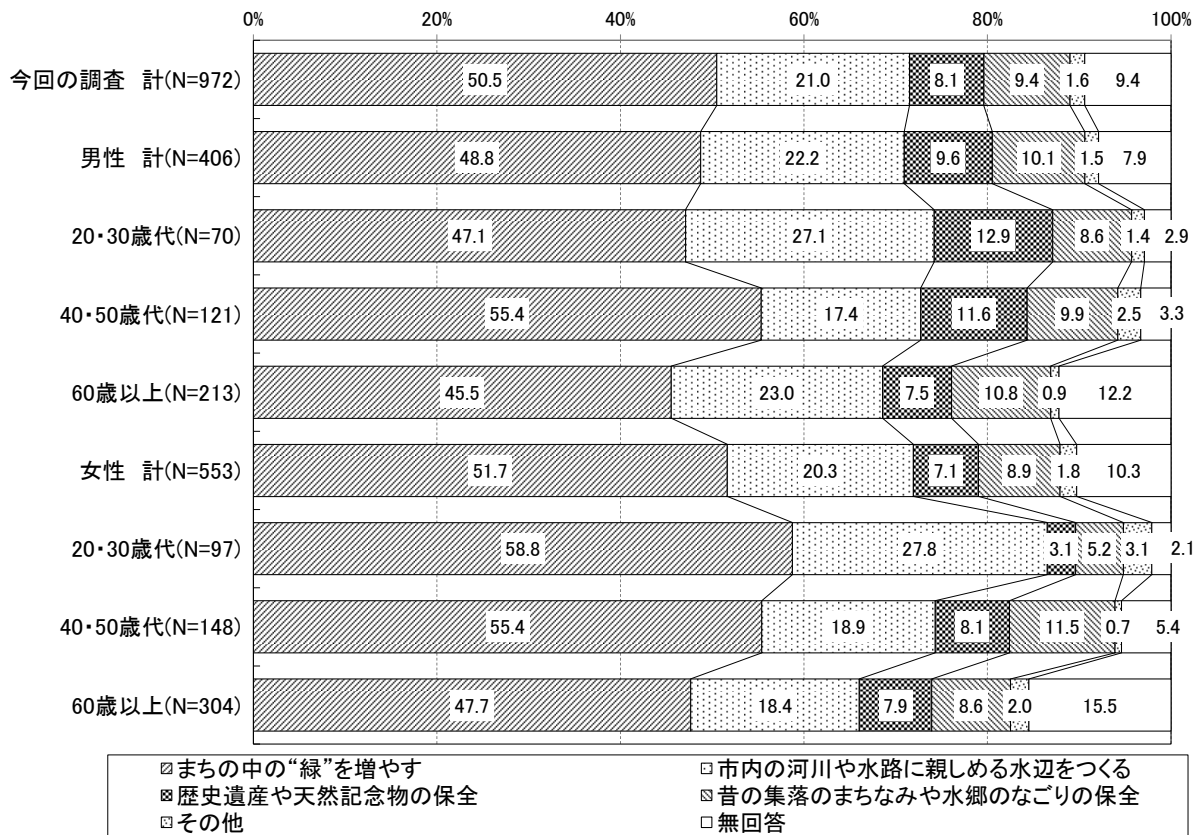


男女年代別にうるおいの創出に関する意向をみると、全体で最も割合の高い「まちの中の“緑”を増やす」については、女性全体では51.7%と男性全体の48.8%を2.9ポイント上回っており、女性の意向が少し強いことがうかがえる。特に、女性においても20・30歳代で58.8%と最も高くなっている。

今回の調査で全体では2番目に割合が高い「市内の河川や水路に親しめる水辺をつくる」については、男女の差異は少ないが、男女ともに20・30歳代が27.1%、27.8%と高くなっている。

今回の調査で全体では「昔の集落のまちなみや水郷のなごりの保全」が3番目に割合が高くなっている。

図表Ⅲ-53 男女年代別にみた水・緑・歴史遺産に関する意向



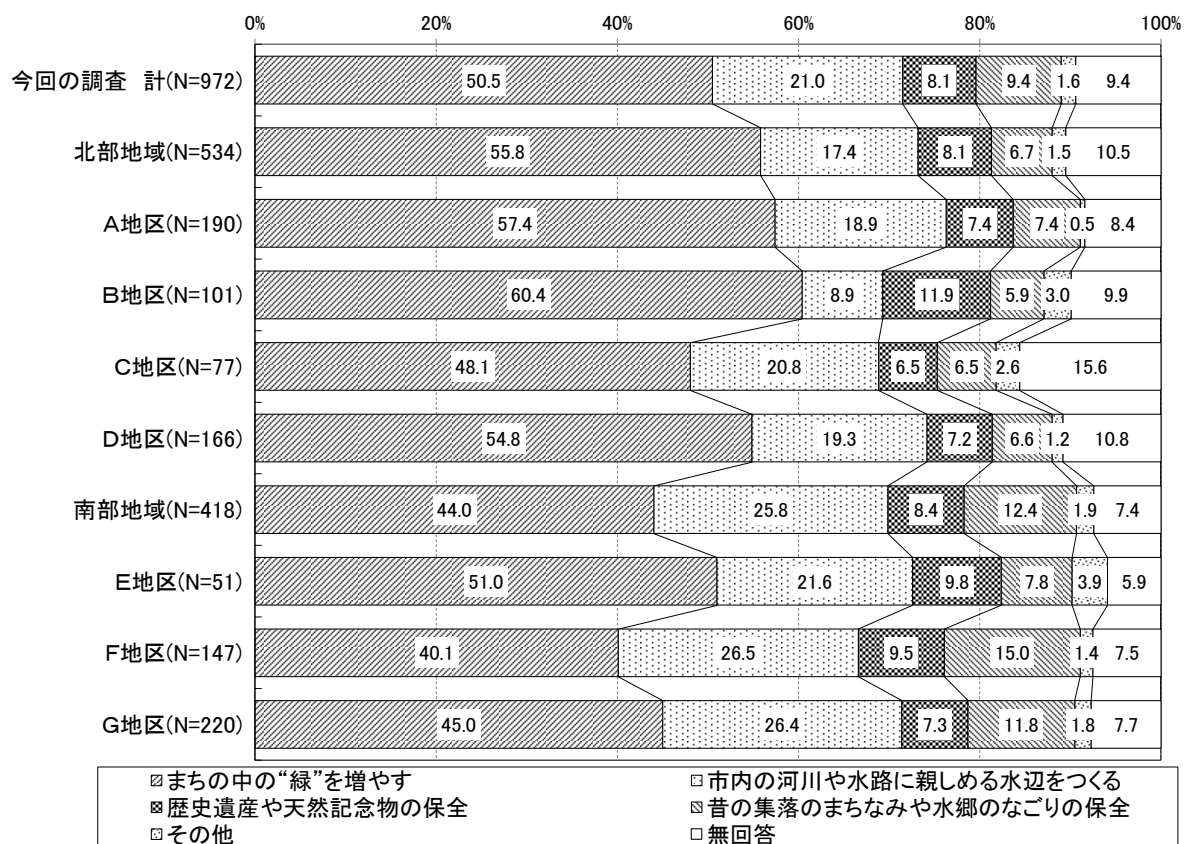
地域別にうるおいの創出に関する意向をみると、北部地域では「まちの中の“緑”を増やす」が55.8%と南部地域の44.0%を11.8ポイント上回っている一方、「市内の河川や水路に親しめる水辺をつくる」が17.4%と南部地域の25.8%より8.4ポイント下回っている。

さらに、地区別にうるおいの創出に関する意向をみると、各地区とも「まちの中の“緑”を増やす」が最も高く、B地区では60.4%と最も高くなっている。その他の地区でも40%以上を占めており、各地区ともに、豊かな緑の環境が求められている。

また、「市内の河川や水路に親しめる水辺をつくる」はF地区が最も高く26.5%と最も高く、南部地域のいずれの地区も20%を超えている。

「昔の集落のまちなみや水郷のなごりの保全」については、F地区で15.0%と最も高く、「歴史遺産や天然記念物の保全」はB地区で11.9%と他の地区より少し高い割合となっている。

図表Ⅲ-54 地域や地区別にみた水・緑・歴史遺産に関する意向

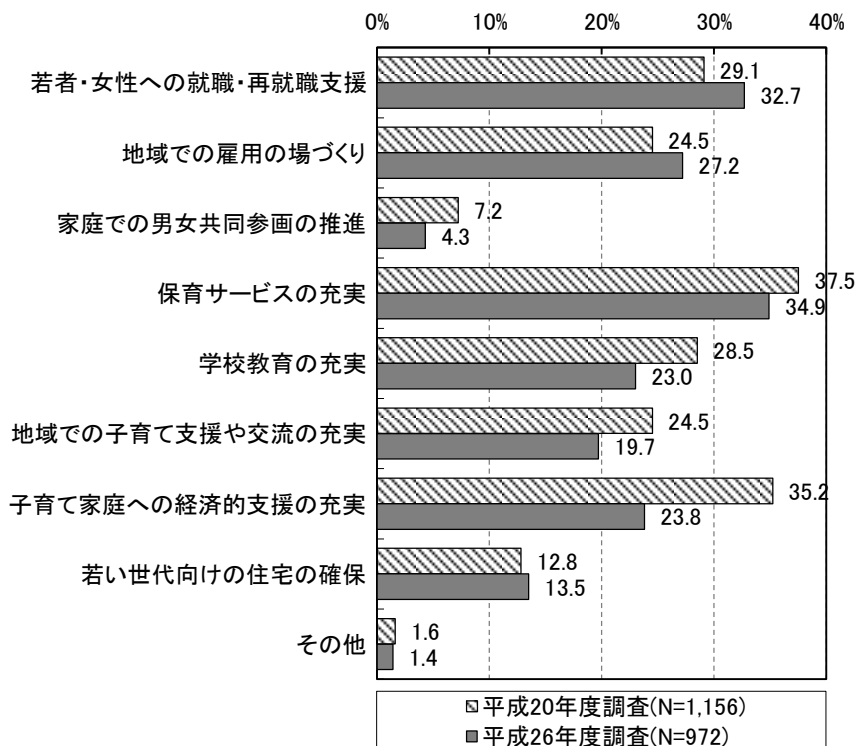


子育てをしやすいまち

子育てをしやすいまちに向けて重要な取り組みとしては、「保育サービスの充実」という回答が最も多く、「若者・女性への就職・再就職支援」「地域での雇用の場づくり」の順で回答が多くなっている。

前回と比べて回答の比率が高まっているのは、「若者・女性への就職・再就職支援」「地域での雇用の場づくり」といった仕事に関する項目であり、逆に前回最も回答の比率が高かった「子育て家庭への経済的支援の充実」については、比率が大きく下がっている。

図表Ⅲ-55 子育て支援に関する意向(過年度調査結果との比較)

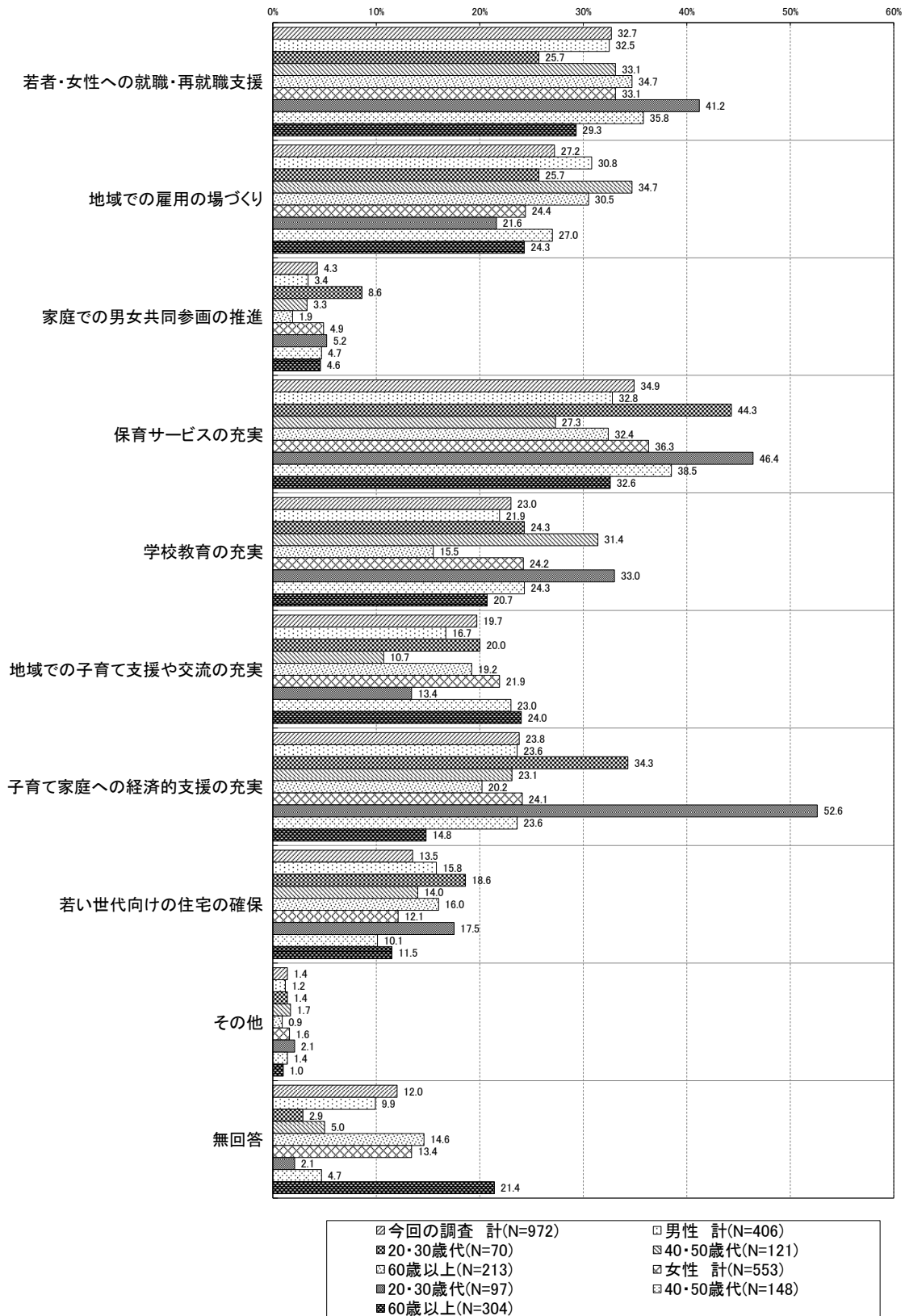


男女年代別に子育て支援に関する意向をみると、図表Ⅲ-56 に示すように、全体で最も割合が高い「保育サービスの充実」については、女性の20・30歳代が他の性別・年代層より割合が高く、46.4%となっており、子育てをする世代の女性の意向が強いことがうかがえる。

今回の調査で全体では2番目に割合が高い「若者・女性への就職・再就職支援」については、女性の20・30歳代が41.2%と40%を超えており、子育てをする世代の女性の意向が強いことがうかがえる。

「子育て家庭への経済的支援の充実」については女性の20・30歳代が52.6%、男性の20・30歳代が34.3%と他の性別・年代層よりもかなり割合が高く、子育て世代の意向が強いことがうかがえる。

図表Ⅲ-56 男女年代別にみた子育て支援に関する意向

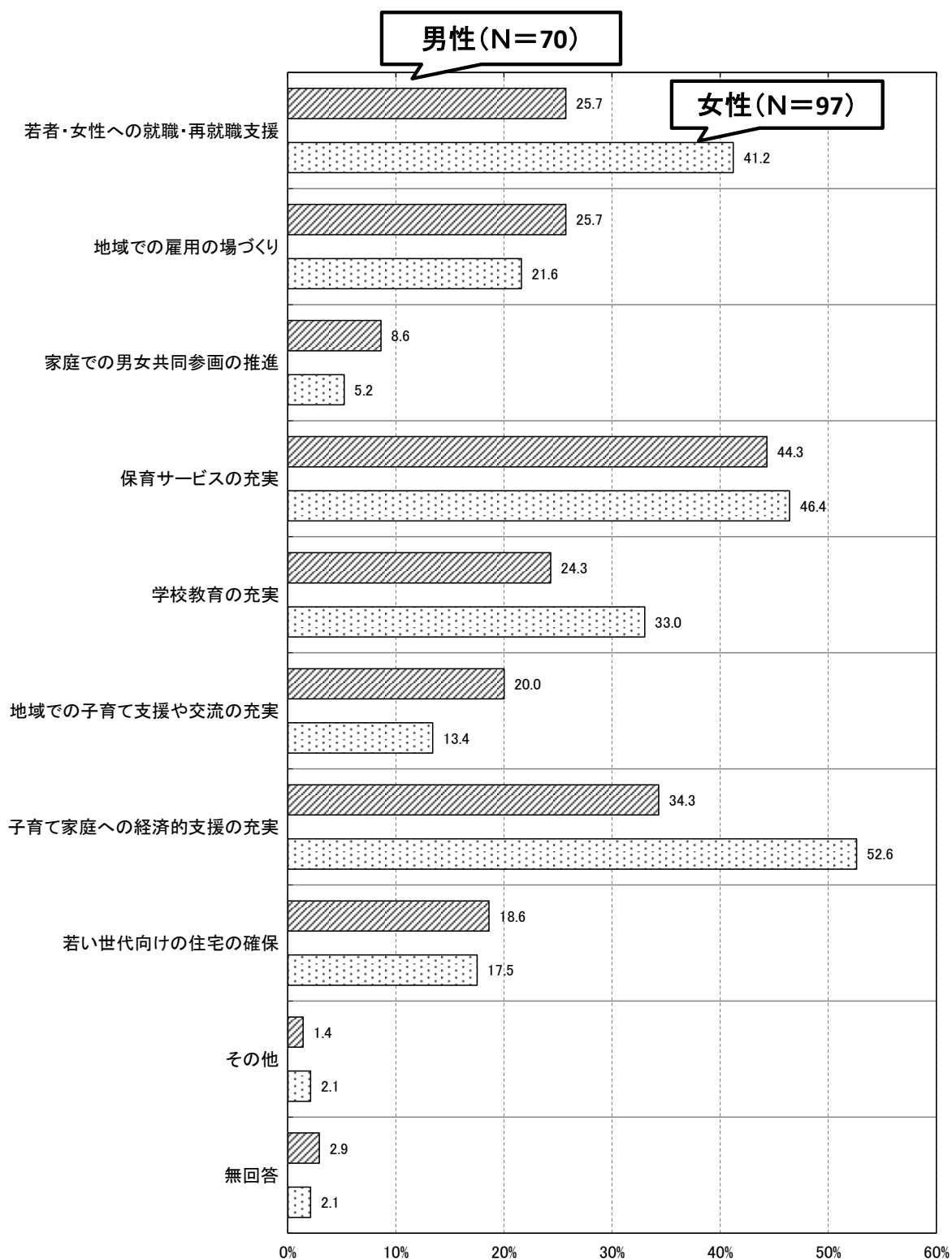


また、子育ての中心世代である 20・30 歳代の男女別の子育て支援に関する意向をみると、女性では「子育て家庭への経済的支援の充実」が回答者の 52.6%を占め、最も割合が高く、次いで、「保育サービスの充実」が 46.4%、「若者・女性への就職・再就職支援」が 41.2%、「学校教育の充実」が 33.0%、「地域での雇用の場づくり」が 21.6%となっている。

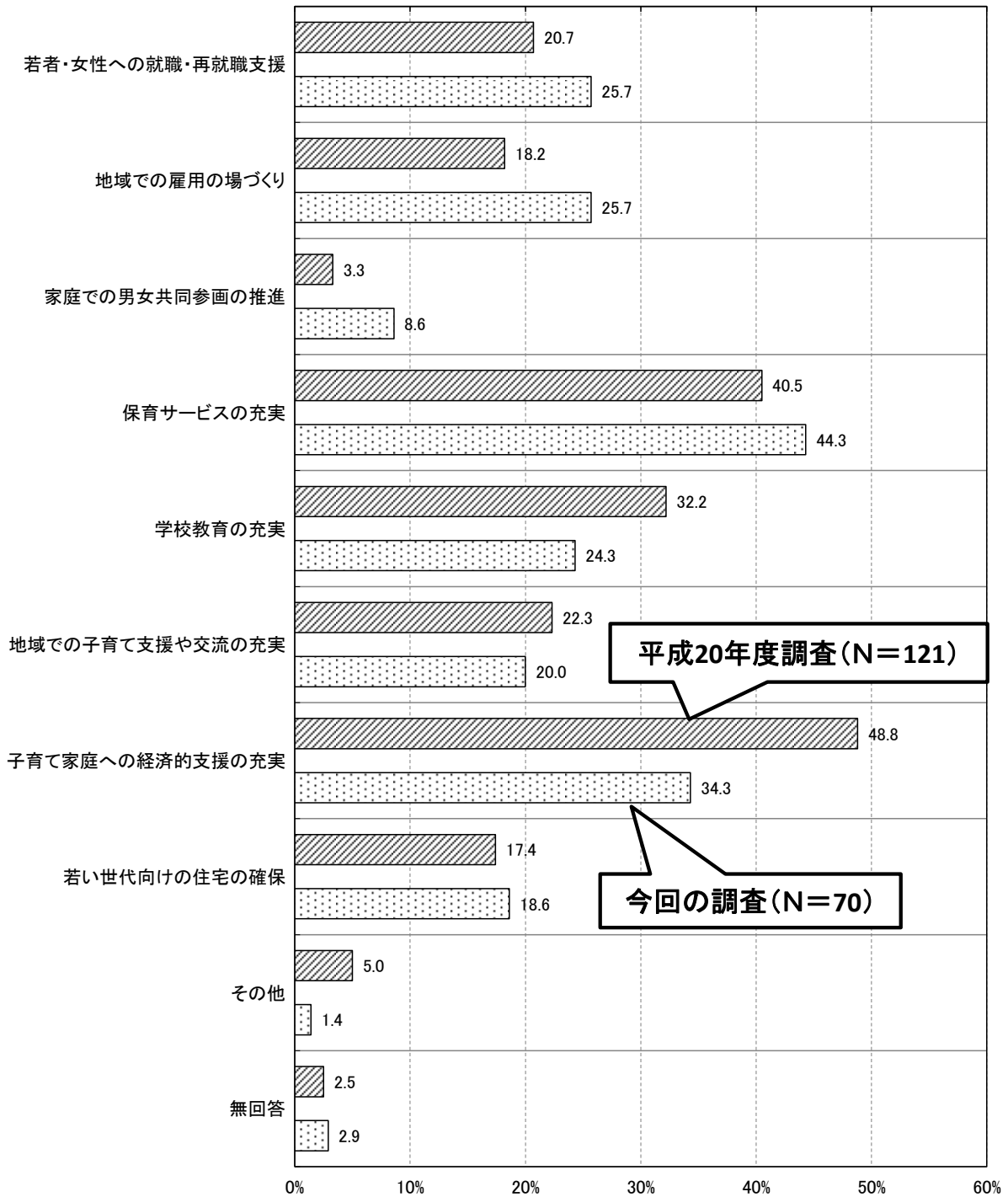
男性では「保育サービスの充実」が回答者の 44.3%を占め、最も割合が高く、次いで、「子育て家庭への経済的支援の充実」が 34.3%、「若年・女性への就職・再就職支援」、「地域での雇用の場づくり」が 25.7%、「学校教育の充実」が 24.3%、となっている。

また、「子育て家庭への経済的支援の充実」については、女性がそれぞれ 52.6%に対し、男性では 34.3%と 18.3 ポイント男性と比較して高い割合になっており、女性の意向が強い。

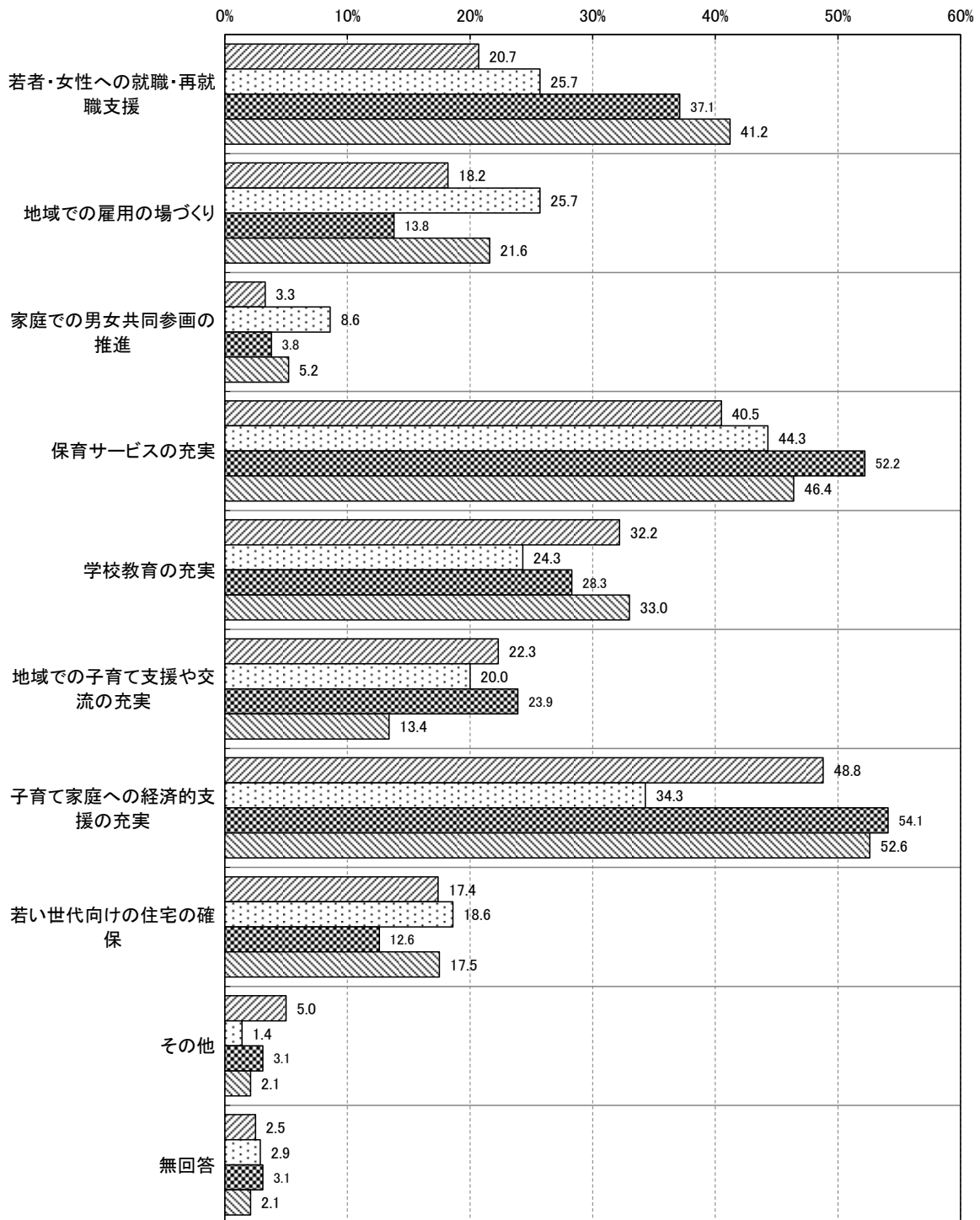
図表Ⅲ-57 20・30歳代の男女別にみた子育て支援に関する意向



図表Ⅲ-58 20・30歳代の男性の子育て支援に関する意向(過年度調査結果比較)



図表Ⅲ-59 20・30代の男女別にみた子育て支援に関する意向(過年度調査結果比較)



□平成20年度調査・男性(N=121) □今回の調査・男性(N=70)
 □平成20年度調査・女性(N=159) □今回の調査・女性(N=97)

(4) 協働のまちづくり

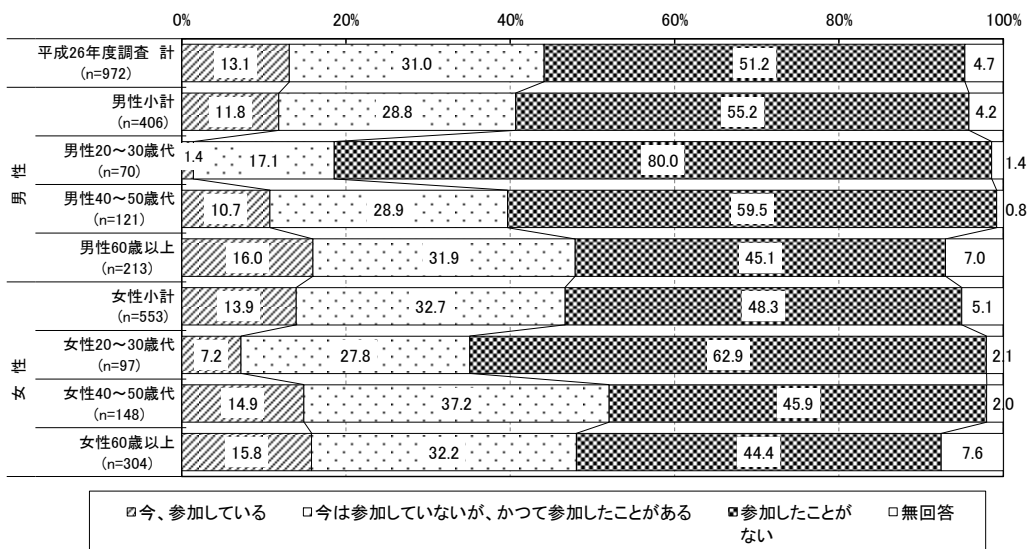
地域活動への参加

地域や市民活動の参加状況については、「今、参加している」「今は参加していないが、かつて参加したことがある」をあわせると4割を超えている。

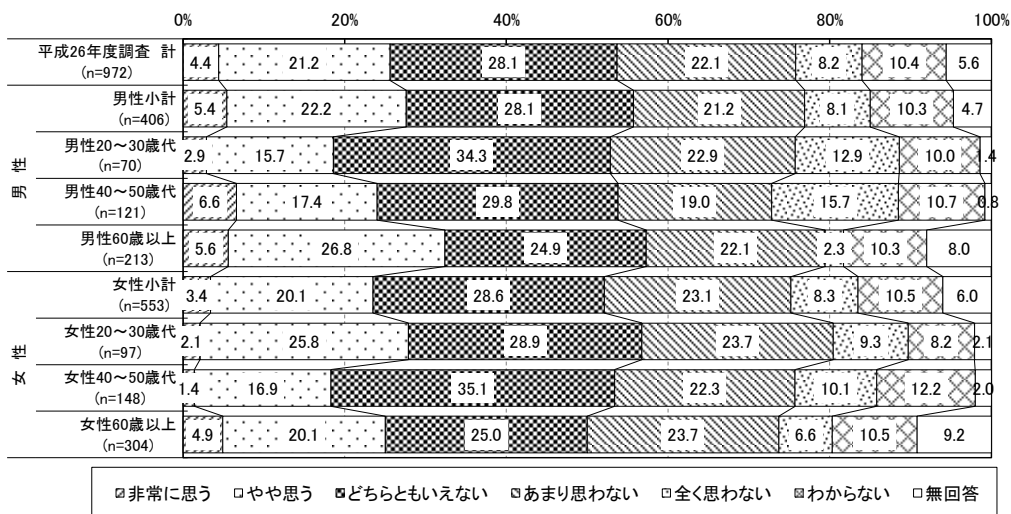
ただ、今後の参加意向としては、「非常に思う」「やや思う」を合わせても全体の4分の1ほどにとどまっており、積極的に参加意向を示している人はそれほど多くない。

性・年齢別に見ると、「今、参加している」という比率が男性20・30歳代において極端に低い。今後の参加意向については、男性は年齢が上がるにつれ「非常に思う」「やや思う」の合計の比率が高まっていくのに対し、女性は40～50歳代でその比率が下がっている。

図表Ⅱ-60 男女年代別にみた地域や市民活動への参加状況



図表Ⅱ-61 男女年代別にみた地域や市民活動への参加意向



地域別に地域や市民活動への参加状況をみると、「今、参加している」は、北部地域が13.3%、南部地域が12.9%となっており、地域別の差異は少ない。

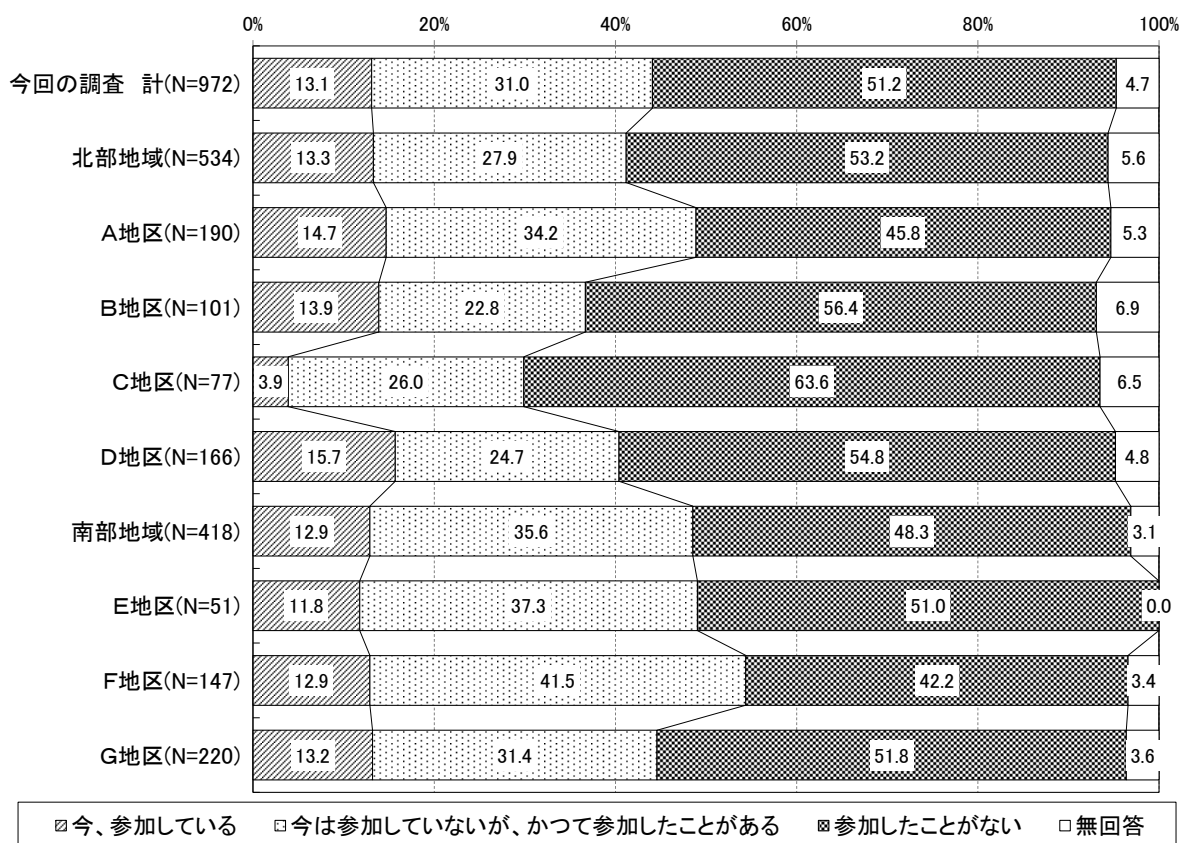
「今は参加していないが、かつて参加したことがある」は、北部地域が27.9%、南部地域が35.6%となっており、南部地域の方で少し割合が高くなっている。

「今、参加している」及び「今は参加していないが、かつて参加したことがある」を合わせると、北部地域が41.2%、南部地域が48.5%となっており、南部地域では北部地域に比較して7.3ポイント高くなっている。

地区別にみると、「今、参加している」はD地区の15.7%と最も割合が高く、次いでA地区の14.7%、B地区の13.9%となっている。

「今、参加している」及び「今は参加していないが、かつて参加したことがある」を合わせて割合の高い順にみると、F地区の54.4%、E地区の49.1%、A地区の48.9%となり、一方、これら両者をあわせた割合が低い地区はC地区の29.9% B地区の36.7%となっており、地域や市民活動への参加意欲が高い地区と比較して10ポイント以上低くなっている。

図表Ⅲ-62 地域や地区別にみた地域や市民活動への参加状況

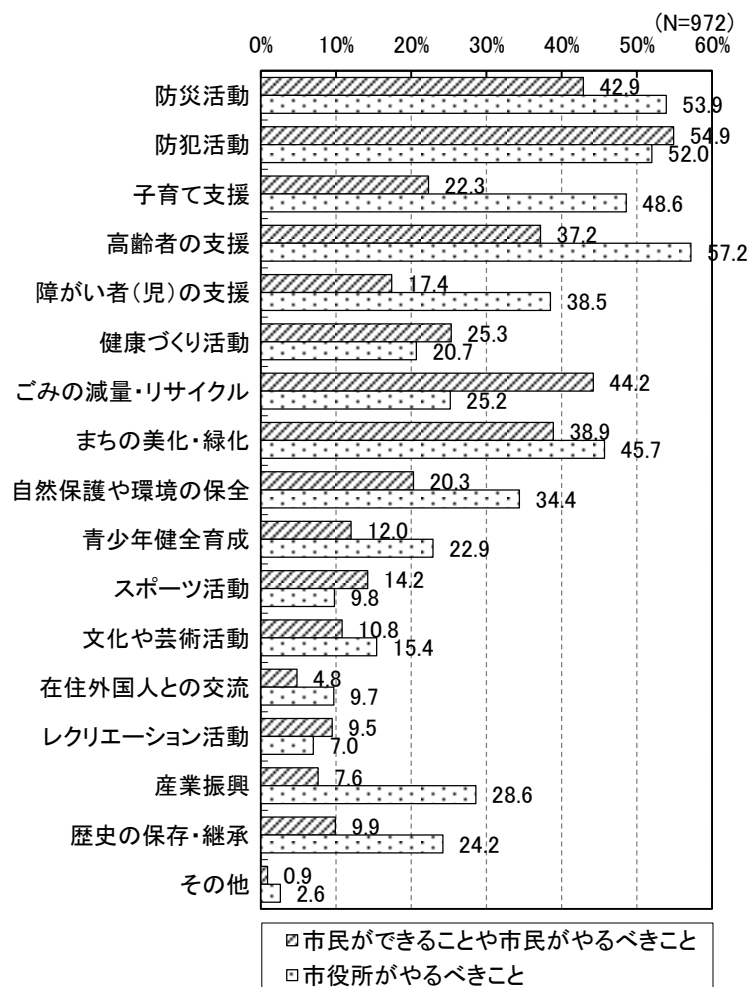


市民と市役所の役割分担

市民と市役所の役割分担について、「市民ができることや市民がやるべきこと」として最も回答の比率が高かったのは「防犯活動」であり、次いで「ごみ減量・リサイクル」「防災活動」の順となっている。「市役所がやるべきこと」として最も回答の比率が高かったのは「高齢者の支援」であり、次いで「防災活動」、「防犯活動」の順であった。

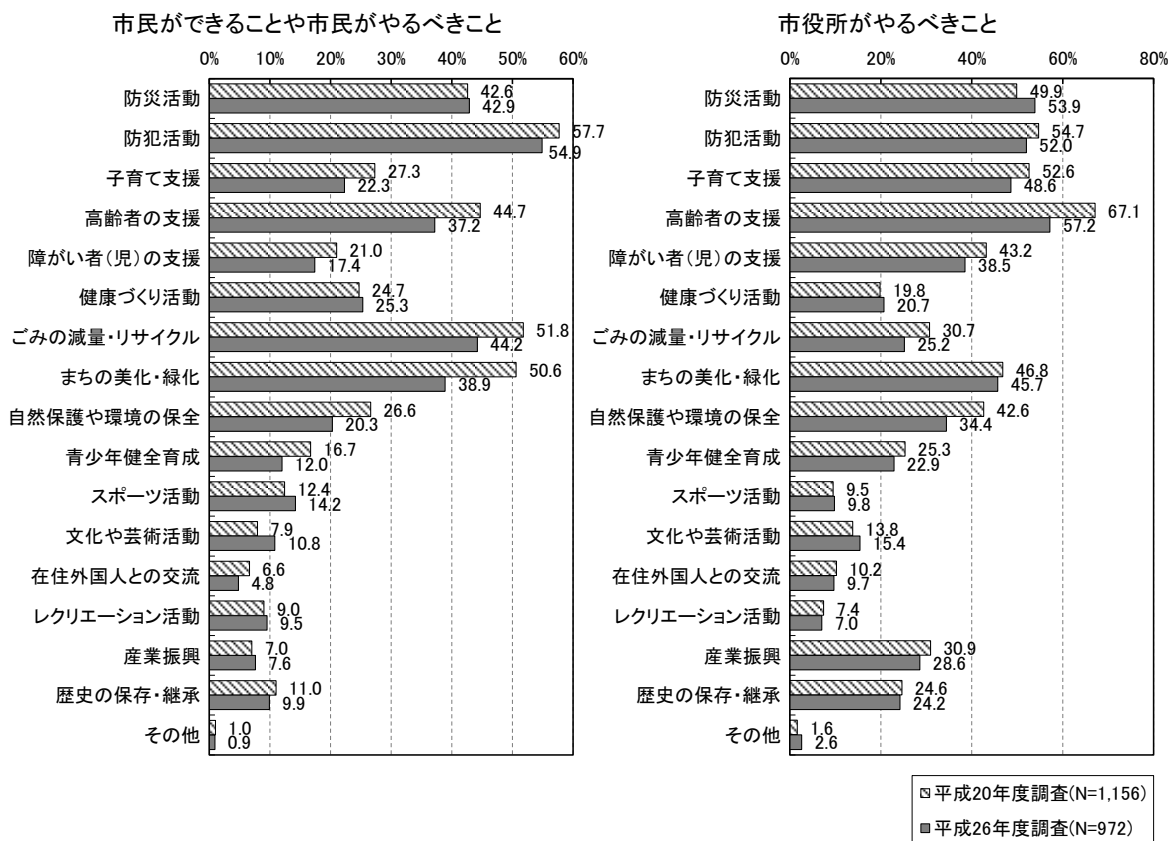
両者の差が大きいものとして、「ごみの減量・リサイクル」は「市民ができることや市民がやるべきこと」という回答の比率が「市役所がやるべきこと」を大きく上回っている。一方、「高齢者の支援」、「産業振興」、「障がい者（児）の支援」、「子育て支援」については、「市役所がやるべきこと」という回答の比率が「市民ができることや市民がやるべきこと」を大きく上回っている。

図表Ⅱ-63 市民ができることや市民がやるべきこと



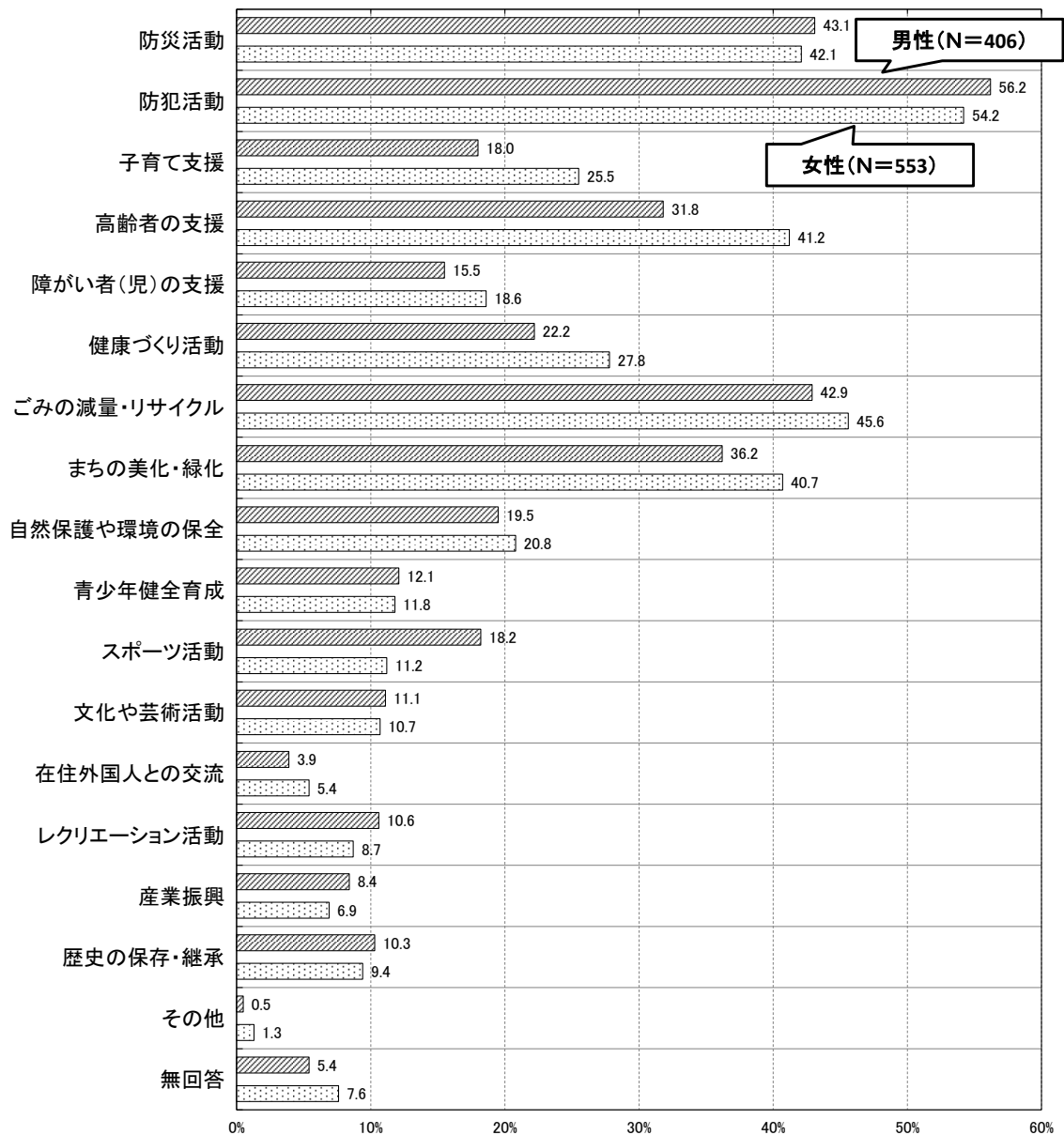
前回（平成 20（2008）年度）調査と比較すると、全体的に「市民ができること・市民がやるべきこと」の回答比率が下がっており、特に「まちの美化・緑化」について比率の低下幅が大きい。「市役所がやるべきこと」として比率が高まっているのは「防災活動」などがあるが、こちらもあまり回答比率が高まっている項目はない。「高齢者の支援」については、項目としては最も回答が多いものの、前回調査と比較すると、比率の低下幅も大きくなっている。

図表Ⅲ-64 市民ができることや市民がやるべきこと及び市役所がやるべきこと(過年度調査結果と比較)



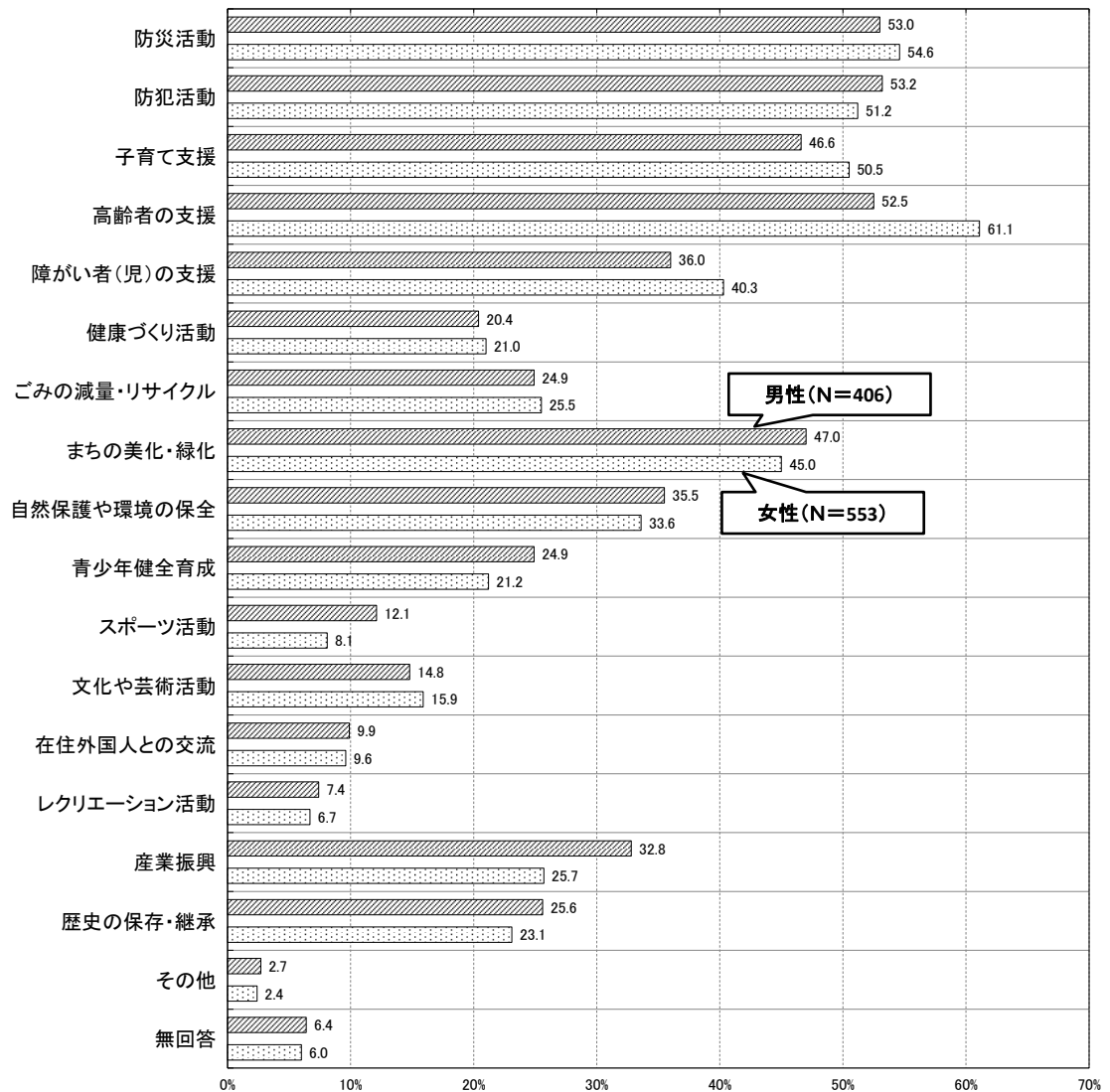
男女別に市民ができることや市民のやるべきことについてみると、「防犯活動」や「スポーツ活動」については女性より男性の割合が高く、一方、「ごみの減量・リサイクル」、「まちの美化・緑化」、「高齢者の支援」、「子育て支援」については、男性より女性の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-65 男女別にみた市民ができることや市民がやるべきこと



男女別に市役所がやるべきことについてみると、概ね同じような傾向にあり、「防犯活動」や「産業振興」については女性より男性の割合が高く、一方、「ごみの減量・リサイクル」、「高齢者の支援」、「子育て支援」などは、男性より女性の割合が高くなっている。

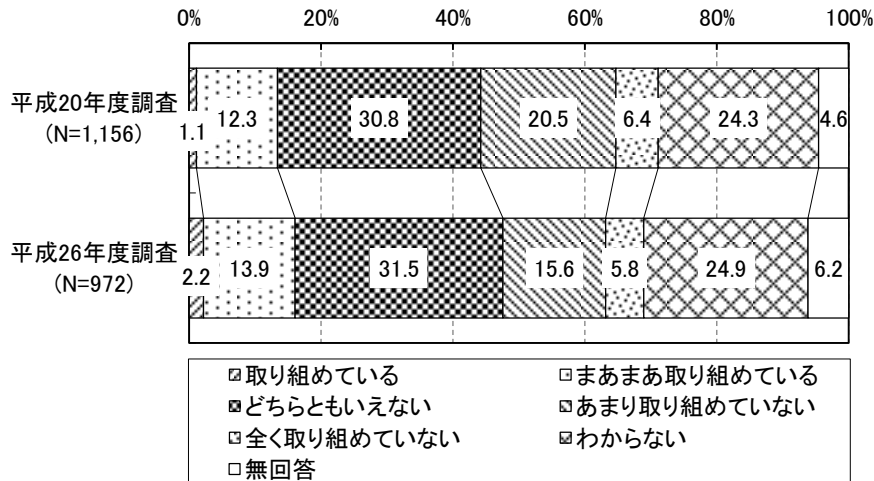
図表Ⅲ-66 男女別にみた市役所がやるべきこと



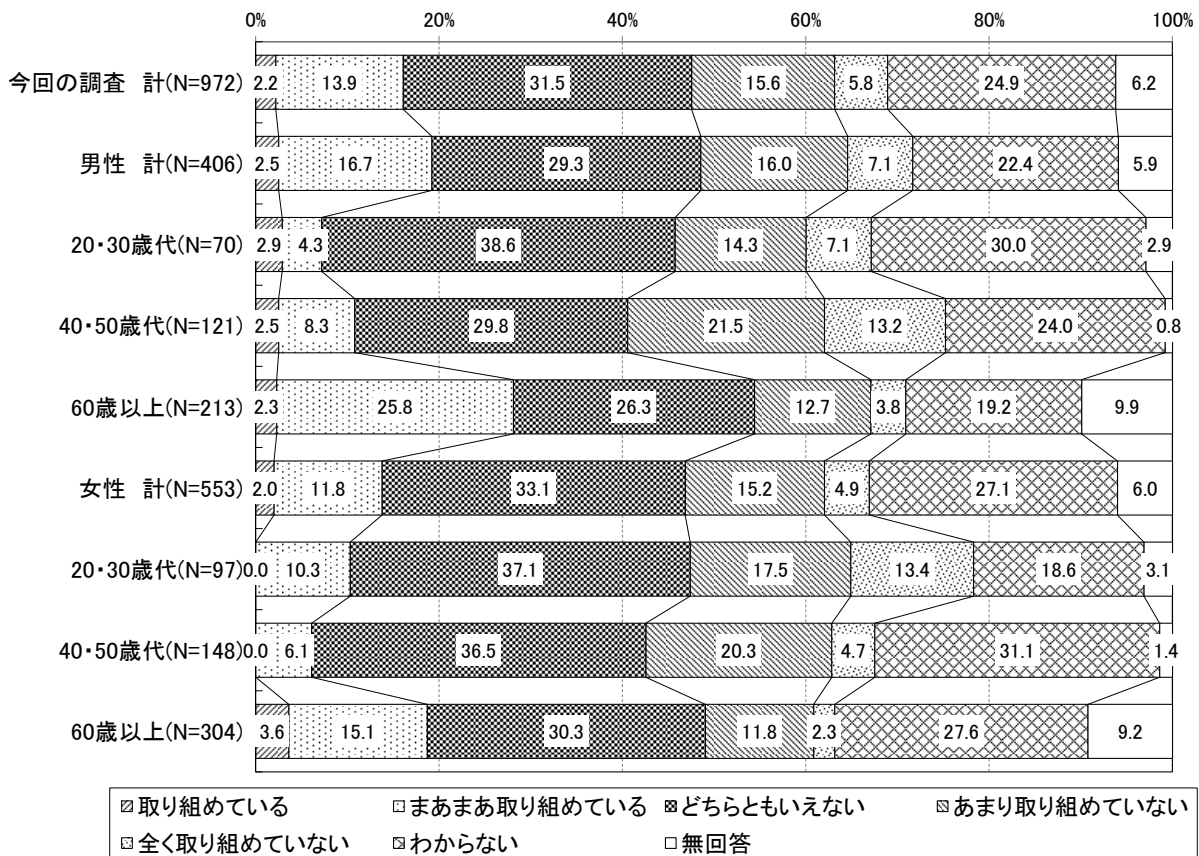
市民と市役所の協力状況

市民と市役所の協力状況については、「取り組んでいる」「まあまあ取り組んでいる」という回答を合わせても2割に満たないが、前回調査と比較するとその比率は高まっている。

図表Ⅲ-67 市民と市役所の協働の取り組みの状況



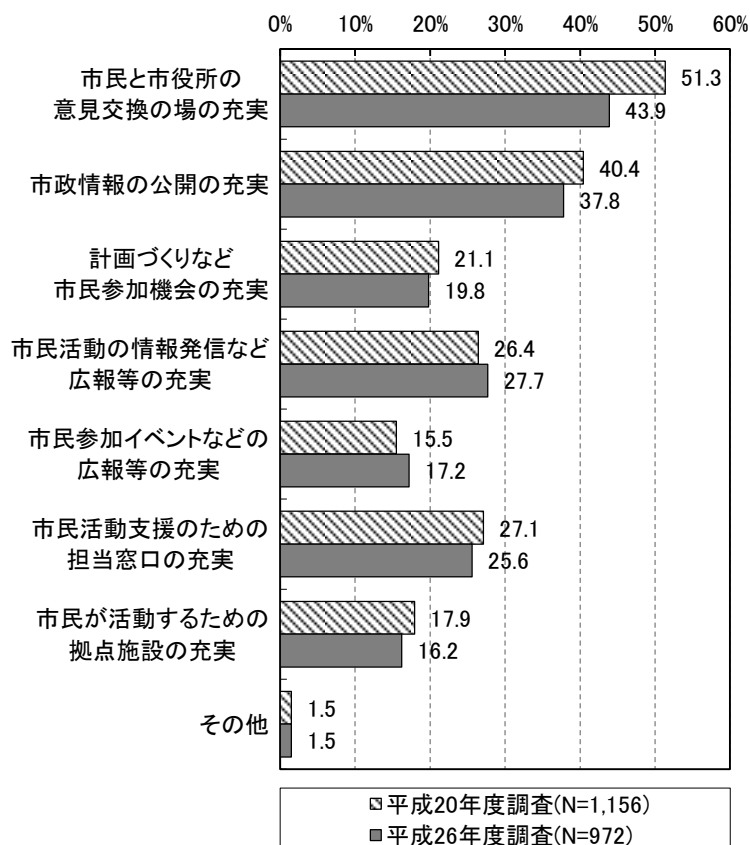
図表Ⅲ-68 男女年代別にみた市民と市役所の協働の取り組みの状況



市民と市役所の協力に必要なこと

市民と市役所の協力に必要なことについては「市民と市役所の意見交換の場の充実」、「市政情報の公開の充実」の順で回答が多く、この傾向は前回と同様である。

図表Ⅲ-69 市民と市役所の協働の取り組みに必要なこと

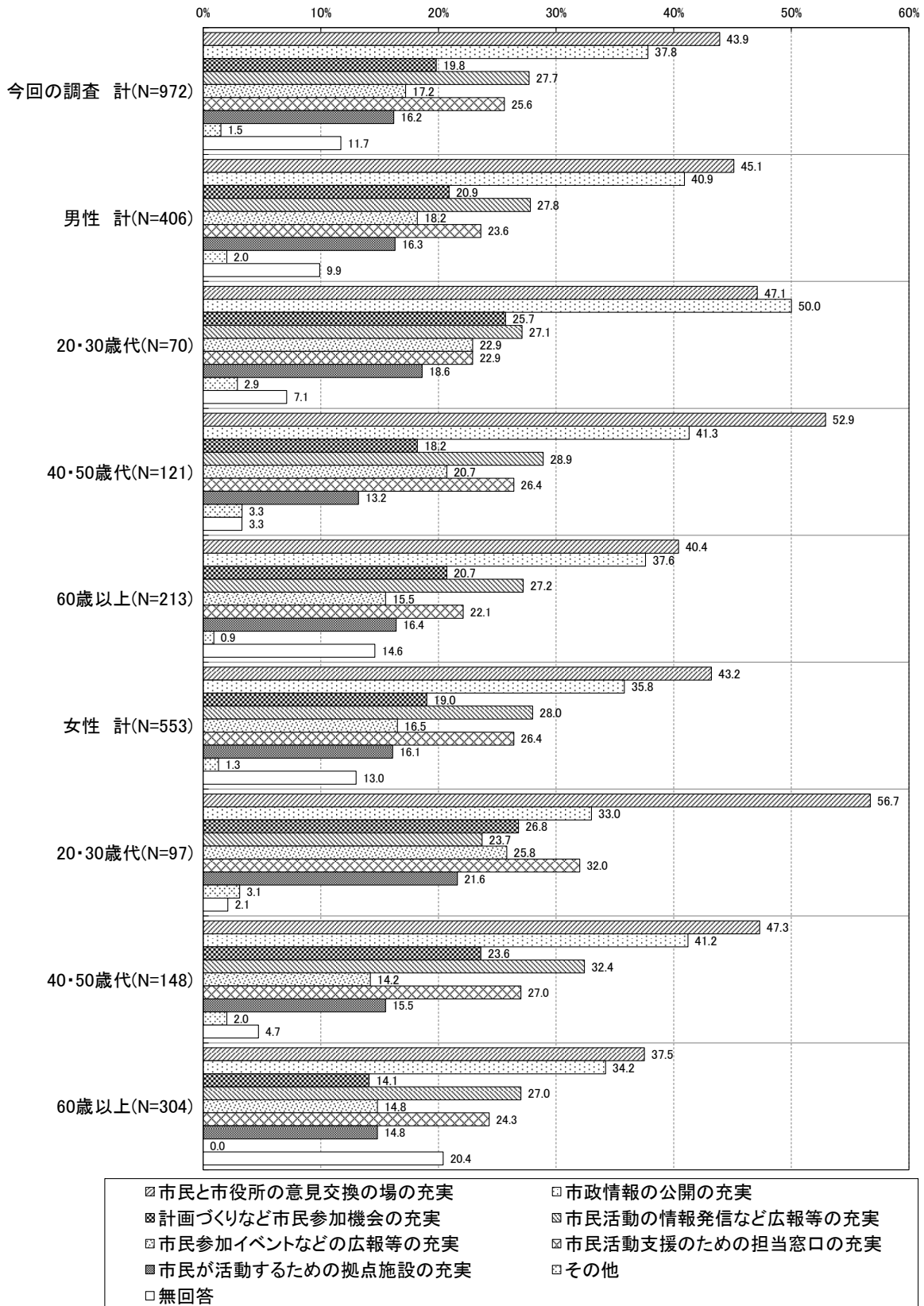


男女年代別にみると、図表Ⅲ-70 に示すように、男性全体では「市民と市役所の意見交換の場の充実」が回答者の45.1%を占め、次いで「市政情報の公開の充実」が40.9%、「市民活動の情報発信など広報等の充実」が27.8%、「市民活動支援のための担当窓口の充実」が23.6%となっている。

女性全体では、「市民と市役所の意見交換の場の充実」が回答者の43.2%を占め、次いで「市政情報の公開の充実」が35.8%、「市民活動の情報発信など広報等の充実」が28.0%、「市民活動支援のための担当窓口の充実」が26.4%となっている。

男女年代別では、割合に差はあるものの、男性の20・30歳代を除き「市民と市役所の意見交換の場の充実」の割合が最も高く、次いで「市政情報の公開の充実」が2番目に高い割合となっている。男性の20・30歳代については、「市政情報の公開の充実」の割合が最も高く、「市民と市役所の意見交換の場の充実」が2番目に高い割合となっている。3番目については、女性の20・30歳代を除き「市民活動の情報発信など広報等の充実」となっており、女性の20・30歳代は「市民活動支援のための担当窓口の充実」が32.0%となっている。

図表Ⅲ-70 男女年代別にみた市民と市役所の協働の取り組みに必要なこと

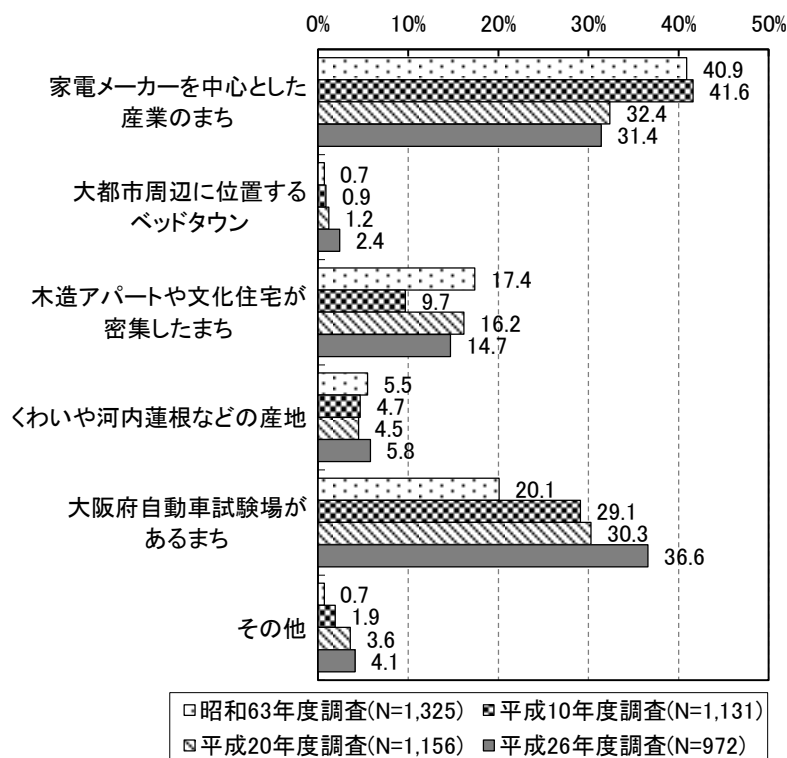


4. これからの門真市

(1) 他地域からみた門真市のイメージ

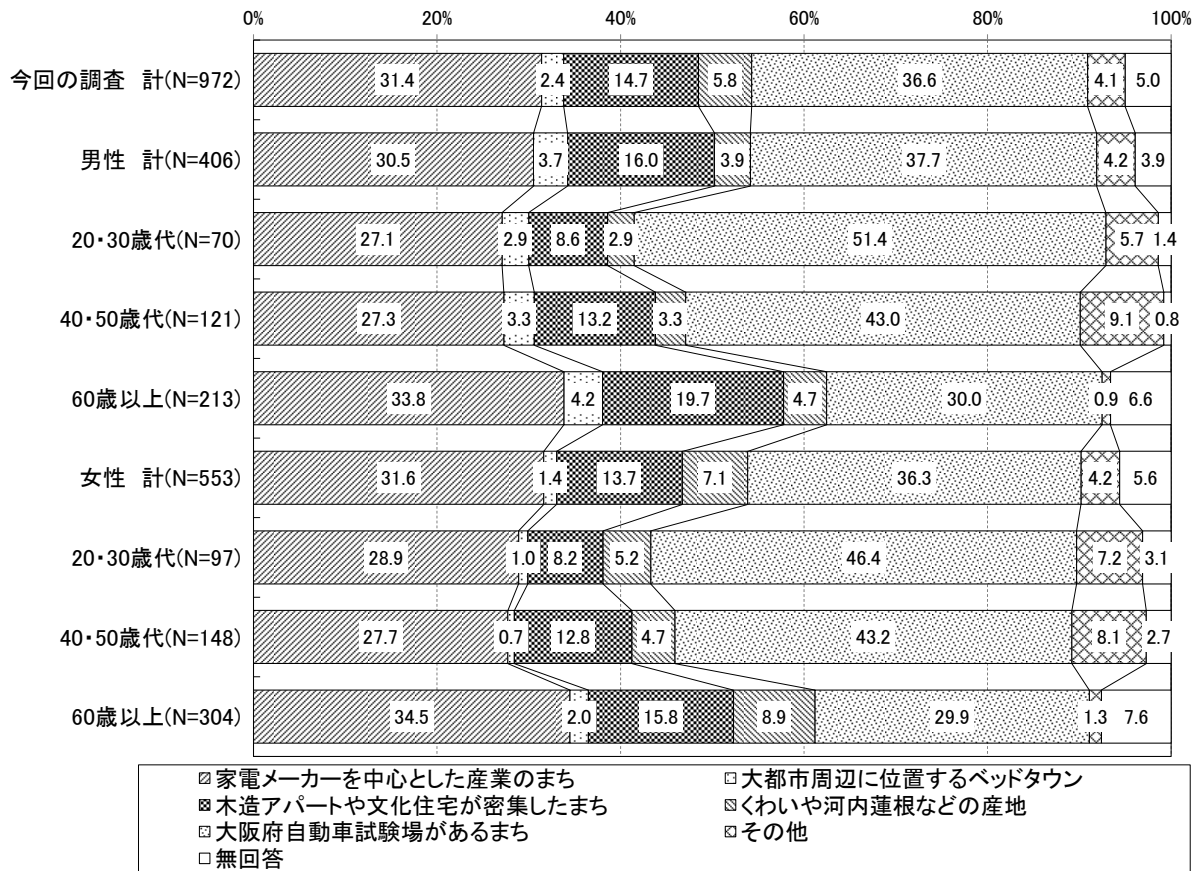
本市がどのようなことで他地域の人に知られているかについて、最も回答が多かったのは「大阪府自動車試験場があるまち」であり、前回（平成 20（2008）年度調査）まで最も多かった「家電メーカーを中心とした産業のまち」を上回っている。

図表Ⅲ-71 門真市の他地域からの認知イメージ(過年度調査結果との比較)



男女年代別にみると、「大阪府自動車試験場があるまち」は男女ともに年代層が低くなるにしたがい割合が高くなり、男性の20・30歳代では50%を超えており、40・50歳代では40%強、60歳以上では30%前後となっている。男女ともに20・30歳代、40・50歳代では「家電メーカーを中心とした産業のまち」よりも高い割合となっており、他地域からの認知イメージの最も高い割合が「大阪府自動車試験場があるまち」となっている。

図表Ⅱ-72 男女年代別にみた門真市の他地域からの認知イメージ



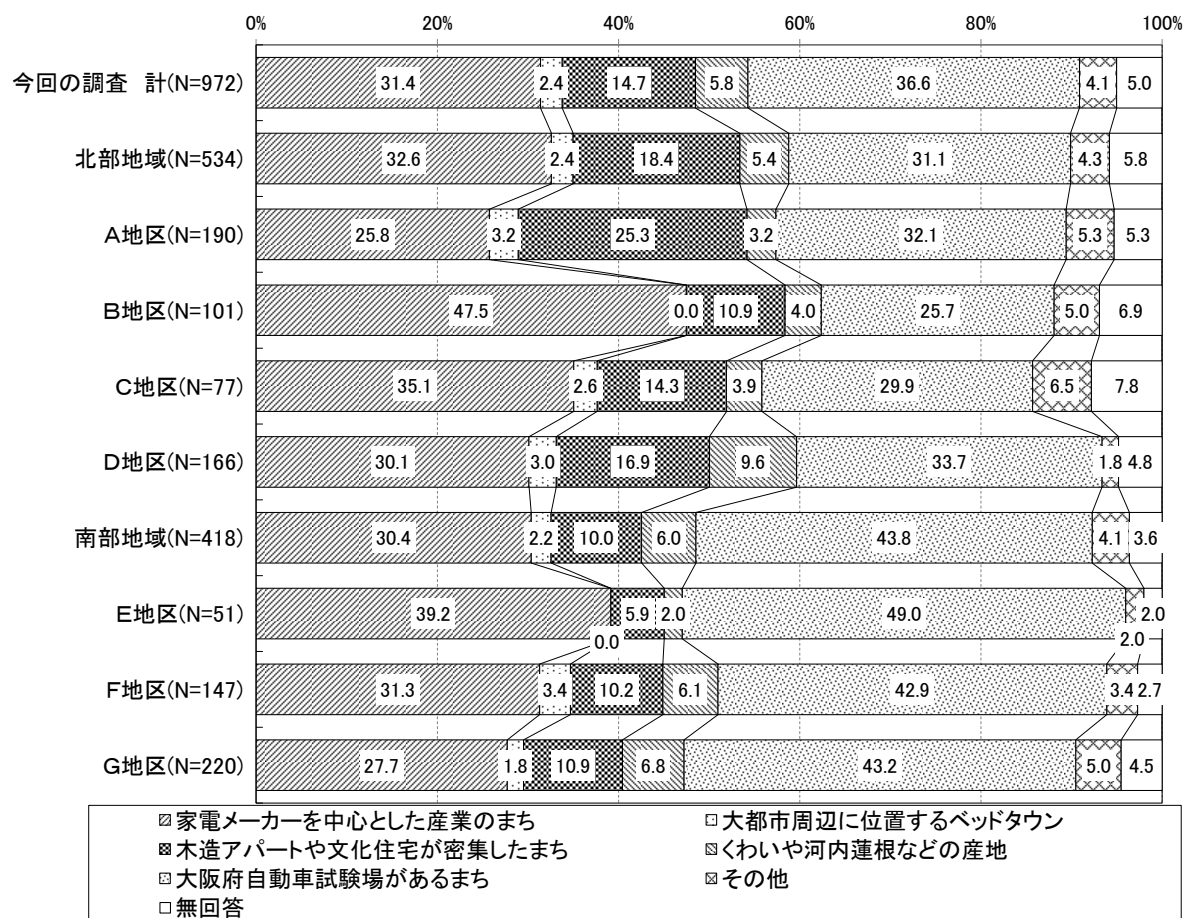
また、地域別にみると、北部地域では「家電メーカーを中心とした産業のまち」が32.6%と最も高い割合となっており、次いで「大阪府自動車試験場があるまち」が31.1%となっている。

一方、南部地域では、「大阪府自動車試験場があるまち」が43.8%と最も高い割合になっており、次いで「家電メーカーを中心とした産業のまち」が30.4%となっている。

「家電メーカーを中心とした産業のまち」が最も高い割合の地区はB地区で47.5%を占めている。

「大阪府自動車試験場があるまち」が最も高い割合の地区はE地区で49.0%を占めている。

図表Ⅱ-73 地域や地区別にみた門真市の他地域からの認知イメージ

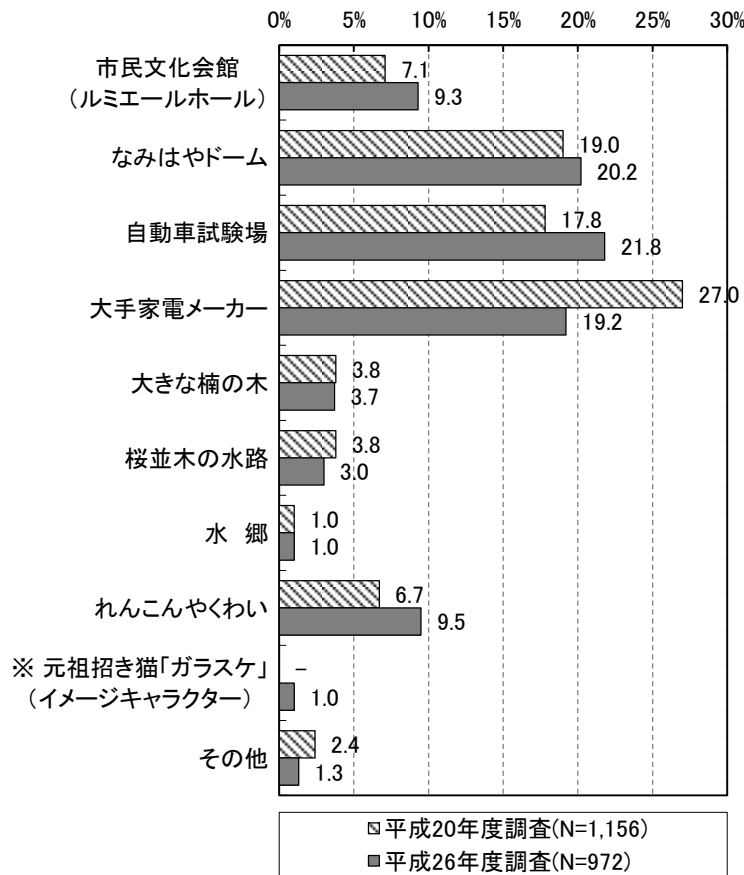


(2) 門真市のシンボルや誇り

門真市のシンボルや誇りとして、最も多かった回答は「自動車試験場」であり、僅差で「なみはやドーム」「大手家電メーカー」の順となっている。

前回と比べて、「大手家電メーカー」の比率が下がり、「れんこんやくわい」の比率がやや高まっている。

図表Ⅲ-74 門真市のシンボルや誇りに思えるもの



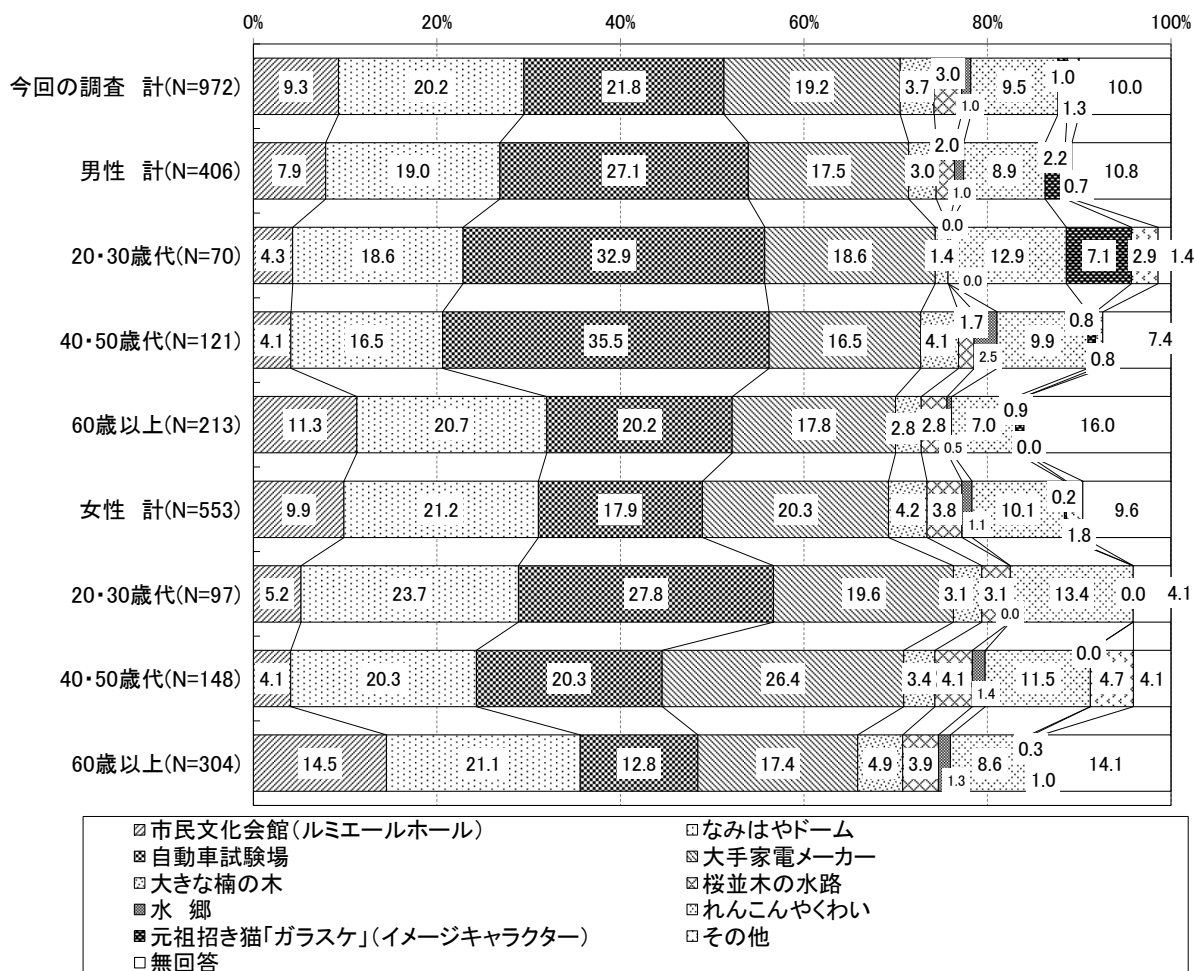
※「元祖招き猫『ガラスケ』 (イメージキャラクター)」は今回のみの項目

男女年代別にみると、図表Ⅲ-75に示すように、男女ともに60歳以上については「なみはやドーム」が最も高い割合を占めており、20.7%、21.1%となっている。次いで、男性は「自動車試験場」、女性は「大手家電メーカー」と続いている。

男女ともに20・30歳代及び男性40・50歳代では「自動車試験場」が最も割合が高くなっており、次いで、「なみはやドーム」が2番目に高い割合となっている。男性の20・30歳代、男性の40・50歳代については「なみはやドーム」と「大手家電メーカー」はそれぞれ18.6%、16.5%と同じ割合となっている。

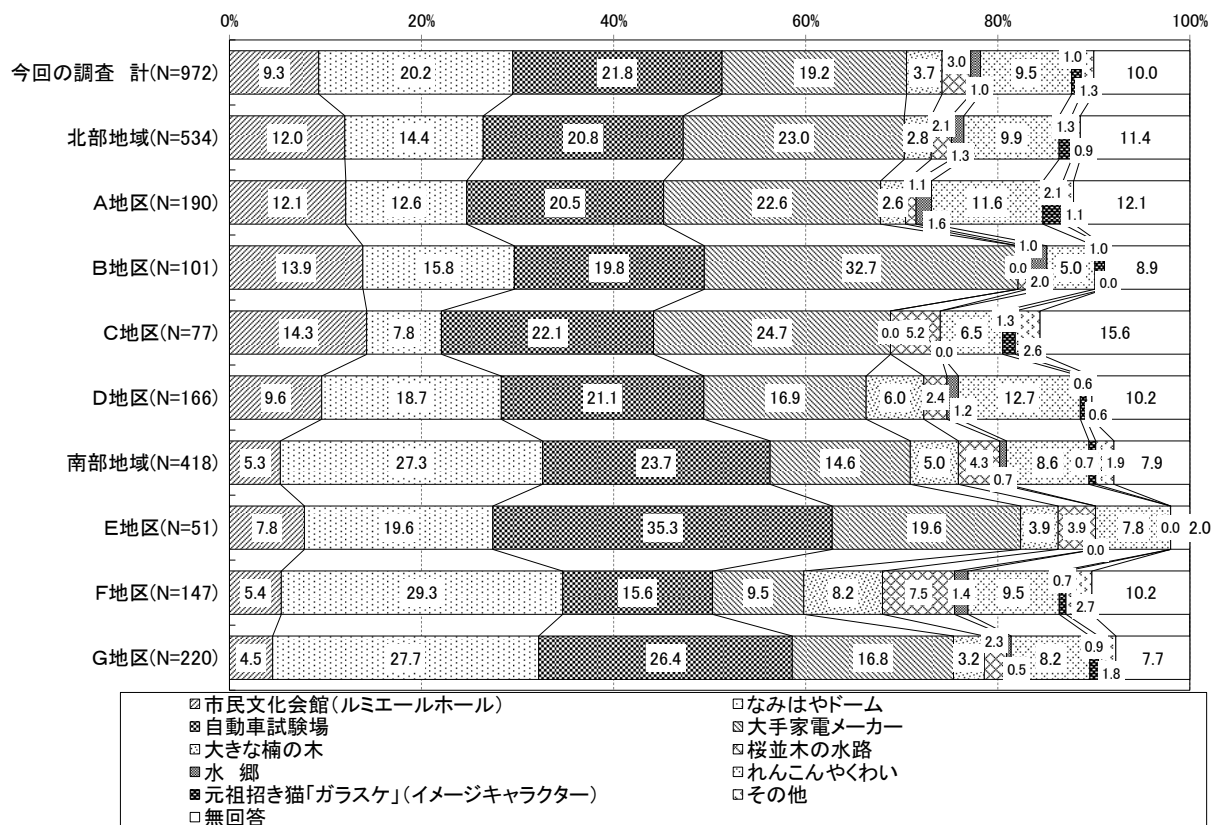
一方、女性の40・50歳代については、「大手家電メーカー」が26.4%と最も高い割合を占め、「なみはやドーム」と「自動車試験場」が2番目に続き、20.3%で同じ割合となっている。

図表Ⅲ-75 男女年代別にみた門真市のシンボルや誇りに思えるもの



地域や地区別にみると、北部地域では「大手家電メーカー」や「市民文化会館（ルミエールホール）」、南部地域では、「自動車試験場」や「なみはやドーム」の割合が相対的に高くなっている。

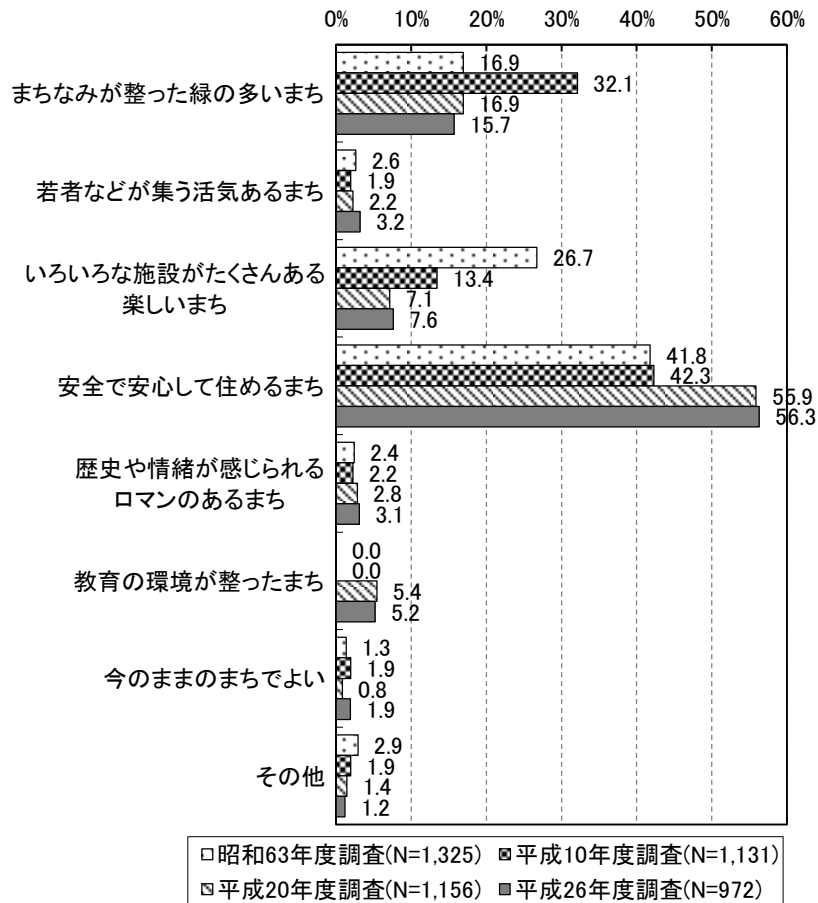
図表Ⅲ-76 地域や地区別にみた門真市のシンボルや誇りに思えるもの



(3) 門真市の将来のイメージ

門真市の将来のイメージとして、最も回答が多いのは「安全で安心して住めるまち」であり、他の項目を大きく引き離している。この傾向は前回（平成 20（2008）年度調査）と同様であり、昭和 63（1988）年度調査と比べると、「安全で安心して住めるまち」の比率が大きく高まり、「いろいろな施設がたくさんある楽しいまち」の比率が大きく下がっている。

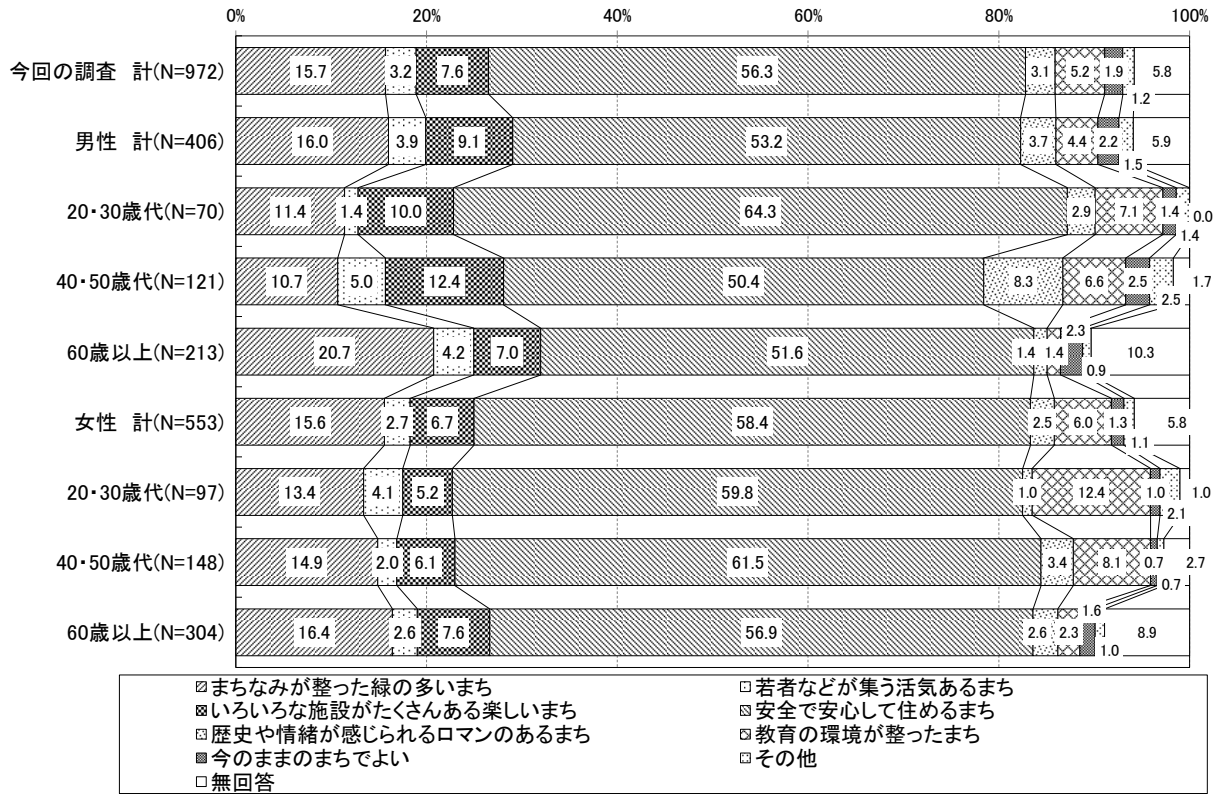
図表Ⅲ-77 市民が将来に望む門真市のイメージ



男女年代別にみると、全体で最も割合の高い「安全で安心して住めるまち」については、女性全体では58.4%と男性全体の53.2%を5.2ポイント上回っている。ただし、男性の20・30歳代の64.3%が最も高い割合を占めている。次いで、男性の40・50歳代を除いた性別・年代層で「まちなみが整った緑の多いまち」が2番目に割合が高くなっている。男性の40・50歳代は、「いろいろな施設がたくさんある楽しいまち」が続いている。

「教育の環境が整ったまち」については、男女ともに年代が低くなるにしたがい割合が高くなる傾向にある。

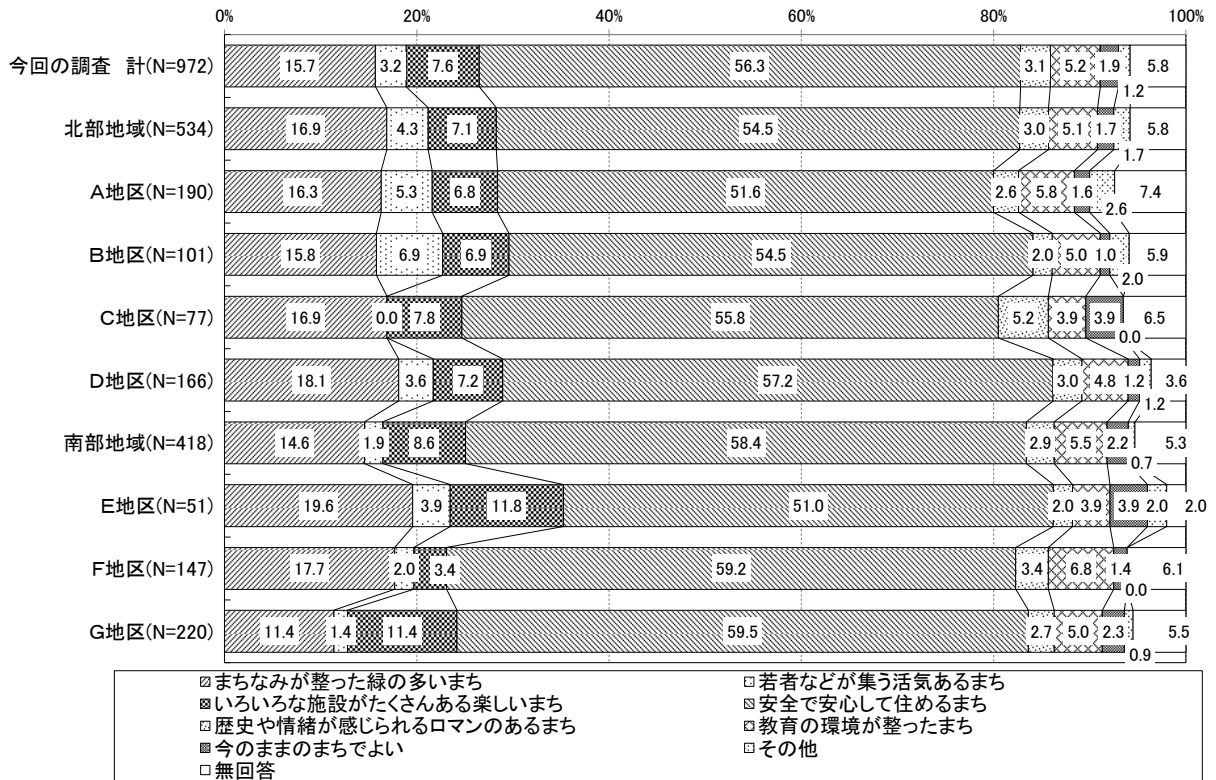
図表Ⅲ-78 男女年代別にみた市民が将来に望む門真市のイメージ



地域別にみると、北部地域、南部地域ともにほぼ同じような傾向にあり、「安全で安心して住めるまち」がいずれの地区も最も割合が高く、50%を超えている。特に、F地区、G地区については59.2%、59.5%と60%弱の高い割合を占めている。次いで「まちなみが整った緑の多いまち」が2番目に割合が高くなっている。

「若者などが集う活気あるまち」については、B地区で6.9%と次に割合の高いA地区の5.3%と比較し1.6ポイント上回っている。また、C地区については0.0%となっている。

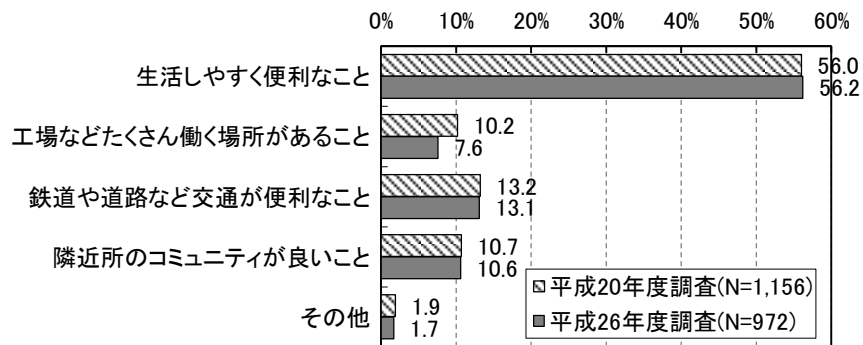
図表Ⅲ-79 地域や地区別にみた市民が将来に望む門真市のイメージ



(4) 門真市のまちづくりに活用すべきこと

門真市のまちづくりに活用すべきこととしては「生活しやすく便利なこと」であり、次いで「鉄道や道路など交通が便利なこと」となっている。回答の傾向は前回とほとんど同じで差が極めて小さい。

図表Ⅲ-80 門真市のまちづくりに活用すべきこと

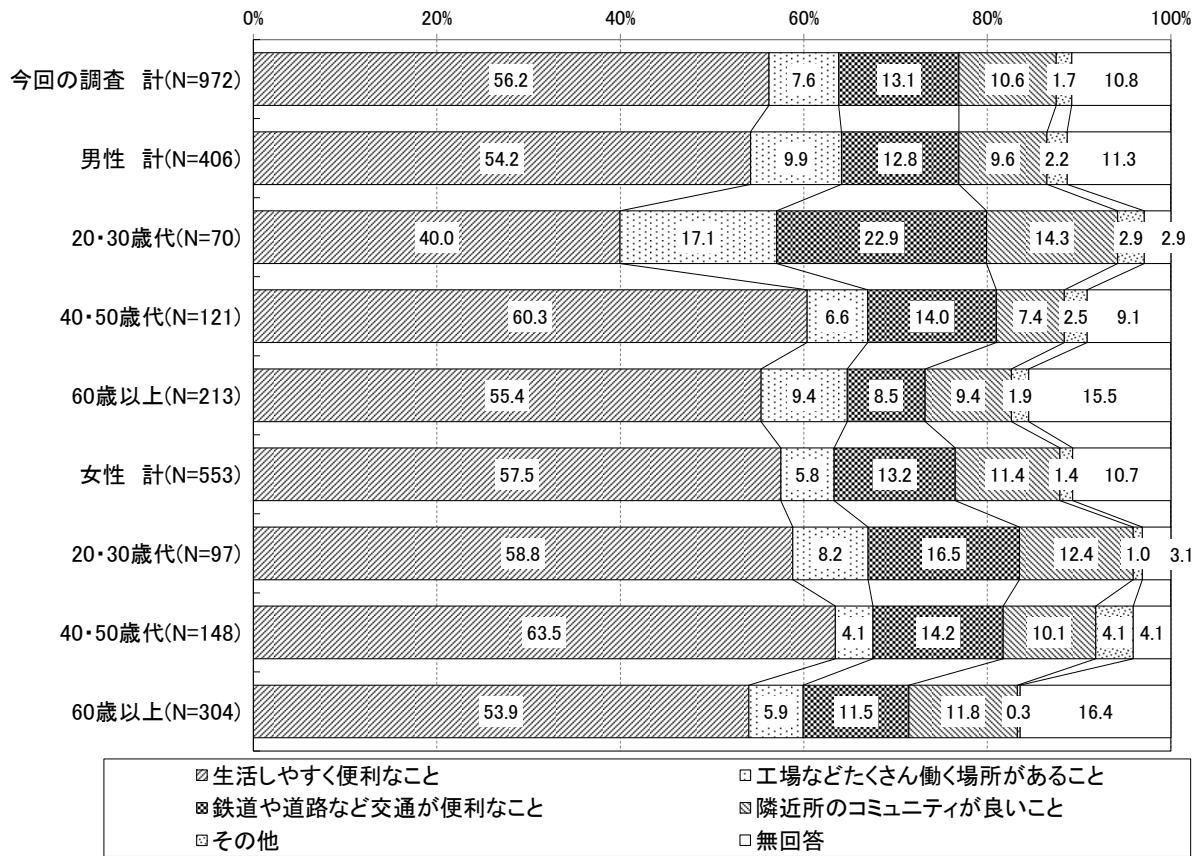


男女年代別にみると、全体で最も割合の高い「生活しやすく便利なこと」については、女性全体では57.5%と男性全体の54.2%を3.3ポイント上回っている。

「鉄道や道路など交通が便利なこと」については、男女ともに年代が低くなるにしたがい割合が高くなる傾向にある。

男性の20・30歳代では「工場などたくさん働く場所があること」が17.1%と他の性別・年代層にと比較して高い割合となっている。

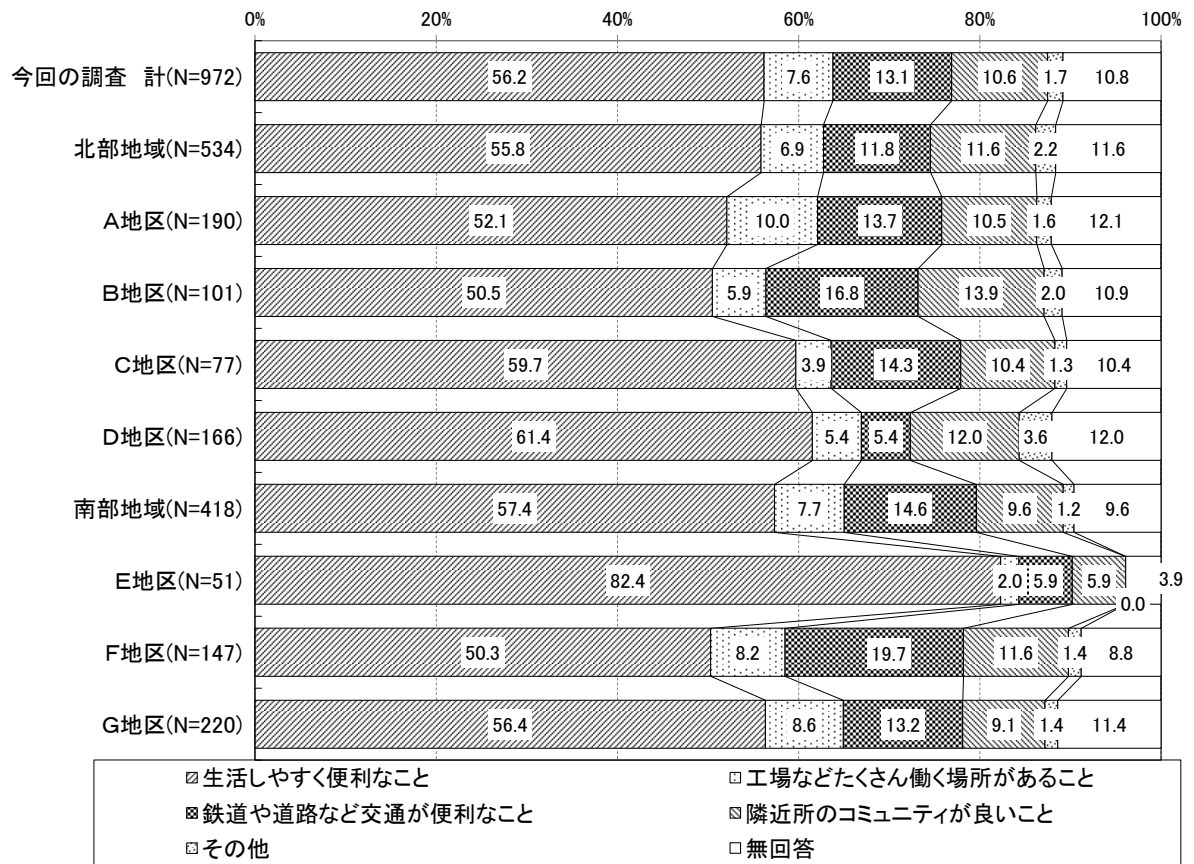
図表Ⅲ-81 男女年代別にみた門真市のまちづくりに活用すべきこと



地域や地区別に特徴的な傾向をみると、「生活しやすく便利なこと」については、南部地域の方が高い割合になっており、特に、E地区では82.4%とかなり高い割合になっている。

また、「鉄道や道路など交通が便利なこと」については、D地区、E地区を除き10%～20%の割合となっている。特に、F地区では19.7%の高い割合となっている。

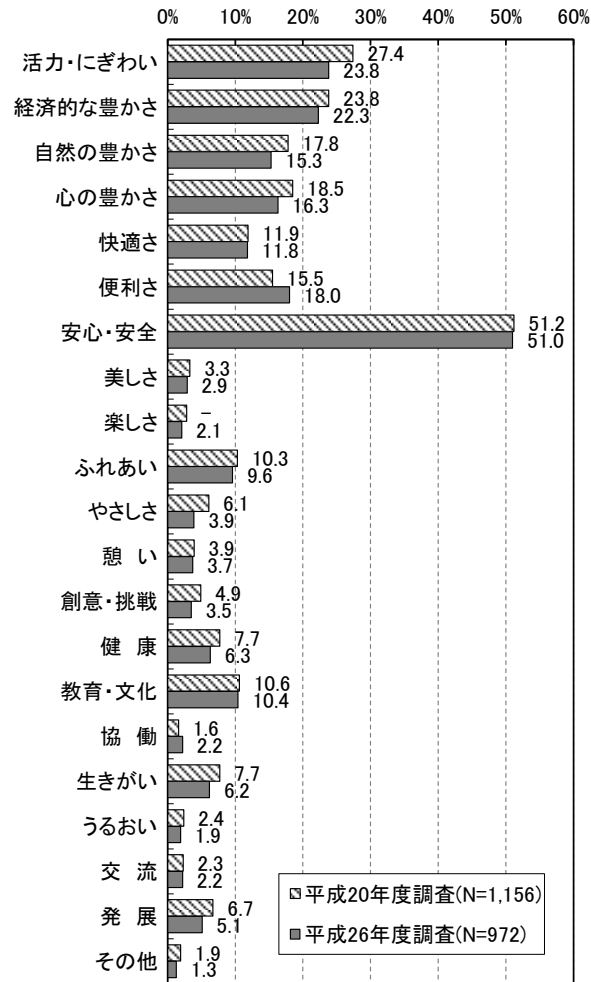
図表Ⅲ-82 地域や地区別にみた門真市のまちづくりに活用すべきこと



(5) 今後の門真市にふさわしいキーワード

今後の門真市にふさわしいキーワードとしては、「安心・安全」が群を抜いて多く、次いで「活力・にぎわい」「経済的な豊かさ」の順となっている。

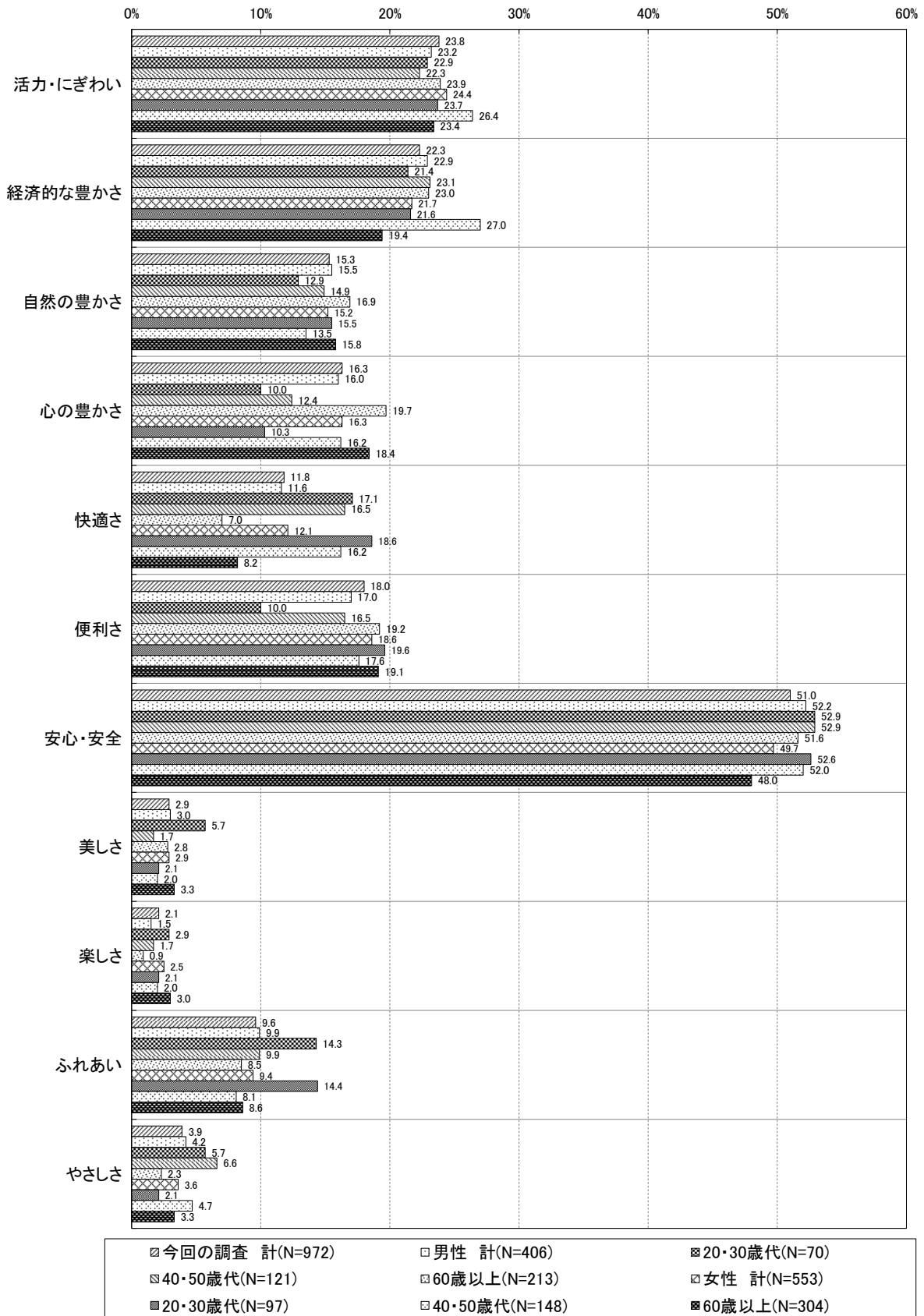
図表Ⅲ-83 今後の門真市にふさわしいキーワード

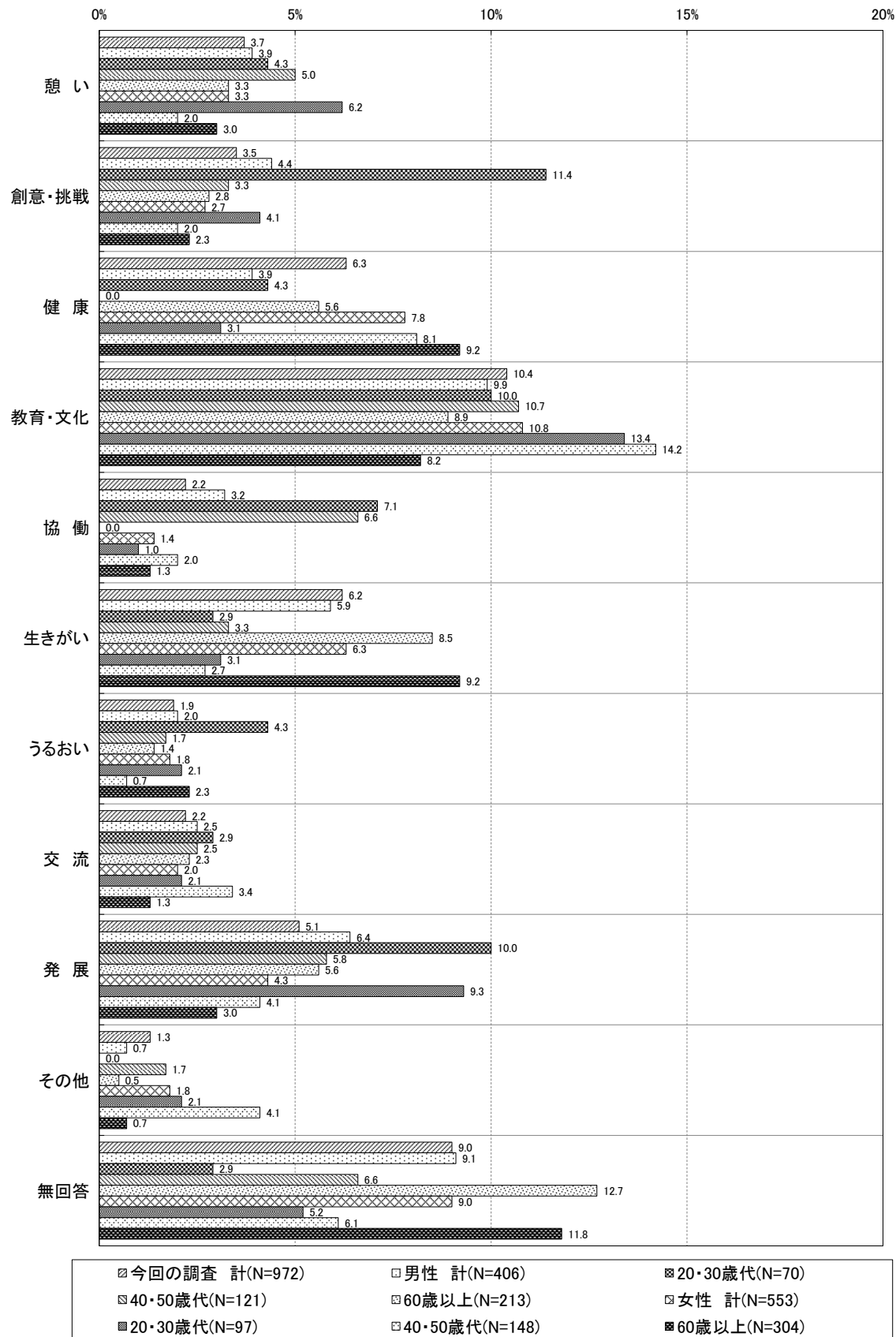


圧倒的に高い割合となっている「安心・安全」について、男女年代別に特徴的な傾向をみると、表Ⅲ-84 に示すように、男性の方が女性に比較して高い割合となっており、また、男女ともに年代が高くなるにしたがい割合が低くなる傾向にある。

また、特徴的なこととして、「教育・文化」で、女性の40・50歳代が14.2%、女性の20・30歳代が13.4%と同じ年代層の男性よりも高くなっている。

図表Ⅲ-84 男女年代別にみた今後の門真市にふさわしいキーワード





資料編

1. アンケート調査票
2. 単純集計結果
3. アンケートに寄せられた主な意見

1. アンケート調査票

門真市第5次総合計画中間見直しにかかる

市民意識調査

～ みなさんのお考えが門真市のまちづくりに活かされます！～

市民のみなさまには、日頃より門真市市政にご協力いただきまして、厚くお礼を申し上げます。

現在、門真市では、平成21年度末に策定したまちづくりの指針となる「門真市第5次総合計画」の中間見直しを実施しております。つきましては、市が進むべき方向について市民のみなさまのお考えをお聞きするため、アンケート調査を実施します。

調査の結果は、市の施策の優先順位づけや市民と市役所の役割分担などの参考といたします。みなさまのご意見をまちづくりに活かしたいと考えておりますので、ご協力をおねがいいたします。

平成26年9月 門真市

- この調査の対象者は、門真市在住の20歳以上の方の中から無作為に抽出させていただきました。回答は、**封筒の宛て名のご本人の方のご意見**をご記入下さい。
- この調査では、個人が特定されるなど個人的に迷惑がかかることは一切ありません。
- ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封しました返信用封筒に入れて、**平成26年10月7日(火)まで**に投函して下さい。**調査票、返信用封筒ともに無記名**で結構です。また、**切手は不要**です。

(お問い合わせ先)

門真市役所 総合政策部 企画課 企画グループ
電話 06-6902-5572 (直通)
FAX 06-6905-3264

I. まず、あなたご自身やお宅のことについておたずねします。

I-1. あなたのお住まいは、……門真市（大字） 町

I-2. あなたの性別は、…… 1. 男 2. 女

I-3. あなたの年齢は、…… 1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70～79歳
7. 80歳以上

I-4. あなたの従業地や通学地は… 市町村 区

注) 通勤や通学をされておられない場合は、空欄で結構です。

I-5. 現在、あなたといっしょにお住まいの方全てに○を付けて下さい。

1. 祖父 2. 祖母 3. 父 4. 母 5. 配偶者 6. 子供 < >人
7. 兄弟 < >人 8. 友達 < >人 9. 単身 10. その他 < >人

II. 次に、あなたの現在のお住まいについておたずねします。

II-1. あなたは現在のところに生まれたときからお住まいですか。

1. 生まれた時から 2. 引っ越して来てから

II-2. 前問II-1で“1. 生まれた時から”と回答された方におたずねします。
あなたのご両親や祖父母、先祖が現在のところにお住まいになったのは、いつ頃からと聞いておられますか。 (○は1つ)

1. 明治時代以前 2. 大正時代 3. 昭和20年頃まで 4. 昭和20年代
5. 昭和30年代 6. 昭和40年代 7. 昭和50年代 8. 平成になってから

II-3. 前問II-1で“2. 引っ越して来てから”と回答された方におたずねします。
あなたが引っ越して来られた時期は、いつ頃ですか。 (○は1つ)

1. 昭和20年以前 2. 昭和20年代 3. 昭和30年代 4. 昭和40年代
5. 昭和50年代 6. 昭和60年代 7. 平成元年～9年 8. 平成10年代
9. 平成20年～

II-4. 現在のところにお住まいになったのは、どのような理由からですか。

*あなたのご両親・祖父母あるいは先祖が現在のところにお住まいになった理由も分かれば、ご記入ください (○

はいくつでも)

1. 就職のため 2. 転勤・転職のため 3. 結婚のため 4. 転学のため
5. 子供の教育のため 6. 親が住んでいたから 7. 家賃が安いから 8. 物価が安いから
9. 通勤・通学に便利だから 10. 日常生活に便利だから
11. 手頃な土地や住宅があったから 12. まわりの生活環境が良いから
13. まわりの自然環境が良いから 14. 親戚や知人が近くにいるから
15. 家を代わりたくなったから 16. その他 (具体的に)

Ⅱ－５． あなたがお住まいの住宅の所有や形式はどれに該当しますか。（○は１つ）

- | | | | |
|---------|----------------------|-----------------------|---|
| ①． 所有形態 | 1. あなたあるいはあなたのご家族の持家 | 2. 社宅、官舎 | |
| | 3. 市営、府営団地等の借家 | 4. 間借り | |
| ②． 住宅形式 | 5. 民営の借家 | 6. その他（具体的に | ） |
| | 1. 独立一戸建て住宅 | 2. 木造アパート・共同住宅（２階建以下） | |
| | 3. 長屋建住宅 | 4. 中高層共同住宅（３階建以上） | |
| | 5. その他（具体的に | | ） |

Ⅱ－６． これからも現在のところに住みつづけたいと考えていますか。（○は１つ）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 住みつづけたい（Ⅱ－７へ） | 2. できればよそに移りたい（Ⅱ－８へ） |
| 3. すぐにでもよそに移りたい（Ⅱ－８へ） | 4. なにも考えていない |

Ⅱ－７． 前問Ⅱ－６で“１． 住みつづけたい”と考えておられるのはどのような理由からですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|---------------------------|-----------------------|---------------|
| 1. 事業や仕事の関係から | 2. 日常生活に便利だから | 3. 子供の教育の関係から |
| 4. 通勤・通学に便利だから | 5. 家賃が安いから | 6. 物価が安いから |
| 7. まわりの自然環境が良いから | 8. 先祖代々住んでいるから | |
| 9. 近所づきあいがうまくいっているから | 10. 今住んでいるところに愛着があるから | |
| 11. その他まわりの生活環境が良いなど（具体的に | | ） |

Ⅱ－８． 設問Ⅱ－６で“２． できればよそに移りたい”あるいは“３． すぐにでもよそに移りたい”と考えておられるのはどのような理由からですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|---------------------------|--------------------------|---------------|
| 1. 住宅が狭いから | 2. 住宅が古く、老朽したから | 3. 子供の教育の関係から |
| 4. 交通の便が悪いから | 5. 日常生活に不便だから | 6. 故郷に帰りたいから |
| 7. 通勤や通学に不便だから | 8. 家が密集しているから（日当たりが悪いなど） | |
| 9. 就職や転勤・転職などのため | 10. 近所づきあいがうまくいっていないから | |
| 11. その他まわりの生活環境が悪いなど（具体的に | | ） |

Ⅱ－９． 設問Ⅱ－６で“２． できればよそに移りたい”あるいは“３． すぐにでもよそに移りたい”と回答された方におたずねします。“よそに移りたい”と思われる場所はどのようなところでしょうか。（○は１つ）

- | | | |
|--------------------------|------|-----------|
| 1. 門真市内の他の場所（例えば具体的な場所では | | 町（大字）あたり） |
| 2. 京阪沿線（例えば具体的な場所では | 市の | 駅あたり） |
| 3. その他の地域（例えば具体的な場所では | 市町村の | 駅あたり） |

Ⅲ. 次に、各分野の施策の満足度や重要度などについておたずねします。

Ⅲ-1. 次の各項目について、「満足度」「重要度」それぞれについて5点満点で評価し、該当する数字を一つずつ○印で囲んで下さい（特に市政やまちづくりに活かしたいこと、市や市民に伝えたいことがありましたら、自由記述欄にご記入ください。）

区分	項目	満足度					重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない		
基本目標1 (みんなの協働でつくる地域力のあるまち)	1 市政への市民意見の反映 市政に市民意見が十分に反映されていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	2 行政の積極的な情報公開 行政の情報が適切に市民へ提供されていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	3 市の情報の発信・収集 広報紙などで広報・広聴活動が十分なされていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
4 情報ネットワークの整備 インターネットやCATVなどを活用した行政情報を提供できるしくみができていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
5 自治会や市民活動の活性化 自治会活動や市民活動が活性化するような環境ができていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
6 市の組織のわかりやすさ 組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													

区分	項目	満足度					重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない		
基本目標1	7 市の窓口の使いやすさ	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	迅速で明るく、わかりやすい窓口サービスがなされていること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
基本目標1	8 行財政の運営	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
基本目標2 (将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち)	9 子どもを産み、育てやすいまちづくり	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていていること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
	10 家庭や地域の教育力の向上	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	家庭や地域で子どもを育む環境となっていること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
	11 子どもの個性と可能性を伸ばす教育の推進	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	幼稚園、保育園や学校において個性を尊重した教育が進められていること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
12 保護者、地域、学校の連携による教育の推進	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
保護者、地域、学校が連携して子どもの教育に取り組んでいること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
13 学校施設等の充実	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
学校施設の耐震補強や地域に開かれた施設の活用がなされていること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												

区分	項目	満足度					重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない		
基本目標3 (安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)	14 防犯対策	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていないこと	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
	15 交通安全	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	安全に外出できる道路などの環境ができていないこと	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
	16 災害の対策や防災体制の整備	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていないこと	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。											
	17 市街地の魅力とにぎわい	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
市街地が整備され、にぎわいがあること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
18 下水道の整備	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
下水道が整備されていること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
19 幹線道路の整備	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
まちの骨格を形成する幹線道路が整備され、他地域への行くのが便利であること	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
20 生活道路の整備	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
安全で便利な道路の整備がなされていないこと	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												

区分	項目	満足度					重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない		
ち 基本目標3 (安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)	21 公共交通機関の充実 バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	22 バリアフリー*1やユニバーサルデザイン*2によるまちづくり 公共施設などが誰もが使いやすく整備されていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
ち 基本目標3 (安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)	23 住宅地の整備 住宅地が整備され、生活しやすい環境ができていくこと	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	ち 基本目標4 (いきいきと人が輝く文化薫るまち)	24 男女共同参画社会づくり 男女がともに様々な活動に平等に関わることができる社会となっていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
25 外国人との共生に向けた取り組み 在住外国人と活発に交流できていること		満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
ち 基本目標4 (いきいきと人が輝く文化薫るまち)	26 国際交流の推進 国外の都市との交流が行われていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												

- * 1 高齢者や障がい者の生活に不便な障害を取り除こうという考え。主に、道や床の段差を無くしたり、階段のかわりにゆるやかな坂道を作ったりすること。
- * 2 高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、全ての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間をデザインすること。

区分	項目	満足度					重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない		
基本目標4 (いきいきと人が輝く文化薫るまち)	27 ライフスタイルに応じた生涯学習の充実 学びたい時に学べる環境が整っていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	28 公民館、図書館、体育館などの整備 公民館、図書館、体育館などが使いやすいこと	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
基本目標4 (いきいきと人が輝く文化薫るまち)	29 スポーツに親しめる環境づくり 身近にスポーツ等に取り組める環境ができていていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	30 芸術や文化にふれることができる環境づくり 身近に芸術や文化にふれることができる環境ができていていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
基本目標5 (健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)	31 地域福祉の推進 互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	32 福祉施設等の整備 各種福祉施設が使いやすく整備されていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
基本目標5 (健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)	33 高齢者が暮らしやすいまちづくり 高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												

区分	項目	満足度					重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない		
基本目標5 (健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)	34 障がい者が暮らしやすいまちづくり 障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	35 心身の健康づくりの推進 市民が健康づくりに取り組める環境ができていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	36 保健事業の推進 健康診査・各種検診などが充実し、利用しやすいこと	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
37 医療サービスの提供体制 医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
38 休日、夜間などの救急医療体制 救急医療体制ができていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
基本目標6 (環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち)	39 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策 ごみの減量や省エネルギー対策、リサイクルの取組みが行われていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
40 自然環境の保全 自然環境の保全や、環境教育などが行われていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													

区分	項目	満足度					重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない		
基本目標6 (環境と調和し、 産業が栄える活力のあるまち)	41 街並み・景観への配慮 美しいまちなみであること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	42 公園・緑地の整備 身近に公園や緑地が整備されていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
	43 企業誘致による雇用の創出 企業誘致などにより雇用が確保されていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1
	上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。												
44 商業の活性化 商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
45 工業の活性化 活発な工業活動が行われるような環境になっていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													
46 農業の振興 生産者と消費者にとって魅力的な農業が行われていること	満足度	5	4	3	2	1	重要度	5	4	3	2	1	
上のような採点をした理由など、ご意見があればお書きください。													

Ⅲ－２．門真市役所の行政運営を行うために必要なことについてお聞きします。

Ⅲ－２①．あなたはパブリックコメント（意見公募手続）制度のことを知っていますか。（○は１つ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 言葉と内容の両方とも知っている | 2. 言葉は知っているが、内容は知らない |
| 3. 言葉は知らないが、内容は知っている | 4. 言葉も内容も知らない |

Ⅲ－２②．あなたは現在、文化関係のサークル活動や団体に参加していますか。（○は１つ）

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. 定期的に参加している | 2. 不定期に参加している | 3. 参加していない |
|---------------|---------------|------------|

Ⅲ－２③．あなたは過去１年以内に生涯学習活動をしたことがありますか。（○は１つ）

注）生涯学習とは、「いつでも、どこでも、自分から進んで自由に行う学習活動のことで、講座や教室への参加に限らず、スポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などのさまざまな学習活動のこと」をいいます。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. １年以内に活動したことがある | 2. 過去（１年以上前）に活動していたことがある |
| 3. 活動したことがない | |

IV. 次に、魅力ある門真市を創るためのあなたのお考えをお聞きします。

IV-1. 市街地の整備について最も必要と思われること1つに○を付けて下さい。

1. 住宅が密集する地区の住環境整備
2. 農地などが残る地域での良好な開発の誘導
3. いろいろな建物の混在地域の解消
4. 駅周辺商店街の活性化に向けた整備
5. その他（具体的に)

IV-2. 道路などの整備について最も必要と思われること1つに○を付けて下さい。

1. 車の通行量が多い、歩行者や自転車にとって危険な幹線道路の整備
2. 各駅周辺などの放置自転車対策
3. 快適に安心して歩行ができ、自転車も通行できる“道”の整備
4. 住宅地の中の狭くて迷路のようになっている道路の整備
5. 駅前の交通広場の整備
6. その他（具体的に)

IV-3. “水”や“緑”“歴史遺産”など、まちのうるおいづくりのために最も望まれること1つに○を付けて下さい。

1. まちの中の“緑”を増やす
2. 市内の河川や水路に親しめる水辺をつくる
3. 歴史遺産や天然記念物の保全
4. 昔の集落のまちなみや水郷のなごりの保全
5. その他（具体的に)

IV-4. 子育てをしやすいまちにするために、力を入れるべきと思われるもの3つまで○を付けてください。

1. 若者・女性への就職・再就職支援
2. 地域での雇用の場づくり
3. 家庭での男女共同参画の推進
4. 保育サービスの充実
5. 学校教育の充実
6. 地域での子育て支援や交流の充実
7. 子育て家庭への経済的支援の充実
8. 若い世代向けの住宅の確保
9. その他 ()

V. 市民と市役所の協働のまちづくりについておたずねします。

V-1. あなたは地域や市民活動（自治会の活動やボランティア活動など）に参加したことがありますか。（○は1つ）

1. 今、参加している
2. 今は参加していないが、かつて参加したことがある
3. 参加したことがない

V-2. あなたは地域や市民活動に参加したいと思いますか。（○は1つ）

1. 非常に思う
2. やや思う
3. どちらともいえない
4. あまり思わない
5. 全く思わない
6. わからない

V-3. 次の中で市民ができることや市民がやるべきことは何だと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------|---------------|----------------|-----------|
| 1. 防災活動 | 2. 防犯活動 | 3. 子育て支援 | 4. 高齢者の支援 |
| 5. 障がい者（児）の支援 | 6. 健康づくり活動 | 7. ごみの減量・リサイクル | |
| 8. まちの美化・緑化 | 9. 自然保護や環境の保全 | 10. 青少年健全育成 | |
| 11. スポーツ活動 | 12. 文化や芸術活動 | 13. 在住外国人との交流 | |
| 14. レクリエーション活動 | 15. 産業振興 | 16. 歴史の保存・継承 | |
| 17. その他 () | | | |

V-4. 次の中で、市役所がやるべきことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------|---------------|----------------|-----------|
| 1. 防災活動 | 2. 防犯活動 | 3. 子育て支援 | 4. 高齢者の支援 |
| 5. 障がい者（児）の支援 | 6. 健康づくり活動 | 7. ごみの減量・リサイクル | |
| 8. まちの美化・緑化 | 9. 自然保護や環境の保全 | 10. 青少年健全育成 | |
| 11. スポーツ活動 | 12. 文化や芸術活動 | 13. 在住外国人との交流 | |
| 14. レクリエーション活動 | 15. 産業振興 | 16. 歴史の保存・継承 | |
| 17. その他 () | | | |

V-5. 現在、門真市では市民と市役所が協力してまちづくりに取り組んでいると思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. まあまあ取り組んでいる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり取り組んでいない | 5. 全く取り組んでいない | 6. わからない |

V-6. 市民と市役所が協力してまちづくりを行ううえで、あなたが必要だと思うのはどのようなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 市民と市役所の意見交換の場の充実 | 2. 市政情報の公開の充実 |
| 3. 計画づくりなど市民参加機会の充実 | 4. 市民活動の情報発信など広報等の充実 |
| 5. 市民参加イベントなどの広報等の充実 | 6. 市民活動支援のための担当窓口の充実 |
| 7. 市民が活動するための拠点施設の充実 | 8. その他 () |

VI. これからの門真市のイメージなどについておたずねします。

VI-1. 門真市は、どのようなことで他の地域の人に知られていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 家電メーカーを中心とした産業のまち | 2. 大都市周辺に位置するベッドタウン |
| 3. 木造アパートや文化住宅が密集したまち | 4. くわいや河内蓮根などの産地 |
| 5. 大阪府自動車試験場があるまち | 6. その他 (具体的に) |

VI-2. あなた自身は、門真市のシンボルや誇りはどのようなものと思いますか。

(○は1つ)

- | | | | |
|----------------------|----------------------------|-----------|-------|
| 1. 市民文化会館 (ルミエールホール) | 2. なみはやドーム | 3. 自動車試験場 | |
| 4. 大手家電メーカー | 5. 大きな楠の木 | 6. 桜並木の水路 | 7. 水郷 |
| 8. れんこんやくわい | 9. 元祖招き猫「ガラスケ」(イメージキャラクター) | | |
| 10. その他 (具体的に) | | | |

VI-3. あなたは今後も門真市にお住みになるとすれば、どのようなイメージのまちになればよいと思われませんか。

(○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. まちなみが整った緑の多いまち | 2. 若者などが集う活気あるまち |
| 3. いろいろな施設がたくさんある楽しいまち | 4. 安全で安心して住めるまち |
| 5. 歴史や情緒が感じられるロマンのあるまち | 6. 教育の環境が整ったまち |
| 7. 今のままのまちでよい | |
| 8. その他 (具体的に) | |

VI-4. 門真市のまちづくりに活用すべきことは何とされますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 生活しやすく便利なこと | 2. 工場などたくさん働く場所があること |
| 3. 鉄道や道路など交通が便利なこと | 4. 隣近所のコミュニティが良いこと |
| 5. その他 (具体的に |) |

VI-5. 今後の門真市を表すものとして、どのような「言葉(キーワード)」がふさわしいと思
いますか。(○は3つまで)

- | | | | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 活力・にぎわい | 2. 経済的な豊かさ | 3. 自然の豊かさ | 4. 心の豊かさ | 5. 快適さ | |
| 6. 便利さ | 7. 安心・安全 | 8. 美しさ | 9. 楽しさ | 10. ふれあい | 11. やさしさ |
| 12. 憩い | 13. 創意・挑戦 | 14. 健康 | 15. 教育・文化 | 16. 協働 | 17. 生きがい |
| 18. うるおい | 19. 交流 | 20. 発展 | 21. その他 (|) | |

VII. 門真市のまちづくりについて、ご意見等がありましたら、ご自由にご記入下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、もう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、

切手を貼らずに、**10月7日(火)まで**にポストに投函して下さい。

2. 単純集計結果

I. 回答者の属性

地区

調査数	北部地域計	A地区	B地区	C地区	D地区	南部地域計	E地区	F地区	G地区	無回答
972	534	190	101	77	166	418	51	147	220	20
100.0	54.9	19.5	10.4	7.9	17.1	43.0	5.2	15.1	22.6	2.1

性別

調査数	男	女	無回答
972	406	553	13
100.0	41.8	56.9	1.3

年齢

調査数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
972	60	107	138	131	228	218	76	14
100.0	6.2	11.0	14.2	13.5	23.5	22.4	7.8	1.4

就業者・通学者の通勤・通学先

調査数	門真市	寝屋川市	大東市	守口市	大阪市	その他大阪府内	府外
381	139	12	22	49	108	39	12
100.0	36.5	3.1	5.8	12.9	28.3	10.2	3.1

同居家族

調査数	祖父	祖母	父	母	配偶者	子供	兄弟	友達	単身	その他	無回答
972	5	10	92	138	584	363	64	3	126	51	48
100.0	0.5	1.0	9.5	14.2	60.1	37.3	6.6	0.3	13.0	5.2	4.9

同居する子供の数

調査数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
344	1.58	1	4
100.0			

同居する兄弟の数

調査数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
50	1.30	1	4
100.0			

同居する友達の数

調査数	平均 (人)	最小値 (人)	最大値 (人)
3	1.33	1	2
100.0			

その他の同居者の数

調査数	平均 (人)	最小値 (人)	最大値 (人)
46	1.85	1	5
100.0			

同居家族構成

調査数	単身	夫婦のみ	二世代同居	三世代同居	その他	無回答
972	126	291	406	7	94	48
100.0	13.0	29.9	41.8	0.7	9.7	4.9

同居家族人数

調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	無回答	平均 (人)
972	126	371	177	131	46	27	6	2	86	2.68
100.0	13.0	38.2	18.2	13.5	4.7	2.8	0.6	0.2	8.8	

II. 現在の住まい

現居住地への居住起因

調査数	生まれた時から	引っ越して来てから	無回答
972	74	881	17
100.0	7.6	90.6	1.7

「生まれた時から」と回答した者の家族の現居住地への転入時期

調査数	明治時代以前	大正時代	昭和20年頃まで	昭和20年代	昭和30年代	昭和40年代	昭和50年代	平成になってから	無回答
74	23	3	3	3	7	16	14	4	1
100.0	31.1	4.1	4.1	4.1	9.5	21.6	18.9	5.4	1.4

「引っ越して来てから」と回答した者の転入時期

調査数	昭和20年以前	昭和20年代	昭和30年代	昭和40年代	昭和50年代	昭和60年代	平成元年～9年	平成10年代	平成20年～	無回答
881	1	5	64	151	155	63	125	167	139	11
100.0	0.1	0.6	7.3	17.1	17.6	7.2	14.2	19.0	15.8	1.2

回答者あるいは回答者の家族の現居住地への転入時期

調査数	昭和20年以前	昭和20年代	昭和30年代	昭和40年代	昭和50年代	昭和60年代	平成になってから	無回答
972	30	8	71	167	169	63	435	29
100.0	3.1	0.8	7.3	17.2	17.4	6.5	44.8	3.0

現居住地の居住理由

調査数	就職のため	転勤・転職のため	結婚のため	転学のため	子供の教育のため	親が住んでいたから	家賃が安いから	物価が安いから	通勤・通学に便利だから	日常生活に便利だから	手頃な土地や住宅があったから	まわりの生活環境が良 いから	まわりの自然環境が良 いから	親戚や知人が近くに いるから	家を代わりたくな ったから	その他	無回答
972	28	63	202	1	19	89	68	14	135	122	292	42	23	89	67	111	33
100.0	2.9	6.5	20.8	0.1	2.0	9.2	7.0	1.4	13.9	12.6	30.0	4.3	2.4	9.2	6.9	11.4	3.4

住宅の所有形態

調査数	持家	社宅、官舎	市営、府営団地等の借家	間借り	民営の借家	その他	無回答
972	652	6	61	17	172	20	44
100.0	67.1	0.6	6.3	1.7	17.7	2.1	4.5

住宅形式

調査数	独立一戸建て住宅	木造アパート・共同住宅（2階建以下）	長屋建住宅	中高層共同住宅（3階建以上）	その他	無回答
972	508	54	107	238	29	36
100.0	52.3	5.6	11.0	24.5	3.0	3.7

定住・移住意向

調査数	住みつづけた い	できればよそに移り たい	すぐにでもよそに移り たい	なにも考えていない	無回答
972	530	200	46	176	20
100.0	54.5	20.6	4.7	18.1	2.1

定住意向者の定住理由

調査数	事業や仕事の関係から	日常生活に便利だから	子供の教育の関係から	通勤・通学に便利だから	家賃が安いから	物価が安いから	まわりの自然環境が良 いから	先祖代々住んでいるか ら	近所づきあいがあるから	愛着があるから	今住んでいるところに	その他まわりの生活環 境が良いなど	無回答
530	81	277	17	88	42	45	32	32	119	208	50	7	
100.0	15.3	52.3	3.2	16.6	7.9	8.5	6.0	6.0	22.5	39.2	9.4	1.3	

移住意向者の移住理由

調査数	住宅が狭いから	住宅が古く、老朽した から	子供の教育の関係から	交通の便が悪いから	日常生活に不便だから	故郷に帰りたいから	通勤や通学に不便だか ら	家が密集しているから (日当たりが悪いなど)	就職や転職・転職など のため	近所づきあいがないから	その他まわりの生活環 境が悪いなど	無回答
246	46	73	19	38	27	12	15	36	6	12	119	8
100.0	18.7	29.7	7.7	15.4	11.0	4.9	6.1	14.6	2.4	4.9	48.4	3.3

移住意向者の移住希望先

調査数	門真市内の他の場所	京阪沿線	その他の地域	無回答
246	56	63	89	38
100.0	22.8	25.6	36.2	15.4

Ⅲ. 各分野の施策の満足度・重要度

各施策の満足度・重要度／基本目標1(みんなの協働でつくる地域力のあるまち)

	調査数	満足度							重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない	無回答	平均
市政に市民意見が十分に反映されていること	972 100.0	24 2.5	42 4.3	540 55.6	201 20.7	113 11.6	52 5.3	2.63	150 15.4	273 28.1	400 41.2	20 2.1	9 0.9	120 12.3	3.63
行政の情報が適切に市民へ提供されていること	972 100.0	33 3.4	73 7.5	563 57.9	164 16.9	70 7.2	69 7.1	2.82	156 16.0	266 27.4	400 41.2	17 1.7	12 1.2	121 12.4	3.63
広報紙などで広報・広聴活動が十分なされていること	972 100.0	60 6.2	172 17.7	526 54.1	102 10.5	48 4.9	64 6.6	3.10	148 15.2	282 29.0	411 42.3	9 0.9	10 1.0	112 11.5	3.64
インターネットやCATVなどを活用した行政情報を提供できるしくみができていること	972 100.0	18 1.9	45 4.6	533 54.8	135 13.9	71 7.3	170 17.5	2.76	80 8.2	181 18.6	448 46.1	47 4.8	18 1.9	198 20.4	3.33
自治会活動や市民活動が活性化しやすい環境ができていること	972 100.0	38 3.9	95 9.8	547 56.3	130 13.4	95 9.8	67 6.9	2.84	82 8.4	229 23.6	470 48.4	41 4.2	26 2.7	124 12.8	3.35
組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていること	972 100.0	23 2.4	49 5.0	477 49.1	234 24.1	116 11.9	73 7.5	2.59	120 12.3	250 25.7	403 41.5	57 5.9	14 1.4	128 13.2	3.48
迅速で明るく、わかりやすい窓口サービスがなされていること	972 100.0	80 8.2	174 17.9	477 49.1	142 14.6	57 5.9	42 4.3	3.08	170 17.5	330 34.0	348 35.8	13 1.3	3 0.3	108 11.1	3.75
無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていること	972 100.0	15 1.5	45 4.6	443 45.6	229 23.6	143 14.7	97 10.0	2.50	275 28.3	234 24.1	293 30.1	26 2.7	9 0.9	135 13.9	3.88

各施策の満足度・重要度／基本目標2(将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち)

	調査数	満足度							重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない	無回答	平均
保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていること	972 100.0	22 2.3	51 5.2	460 47.3	176 18.1	103 10.6	160 16.5	2.65	242 24.9	225 23.1	293 30.1	18 1.9	10 1.0	184 18.9	3.85
家庭や地域で子どもを育む環境となっていること	972 100.0	15 1.5	49 5.0	443 45.6	196 20.2	120 12.3	149 15.3	2.57	237 24.4	221 22.7	314 32.3	19 2.0	10 1.0	171 17.6	3.82
幼稚園、保育園や学校において個性を尊重した教育が進められていること	972 100.0	15 1.5	49 5.0	480 49.4	153 15.7	97 10.0	178 18.3	2.66	221 22.7	223 22.9	305 31.4	22 2.3	9 0.9	192 19.8	3.80
保護者、地域、学校が連携して子どもの教育に取り組んでいること	972 100.0	15 1.5	55 5.7	499 51.3	137 14.1	76 7.8	190 19.5	2.74	192 19.8	226 23.3	327 33.6	17 1.7	11 1.1	199 20.5	3.74
学校施設の耐震補強や地域に開かれた施設の活用がなされていること	972 100.0	31 3.2	101 10.4	497 51.1	112 11.5	54 5.6	177 18.2	2.93	188 19.3	219 22.5	350 36.0	13 1.3	9 0.9	193 19.9	3.72

各施策の満足度・重要度／基本目標3(安全・安心で快適に暮らせる明るいまち)

	調査数	満足度							重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない	無回答	平均
犯罪などに巻き込まれない安心できる環境ができていること	972 100.0	25 2.6	83 8.5	398 40.9	263 27.1	138 14.2	65 6.7	2.55	354 36.4	291 29.9	188 19.3	14 1.4	4 0.4	121 12.4	4.15
安全に外出できる道路などの環境ができていること	972 100.0	24 2.5	80 8.2	388 39.9	256 26.3	169 17.4	55 5.7	2.49	295 30.3	310 31.9	218 22.4	23 2.4	9 0.9	117 12.0	4.00
地震や浸水害など災害への対策や災害時の体制などが整備されていること	972 100.0	15 1.5	47 4.8	468 48.1	246 25.3	110 11.3	86 8.8	2.56	295 30.3	261 26.9	246 25.3	24 2.5	7 0.7	139 14.3	3.98
市街地が整備され、にぎわいがあること	972 100.0	11 1.1	62 6.4	490 50.4	209 21.5	118 12.1	82 8.4	2.59	119 12.2	245 25.2	425 43.7	36 3.7	12 1.2	135 13.9	3.51
下水道が整備されていること	972 100.0	91 9.4	165 17.0	460 47.3	108 11.1	88 9.1	60 6.2	3.07	232 23.9	278 28.6	320 32.9	13 1.3	4 0.4	125 12.9	3.85
まちの骨格を形成する幹線道路が整備され、他地域への行くのが便利であること	972 100.0	64 6.6	174 17.9	489 50.3	114 11.7	66 6.8	65 6.7	3.06	147 15.1	284 29.2	388 39.9	24 2.5	6 0.6	123 12.7	3.64
安全で便利な道路の整備がなされていること	972 100.0	37 3.8	97 10.0	421 43.3	229 23.6	132 13.6	56 5.8	2.65	210 21.6	301 31.0	325 33.4	15 1.5	5 0.5	116 11.9	3.81
バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと	972 100.0	101 10.4	173 17.8	412 42.4	164 16.9	66 6.8	56 5.8	3.09	156 16.0	335 34.5	339 34.9	14 1.4	2 0.2	126 13.0	3.74
公共施設などが誰もが使いやすい整備されていること	972 100.0	20 2.1	85 8.7	496 51.0	206 21.2	71 7.3	94 9.7	2.75	141 14.5	266 27.4	387 39.8	29 3.0	5 0.5	144 14.8	3.61
住宅地が整備され、生活しやすい環境ができていること	972 100.0	24 2.5	72 7.4	502 51.6	208 21.4	91 9.4	75 7.7	2.70	125 12.9	292 30.0	394 40.5	22 2.3	7 0.7	132 13.6	3.60

各施策の満足度・重要度／基本目標4(いきいきと人が輝く文化薫るまち)

	調査数	満足度							重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない	無回答	平均
男女がともに様々な活動に平等に関わることができる社会となっていること	972 100.0	16 1.6	56 5.8	631 64.9	116 11.9	39 4.0	114 11.7	2.88	71 7.3	193 19.9	518 53.3	30 3.1	8 0.8	152 15.6	3.35
在住外国人と活発に交流できていること	972 100.0	9 0.9	21 2.2	557 57.3	138 14.2	94 9.7	153 15.7	2.65	59 6.1	108 11.1	513 52.8	78 8.0	32 3.3	182 18.7	3.11
国外の都市との交流が行われていること	972 100.0	9 0.9	18 1.9	588 60.5	118 12.1	66 6.8	173 17.8	2.73	55 5.7	96 9.9	528 54.3	67 6.9	31 3.2	195 20.1	3.10
学びたい時に学べる環境が整っていること	972 100.0	14 1.4	53 5.5	533 54.8	167 17.2	65 6.7	140 14.4	2.74	71 7.3	216 22.2	474 49.8	29 3.0	10 1.0	172 17.7	3.39
公民館、図書館、体育館などが使いやすいこと	972 100.0	45 4.6	104 10.7	499 51.3	145 14.9	72 7.4	107 11.0	2.89	90 9.3	252 25.9	442 45.5	26 2.7	10 1.0	152 15.6	3.47
身近にスポーツ等に取り組める環境ができていること	972 100.0	29 3.0	60 6.2	518 53.3	178 18.3	76 7.8	111 11.4	2.75	70 7.2	205 21.1	503 51.7	28 2.9	10 1.0	156 16.0	3.36
身近に芸術や文化にふれることができる環境ができていること	972 100.0	14 1.4	63 6.5	552 56.8	151 15.5	70 7.2	122 12.6	2.76	58 6.0	188 19.3	508 52.3	45 4.6	12 1.2	161 16.6	3.29

各施策の満足度・重要度／基本目標5(健やかな笑顔あふれる支え合いのまち)

	調査数	満足度							重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない	無回答	平均
互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていること	972 100.0	21 2.2	70 7.2	516 53.1	204 21.0	73 7.5	88 9.1	2.73	154 15.8	283 29.1	357 36.7	25 2.6	8 0.8	145 14.9	3.67
各種福祉施設が使いやすく整備されていること	972 100.0	24 2.5	48 4.9	544 56.0	179 18.4	73 7.5	104 10.7	2.74	139 14.3	275 28.3	371 38.2	30 3.1	6 0.6	151 15.5	3.62
高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせる環境ができていること	972 100.0	26 2.7	49 5.0	483 49.7	229 23.6	100 10.3	85 8.7	2.63	195 20.1	299 30.8	301 31.0	30 3.1	9 0.9	136 14.2	3.77
障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていること	972 100.0	20 2.1	36 3.7	483 49.7	204 21.0	103 10.6	126 13.0	2.61	176 18.1	304 31.3	305 31.4	24 2.5	6 0.6	157 16.2	3.76
市民が健康づくりに取り組める環境ができていること	972 100.0	21 2.2	48 4.9	561 57.7	175 18.0	64 6.6	103 10.6	2.75	130 13.4	263 27.1	406 41.8	26 2.7	4 0.4	143 14.7	3.59
健康診査・各種検診などが充実し、利用しやすいこと	972 100.0	62 6.4	144 14.8	532 54.7	106 10.9	50 5.1	78 8.0	3.07	174 17.9	295 30.3	354 36.4	10 1.0	2 0.2	137 14.1	3.75
医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていること	972 100.0	41 4.2	115 11.8	509 52.4	163 16.8	69 7.1	75 7.7	2.88	215 22.1	302 31.1	305 31.4	13 1.3	4 0.4	133 13.7	3.85
救急医療体制ができていること	972 100.0	36 3.7	105 10.8	458 47.1	174 17.9	105 10.8	94 9.7	2.76	284 29.2	284 29.2	236 24.3	18 1.9	9 0.9	141 14.5	3.98

各施策の満足度・重要度／基本目標6(環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち)

	調査数	満足度							重要度						
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均	非常に重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない	無回答	平均
ごみの減量や省エネルギー対策、リサイクルの取組みが行われていること	972 100.0	65 6.7	152 15.6	558 57.4	87 9.0	44 4.5	66 6.8	3.12	154 15.8	290 29.8	384 39.5	14 1.4	5 0.5	125 12.9	3.68
自然環境の保全や、環境教育などが行われていること	972 100.0	24 2.5	52 5.3	580 59.7	126 13.0	73 7.5	117 12.0	2.80	131 13.5	235 24.2	432 44.4	12 1.2	6 0.6	156 16.0	3.58
美しいまちなみであること	972 100.0	16 1.6	51 5.2	411 42.3	267 27.5	163 16.8	64 6.6	2.44	130 13.4	343 35.3	353 36.3	24 2.5	3 0.3	119 12.2	3.67
身近に公園や緑地が整備されていること	972 100.0	33 3.4	96 9.9	405 41.7	231 23.8	150 15.4	57 5.9	2.60	152 15.6	330 34.0	339 34.9	25 2.6	3 0.3	123 12.7	3.71
企業誘致などにより雇用が確保されていること	972 100.0	8 0.8	26 2.7	491 50.5	207 21.3	93 9.6	147 15.1	2.57	157 16.2	278 28.6	333 34.3	27 2.8	8 0.8	169 17.4	3.68
商店街の活性化や商業地域の整備がなされていること	972 100.0	15 1.5	31 3.2	445 45.8	241 24.8	131 13.5	109 11.2	2.49	138 14.2	306 31.5	338 34.8	26 2.7	12 1.2	152 15.6	3.65
活発な工業活動が行われるような環境になっていること	972 100.0	9 0.9	30 3.1	556 57.2	160 16.5	74 7.6	143 14.7	2.69	103 10.6	207 21.3	437 45.0	42 4.3	14 1.4	169 17.4	3.43
生産者と消費者にとって魅力的な農業が行われていること	972 100.0	10 1.0	22 2.3	534 54.9	179 18.4	77 7.9	150 15.4	2.65	94 9.7	217 22.3	429 44.1	41 4.2	17 1.7	174 17.9	3.41

Ⅲ-2. 行政運営を行うために必要なこと

パブリックコメント制度の認知度

調査数	言葉と内容の両方とも知っている	内容は知っているが、言葉は知らない	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	無回答
972 100.0	51 5.2	182 18.7	13 1.3	697 71.7	29 3.0

文化関係のサークル活動・団体への参加状況

調査数	定期的に参加している	不定期に参加している	参加していない	無回答
972 100.0	64 6.6	35 3.6	853 87.8	20 2.1

過去1年間の生涯学習活動状況

調査数	1年以上に活動したことがある	過去1年以上(前年)に活動したことがある	活動したことがない	無回答
972 100.0	157 16.2	102 10.5	687 70.7	26 2.7

IV. 魅力ある門真市を創るために

市街地整備に関する意向

調査数	住宅が密集する地区の環境整備	の農地などが残る地域の誘導	地域の解消	いろいろな建物の混在	駅周辺の商店街の活性化に向けた整備	その他	無回答
972 100.0	384 39.5	105 10.8	109 11.2	245 25.2	29 3.0	100 10.3	

道路整備に関する意向

調査数	危険な幹線道路の整備	車の通行量が多い、歩行者や自転車にとって	各駅周辺の放置自転車対策	できる“道”の整備	快適に安心して歩行ができる、自転車の通行が	道路の整備	住宅地の中になっ	駅前の交通広場の整備	その他	無回答
972 100.0	261 26.9	55 5.7	436 44.9	141 14.5	4 0.4	15 1.5	60 6.2			

うるおいの創出に関する意向

調査数	やまのちの“緑”を増やす	市内の河川や水路に親しめる水辺をつくる	の歴史遺産や天然記念物の保全	昔の集落のまちなみや水郷のなごりの保全	その他	無回答
972 100.0	491 50.5	204 21.0	79 8.1	91 9.4	16 1.6	91 9.4

子育て支援に関する意向

調査数	再就職・女性への就職・	り地域の雇用の場づく	の家庭での男女共同参画の推進	保育サービスの充実	学校教育の充実	地域での子育て支援や交流の充実	子育て家庭への経済的支援の充実	確若い世代向けの住宅の確保	その他	無回答
972 100.0	318 32.7	264 27.2	42 4.3	339 34.9	224 23.0	191 19.7	231 23.8	131 13.5	14 1.4	117 12.0

V. 市民と市役所の協働のまちづくり

地域・市民活動への参加状況

調査数	今、参加している	今が参加してはいるが、かつかつて参加していないことがある	参加したことがない	無回答
972	127	301	498	46
100.0	13.1	31.0	51.2	4.7

地域・市民活動への参加意向

調査数	非常に思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答
972	43	206	273	215	80	101	54
100.0	4.4	21.2	28.1	22.1	8.2	10.4	5.6

市民ができること・やるべきこと、市役所がやるべきこと

	調査数	防災活動	防犯活動	子育て支援	高齢者の支援	障がい者（児）の支援	健康づくり活動	ごみの減量・リサイクル	まちの美化・緑化	自然保護や環境の保全	青少年健全育成	スポーツ活動	文化や芸術活動	在住外国人との交流	レクリエーション活動	産業振興	歴史の保存・継承	その他	無回答
市民ができること・やるべきこと	972	417	534	217	362	169	246	430	378	197	117	138	105	47	92	74	96	9	65
	100.0	42.9	54.9	22.3	37.2	17.4	25.3	44.2	38.9	20.3	12.0	14.2	10.8	4.8	9.5	7.6	9.9	0.9	6.7
市役所がやるべきこと	972	524	505	472	556	374	201	245	444	334	223	95	150	94	68	278	235	25	60
	100.0	53.9	52.0	48.6	57.2	38.5	20.7	25.2	45.7	34.4	22.9	9.8	15.4	9.7	7.0	28.6	24.2	2.6	6.2

市民と市役所の協働の取り組みの状況

調査数	取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	わからない	無回答
972	21	135	306	152	56	242	60
100.0	2.2	13.9	31.5	15.6	5.8	24.9	6.2

市民と市役所の協働の取り組みに必要なことと市役所の協働の取り組みに必要なこと

調査数	市民と市役所の意見交換の場を充実	市政情報の公開の充実	計画づくりなど市民参加機会の充実	市民活動の情報発信など広報等の充実	市民参加イベントなどの広報の充実	市民活動支援のための担当窓口の充実	拠点施設の充実	市民が活動するための	その他	無回答
972	427	367	192	269	167	249	157	15	114	
100.0	43.9	37.8	19.8	27.7	17.2	25.6	16.2	1.5	11.7	

VI. これからの門真市のイメージ

門真市の他地域からの認知イメージ

調査数	家電メーカーを中心とした産業のまち	ベッドタウン	大都市周辺に位置する	宅が密集したまち	木造アパートや文化住宅が密集したまち	くわいや河内運根などの産地	あるまち	大阪府自動車試験場があるまち	その他	無回答
972	305	23	143	56	356	40	49			
100.0	31.4	2.4	14.7	5.8	36.6	4.1	5.0			

門真市のシンボルや誇りに思えるもの

調査数	市民文化会館（ヘルミエールホール）	なみはやドーム	自動車試験場	大手家電メーカー	大きな楠の木	桜並木の水路	水郷	れんこんやくわい	元祖引き猫（ジャッキー）	その他	無回答
972	90	196	212	187	36	29	10	92	10	13	97
100.0	9.3	20.2	21.8	19.2	3.7	3.0	1.0	9.5	1.0	1.3	10.0

市民が将来に望む門真市のイメージ

調査数	多様なまち	若者などが集う活気あるまち	いろいろな施設がたくさんあるまち	安全で安心して住めるまち	歴史や情緒が感じられるロマンのあるまち	教育の環境が整ったまち	今のままのまちでよい	その他	無回答
972	153	31	74	547	30	51	18	12	56
100.0	15.7	3.2	7.6	56.3	3.1	5.2	1.9	1.2	5.8

まちづくりに活用すべき資源

調査数	生活しやすいこと	工場などたくさん働く場所があること	鉄道や道路など交通が便利なこと	隣近所のコミュニティが良いこと	その他	無回答
972	546	74	127	103	17	105
100.0	56.2	7.6	13.1	10.6	1.7	10.8

今後の門真市を表す言葉（キーワード）

調査数	活力・にぎわい	経済的な豊かさ	自然の豊かさ	心の豊かさ	快適さ	便利さ	安心・安全	美しさ	楽しさ	ふれあい	やさしさ	憩い	創意・挑戦	健康	教育・文化	協働	生きがい	うるおい	交流	発展	その他	無回答
972	231	217	149	158	115	175	496	28	20	93	38	36	34	61	101	21	60	18	21	50	13	87
100.0	23.8	22.3	15.3	16.3	11.8	18.0	51.0	2.9	2.1	9.6	3.9	3.7	3.5	6.3	10.4	2.2	6.2	1.9	2.2	5.1	1.3	9.0

3. アンケートに寄せられた主な意見

基本目標	基本的な方向	意見数	主な意見（要約）
基本目標1 みんなの協働でつくる地域力のあるまち	①市民のまちづくりへの参画を促す環境をつくります	20	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりについて、市長、市議が積極的にメッセージを市民に広報してほしい。 ・自治会に参加しやすい雰囲気作りが重要。
	②市民に信頼され、協働まちづくりを先導する市役所をつくります	10	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所での対応が以前に比べて丁寧になっている。 ・市の職員は親切に対応してくださる方もいるが、対応が冷たいと感じる人もいる。
基本目標2 将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち	①安心して産み、育てることができる子育て支援のまちをつくります	13	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が住みやすいまちづくりを進めてほしい。医療、保育、公園施設の充実を計ってほしい。
	②心豊かでたくましい子どもをはぐくむまちをつくります	17	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の支援は手厚いが、小中高生の支援が少ない。 ・学童の登下校時、せめて地区内で見かけたら声掛けしてあげたい。
基本目標3 安全・安心で快適に暮らせる明るいまち	①安全で安心な暮らしを育む明るいまちをつくります	41	<ul style="list-style-type: none"> ・道路も歩道やガードレールがないのに交通量は多く自転車、徒歩での移動には危ないと思う場所がたくさんある。 ・門真市は大変鉄道や道路の便が良くてどこへでも（京都、奈良市内へ）短時間で出かけることができる。
	②便利で快適なまちなかをつくります	67	<ul style="list-style-type: none"> ・道路も歩道やガードレールがないのに交通量は多く自転車、徒歩での移動には危ないと思う場所がたくさんある。 ・門真市は大変鉄道や道路の便が良くてどこへでも（京都、奈良市内へ）短時間で出かけることができる。
基本目標4 いきいきと人が輝く文化薫るまち	①平和な社会を育む共生のまちをつくります	7	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄り子どもたちが共に遊べる施設がほしい。お年寄りも元気になるし、子どもを見てもらえると親も助かる。
	②ワクワクする人や出会いを育む文化のまちをつくります	7	<ul style="list-style-type: none"> ・れんこんをもっとPRして欲しい。 ・職場や地域に外国の人も増えてきたので、いつでも誰でも行けるような語学教室が市内にくつかあってもいいと思う。
基本目標5 健やかな笑顔あふれる支え合いのまち	①みんなで困っている人を助け合う福祉のまちをつくります	8	<ul style="list-style-type: none"> ・門真にはまだ、人とのふれ合い、優しさがあふれている。一番大事なこと。 ・高齢者が増える中、病院ではなく自宅で最期を迎えたいという人も増えると思う。終末期医療等の充実に向けて市も努力して欲しい。
	②みんなの健やかな心と体を育む健康のまちをつくります	9	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと医療面でも充実して欲しいと切に思う。
基本目標6 環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち	①人や環境にやさしい美しいまちをつくります	29	<ul style="list-style-type: none"> ・水路が、きれいな水になりますように。 ・古川橋駅付近の並木道、ムクドリのフンの害が目に残るものがある。せつかくのきれいな景観が台無しである。
	②いきいきとしたまちを育む産業をつくります	10	<ul style="list-style-type: none"> ・空店舗が非常に目立つ。街の活性化が必要。

門真市第5次総合計画中間見直しにかかる市民意識調査報告書
平成27年3月発行

発行：門真市総合政策部企画課
〒571-8585 大阪府門真市中町1-1
電話：06-6902-1231（代表）